

BASIO active2

ベイシオ アクティブツア

SHG12

User Guide 取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

このたびは、「BASIO active2(ベシオ アクティブツー)」(以下、「SHG12」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本体付属の「かんたんマニュアル」または「取扱説明書 詳細版」(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

・かんたんマニュアル

以下のものは同梱されていません。

- ・SIMカード
- ・microSDメモリーカード
- ・ACアダプタ
- ・イヤホン
- ・USB Type-C™ケーブル
- ・有線LANアダプタ
- ・Ethernetケーブル

・指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。

◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■「かんたんマニュアル」

初めてお使いになる前に必要な情報や注意事項を説明しています。

■「オンラインマニュアル」

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「オンラインマニュアル」は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→[アプリ]→[サポート]→[取扱説明書]

また、「オンラインマニュアル」はauホームページからもご確認できます。
<https://www.au.com/online-manual/shg12/>

■「取扱説明書 詳細版」(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」(本書)は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

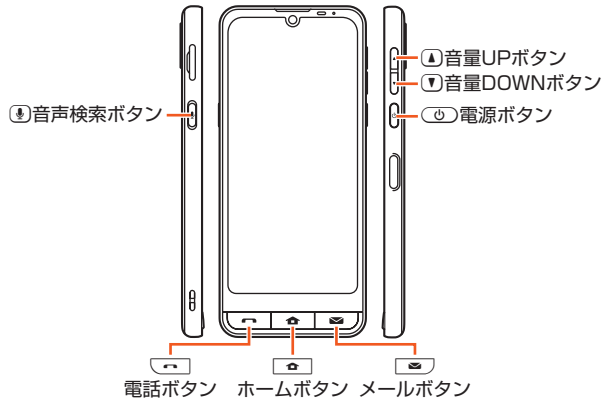
「Basic Manual」をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■項目/アイコン/ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]	ホーム画面で「アプリ」をタップ*してアプリ一覧画面に切り替え、次に「 設定」をタップします。続けて「すべてを見る」をタップし、さらに「デバイス情報」をタップします。
(2秒以上長押し)	を2秒以上長押しします。

*タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやキーを指で軽くたたいて選択する動作です。

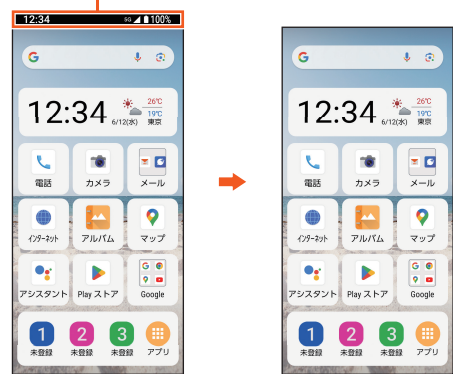
■掲載されているイラスト・画面表示について

本書は特に記載のある場合を除き、auのSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。

本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンやキーなどが異なる場合があります。

記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面

本書の表記例

- ◎ 本書では本体カラー「シルバー」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書ではお買い上げ時のホーム画面での操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「microSD™メモリーカード(市販品)」「microSDHC™メモリーカード(市販品)」「microSDXC™メモリーカード(市販品)」の名称を「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書は、Android™ 14の内容で記載しています。最新版は「オンラインマニュアル」またはauホームページに掲載の「取扱説明書 詳細版」をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
目次	2
注意事項	5
注意事項	6
本製品のご利用について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
材質一覧	9
取り扱い上のご注意	9
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意	11
本製品の防水/防塵/耐衝撃性能	11
使用時のご注意	11
防水/防塵性能を維持するために	12
充電時のご注意	12
本製品の洗いかた	12
ハンドソープでの本製品の洗いかた	12
ハンドソープでの洗いかたについて	12
水抜きのかた	13
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	14
Bluetooth®についてのお願い	14
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い	14
周波数帯について	14
おサイフケータイ®およびNFCリーダー/ライターについて	14
電波障害自主規制について	14
各種暗証番号/PINコードについて	15
各種暗証番号について	15
PINコードについて	15
データ通信料についてのご注意	15
通話料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
マナーも携帯する	15
ご利用の準備	17
ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
SIMについて	19
SIMについて	19
eSIMについて	19
SIMカードについて	19
SIMカードを取り付ける/取り外す	19
SIMカードを取り付ける	19
SIMカードを取り外す	19
eSIMを設定する	20
eSIMプロフィールをダウンロードする	20
eSIM切替をする	20
充電する	20
充電について	20
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	20
パソコンを使って充電する	20
電源を入れる/切る	21
電源を入れる	21
電源を切る	21
画面をロックする/画面ロックを解除する	21
画面をロックする	21
画面ロックを解除する	21
初期設定を行う	22
Google アカウントをセットアップする	22
データを引き継ぐ	22
基本操作	23
基本操作	24
タッチパネルの使いかた	24
ナビゲーションバーについて	24
指紋認証機能を利用する	24
指紋認証機能について	24
指紋を登録する	24
指紋を管理する	24
指紋認証を行う	25
顔認証機能を利用する	25
顔認証機能について	25
顔を登録する	25
顔認証について設定する	25
顔認証を行う	25
ホーム画面の使いかた	25
ホーム画面について	25
トピックスクリーンを利用する	25
ホーム画面を編集する	25
機能のショートカットを利用する	26

壁紙を設定する	26
天気・地域の設定をする	26
ホーム画面を設定する	26
案とモリリンクに登録する	26
アプリケーションを起動する	26
音声検索ボタンを利用する	26
本製品の状態を知る	27
アイコンについて	27
お知らせ/ステータスパネルを利用する	27
お知らせランプについて	27
マナーモードを設定する	28
緊急ブザーを利用する	28
アプリ使用履歴を利用する	28
アプリの権限を設定する	29
共通の操作を覚える	29
縦横表示を切り替える	29
利用できるメニューを表示する	29
機能の有効/無効を切り替える	29
文字入力	30
ソフトウェアキーボードを切り替える	30
文字入力画面の見かた	30
文字の入力方法	31
文字を入力する	31
入力する文字種を切り替える	31
絵文字/記号/顔文字を入力する	31
音声で入力する	31
文字を切り取り/コピーしてから貼り付ける	31
文字入力について設定する	31
S-Shoinの設定を行う	31
ユーザー辞書に登録する	31

電話・電話帳

電話	34
電話	34
電話をかける	34
電話番号を入力して電話をかける	34
通話中画面の操作	34
履歴を利用して電話をかける	35
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	35
電話を受ける	35
電話に出る	35
着信に簡易留守録で応答する	35
着信を拒否する	35
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る	35
迷惑電話対策機能について	35
電話をかける場合の対策について	35
電話を受ける場合の対策について	36
迷惑電話対策機能で録音した内容を再生する	36
迷惑電話対策機能の設定をする	36
通話に関する設定をする	37
通話の設定をする	37
簡易留守録を利用する	37
簡易留守録/通話音声メモを再生する	37
着信拒否の設定をする	37
自分の電話番号を確認する	37
電話帳	38
電話帳	38
電話帳に登録する	38
電話帳の一覧を利用する	38
電話帳一覧画面を表示する	38
電話帳一覧画面のメニューを利用する	38
電話帳の登録内容を利用する	38

メール

メール	40
メール	40
メールについて	40
auメール	40
auメールのご利用にあたって	40
auメールを利用する	40
迷惑メールフィルターを設定する	40
+メッセージ(SMS)	41
+メッセージのご利用にあたって	41
+メッセージのモードについて	41
+メッセージのご利用方法を確認する	41
連絡先を登録する	41
QRコードによる連絡先登録をする	41
新しい連絡先を登録する	41
公式アカウントを登録する	41
メッセージを送信する	41
グループを作る・グループに送信する	41
+メッセージを設定する	41
ブロックリストを設定する	42
公式アカウントとのやりとりをブロックする	42
Gmail	42
Gmail	42
Gmailについて	42
Gmailを送信する	42
Gmailを受信する	42

インターネット	43
インターネット.....	44
インターネットに接続する.....	44
データ通信を利用する.....	44
Google Chrome™	44
Google Chromeを利用する.....	44
Webページを表示する.....	44
URL表示欄を利用する.....	44
Chrome画面のメニューを利用する.....	44
ブックマーク/履歴を利用する.....	44
アプリケーション	45
アプリケーション一覧.....	46
本製品に搭載のアプリケーションについて.....	46
カメラ	47
カメラをご利用になる前に.....	47
静止画/動画を撮影する.....	48
静止画を撮影する.....	48
動画を撮影する.....	48
撮影画面の見かた.....	48
撮影モードを切り替える.....	49
カメラを設定する.....	49
アルバム	49
アルバムを利用する.....	49
データを表示/再生する.....	49
radiko+FM	50
radiko+FMを利用する.....	50
NFC/おサイフケータイ®	50
おサイフケータイ®とは.....	50
おサイフケータイ®のご利用にあたって.....	50
リーダー/ライターとデータをやりとりする.....	50
NFC機能を設定する.....	50
画面ロック連動機能を設定する.....	50
FeliCa®に対応したサービスを利用する.....	50
My au	51
My auを利用する.....	51
My UQ mobile	51
My UQ mobileを利用する.....	51
あんしんフィルター for au	51
あんしんフィルター for auを利用する.....	51
管理者情報を登録する.....	51
管理者ページを利用する.....	52
Android アプリ	52
Google Playを利用する.....	52
アプリケーションを検索し、インストールする.....	52
アプリケーションを管理する.....	52
提供元不明のアプリケーションをダウンロードする.....	52
モバイルライト	52
モバイルライトを利用する.....	52
スクリーンショット	52
スクリーンショットを撮影する.....	52
Google 検索	52
Google 検索を利用する.....	52
メモ帳	53
メモ帳を利用する.....	53
メモを確認/編集する.....	53
メモを選択して削除する.....	53
カレンダー	53
カレンダーを表示する.....	53
予定を新規登録する.....	53
カレンダー画面のメニューを利用する.....	53
アラーム	53
アラームを利用する.....	53
アラームで指定した時刻をお知らせする.....	53
からだメイト	54
からだメイトを利用する.....	54
電卓	54
電卓で計算する.....	54
ファイル管理	55
ファイル管理.....	56
本製品の保存領域について.....	56
microSDメモリカードを利用する.....	56
microSDメモリカードについて.....	56
microSDメモリカードを取り付ける.....	56
microSDメモリカードを取り外す.....	56
パソコンなどと接続する.....	56
USBホスト機能を利用する.....	57
ストレージに関する設定をする.....	57
ストレージを確認する.....	57
microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする.....	57
Filesを利用する.....	57

データを表示する.....	57
本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする.....	57

データ通信	59
無線LAN(Wi-Fi®)機能.....	60
無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	60
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する.....	60
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする.....	60
Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	60
アクセスポイントとの接続の設定を削除する.....	60
アクセスポイントとの自動接続を設定する.....	60
ネットワークとインターネット設定画面のメニューを利用する.....	60
Wi-Fi Direct®を利用する.....	60
Bluetooth®機能	61
Bluetooth®機能の利用について.....	61
Bluetooth®を利用する.....	61
Bluetooth®を起動する.....	61
Bluetooth®機器と接続する.....	61
Bluetooth®でデータを送受信する.....	61
Bluetooth®でデータを受信する.....	61
Bluetooth®でデータを送信する.....	61
テザリング機能	62
テザリングについて.....	62
Wi-Fi®テザリング機能を利用する.....	62
USB テザリング機能を利用する.....	62
Bluetooth® テザリング機能を利用する.....	62
イーサネット テザリング機能を利用する.....	62
端末設定	63
端末設定.....	64
設定メニューを表示する.....	64
元気だよメールを利用する.....	64
すべての設定メニューを表示する.....	64
ネットワークとインターネットに関する設定をする.....	65
ネットワークとインターネットの設定をする.....	65
機内モードを設定する.....	65
接続に関する設定をする.....	65
接続の設定をする.....	65
接続の詳細設定をする.....	65
印刷の設定をする.....	66
アプリの設定をする.....	66
通知の設定をする.....	66
バッテリーに関する設定をする.....	66
バッテリーの設定をする.....	66
長エネスイッチを利用する.....	66
音とバイブレーションの設定をする.....	67
ディスプレイの設定をする.....	67
便利機能に関する設定をする.....	67
便利機能の設定をする.....	67
ロック・ホームフォトシャッフルを設定する.....	67
簡単お支払いの設定をする.....	68
ユーザー補助の設定をする.....	68
セキュリティとプライバシーに関する設定をする.....	68
セキュリティとプライバシーの設定をする.....	68
その他のセキュリティとプライバシーの設定をする.....	69
位置情報の設定をする.....	69
安全性と緊急情報に関する設定をする.....	69
パスワードとアカウントに関する設定をする.....	69
アカウントを追加する.....	69
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする.....	69
システムに関する設定をする.....	70
システムの設定をする.....	70
使用する言語の設定をする.....	70
使用するキーボードの設定をする.....	70
Gboardの設定をする.....	70
日付と時刻の設定をする.....	70
本製品を初期化する.....	71
デバイス情報の設定をする.....	71
auネットワークサービス	73
auネットワークサービス.....	74
auのネットワークサービスについて.....	74
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス).....	74
着信お知らせサービスについて.....	74
着信転送サービスを利用する(標準サービス).....	74
着信転送サービスについて.....	74
応答できない電話を転送する(無応答・話中転送).....	74
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送).....	74
着信転送サービスを停止する.....	74
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス).....	74
発信番号表示サービスについて.....	74
電話番号を通知する.....	74
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス).....	75
番号通知リクエストサービスについて.....	75
番号通知リクエストサービスを開始する.....	75

番号通知リクエストサービスを停止する.....	75
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス).....	75
お留守番サービスEXについて.....	75
お留守番サービス総合案内(141)を利用する.....	75
応答できない電話を転送する(無応答・話中転送).....	75
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送).....	75
お留守番サービスを停止する.....	75
電話をかけてきた方が伝言を録音する.....	75
ボイスメールを録音する.....	75
伝言お知らせについて.....	75
伝言・ボイスメールを聞く.....	76
応答メッセージの録音/確認/変更をする.....	76
伝言の蓄積を停止する(不在通知).....	76
伝言の蓄積停止を解除する.....	76
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス).....	76
英語ガイドダンスへ切り替える.....	76
日本語ガイドダンスへ切り替える.....	76
三者通話サービスを利用する(オプションサービス).....	76
割込通話サービスを利用する(オプションサービス).....	77
割込通話サービスについて.....	77
割込通話サービスを開始する.....	77
割込通話サービスを停止する.....	77
割込通話を受ける.....	77
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス).....	77
迷惑電話撃退サービスについて.....	77
撃退する電話番号を登録する.....	77
登録した電話番号を全件削除する.....	77
通話明細計サービスを利用する(オプションサービス).....	77
海外利用 79	
海外利用.....	80
au世界サービスについて.....	80
海外利用に関する設定を行う.....	80
データ通信を設定する.....	80
海外でVoLTEを利用する.....	80
渡航先で電話をかける.....	80
渡航先で電話を受ける.....	80
お問い合わせ方法.....	81
海外からのお問い合わせ.....	81
海外でのご利用上のご注意.....	81
付録・索引 83	
付録.....	84
ソフトウェアを更新する.....	84
故障とお考えになる前に.....	84
アフターサービスについて.....	85
遠隔操作サポートを利用する.....	86
位置検索サポートを利用する.....	86
位置検索をご利用いただくにあたって.....	86
SIMロック解除について.....	86
周辺機器.....	86
主な仕様.....	86
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	87
Regulatory information.....	87
FCC Notice.....	88
輸出管理規制.....	88
知的財産権について.....	89
索引.....	90

注意事項

注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	9
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意.....	11
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い.....	14
おサイフケータイ®およびNFCリーダー/ライターについて.....	14
電波障害自主規制について.....	14
各種暗証番号/PINコードについて.....	15
データ通信料についてのご注意.....	15
通話料についてのご注意.....	15
アプリケーションについて.....	15
マナーも携帯する.....	15

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。

または、次のauホームページから「トラブル診断」をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>



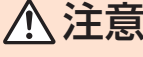
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、5G/4G LTE/WiMAX 2+/UMTS/GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみ利用します。
- 本製品はau世界サービスに対応しておりますが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使用の本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼働状況の把握」のために、お客さまが利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 「取扱説明書 詳細版」(本書)、「かんたんマニュアル」の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の計測センサーやGPSにより得られる測位などの情報は、あくまで目安となり、高度な信頼性を必要とする目的でのご利用はできません。測位の誤差による損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理: その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先や画像/動画などのデータは、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されている写真/動画データや音楽データは、パソコンやクラウドサービスなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。au Style/auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: シャープ株式会社

- ◎ 取扱説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 取扱説明書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。






	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷*2を負う可能性が想定される場合および物的損害*3の発生が想定される」内容です。

*1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。








*3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

危険

-  高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水・防塵性能については以下をご参照ください。▶P.11「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」
-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、お風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。▶P.11「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」
-  本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。※ご注意ください例
 - ・スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 - ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む
-  分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

本製品の背面カバー(背面部)は取り外せません。取り外そうとしないでください。また、内蔵電池の膨れ等により、本製品が膨れている場合も、背面カバー(背面部)を取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



水濡れ
禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



水濡れ
禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ
禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、外部接続端子、イヤホンマイク端子、受話口、送話口/マイク、サブマイク、スピーカー部に入らないようにしてください。
本製品の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
・指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。
SIMカード/microSDメモ리카ードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたい、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本製品内のSIMカード/microSDメモ리카ードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMカードやmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



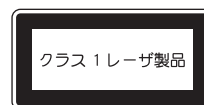
禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

近接センサーをのぞきこまないでください。
一時的に視力に影響を与え、事故につながる可能性があります。



禁止

ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。
難聴など耳への障害の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをすることは、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、臭異がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ベットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



禁止

ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、au Style/auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。



指示

本製品の受話口部、カメラ部、送話口/マイク部周辺、スピーカー部に磁気発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

警告



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。

ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)が付着した場合は、直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。やけどなどの原因となります。

SIMカードについて

注意



SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■本体(SHG12)

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス	AFコート
背面	PC樹脂	塗装、印刷、ハードコート
外装	PBT樹脂(ガラス入り)	塗装、ハードコート
音声検索ボタン、音量ボタン(UP/DOWN)、電源ボタン	アルミニウム	アルマイト処理
電話ボタン、ホームボタン、メールボタン	アクリル樹脂	-
電話ボタン、ホームボタン、メールボタン周囲	アクリル樹脂+PC樹脂	ハードコート
受話口メッシュ、モバイルライト、カメラ飾り	PC樹脂	-
カメラパネル	強化ガラス	AFコート、ARコート
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)、外部接続端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)	塗装、ハードコート
SIMカード/microSDメモリーカードトレイ(外装部)	PC樹脂(ガラス入り)	塗装、ハードコート
SIMカード/microSDメモリーカードトレイ	POM樹脂	-
SIMカード/microSDメモリーカードトレイのボタン	シリコンゴム	-
指紋センサー	エポキシ樹脂	ハードコート
スピーカーメッシュ	ポリエステル樹脂	-

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのが詰まった荷物の中に入れて、中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座つたりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。また、外部機器を外部接続端子に差し込んだ状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水/防塵性能(IPX5、IPX8、IP6X相当)を発揮するために、SIMカード/microSDメモリーカードトレイをしっかりと閉じた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたままSIMカード/microSDメモリーカードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・本製品本体
 - ・SIMカード(本製品本体装着状態)
 お風呂場での使用については、「お風呂場でお使いいただく際の注意事項」(▶P.11)をご参照ください。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・充電用機器
 - ・周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 本製品はアルコール除菌シートを使用することができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される薬品(エタノール70%)を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色・剥がれないことを確認しています。ただし、すべての変色、退色、塗装の剥がれや変形しないことを保証するものではありません。
- アルコール除菌シートのご利用については、以下ご注意ください。
 - ・誤動作防止のため、拭く前に、あらかじめ画面を消灯してください。
 - ・アルコール除菌シートを液だれがなくなるまで絞る、隙間や開口部などに湿気や液体が入らないようにご注意ください。
 - ・本製品の表面を優しく拭いてください。
 - ・ご使用されるアルコール除菌シートの各注意事項をご確認のうえ、ご使用ください。
 - ・塗装面に傷や打痕がある場合は、劣化が加速することがありますので、ご注意ください。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入つたりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品をご使用する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客さま自身では交換できません。電池の交換については、au Style/auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]→[規制ラベル]
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認いただけますよう、お願いいたします。
本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できず、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し発信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 受話口、送話口/マイク、スピーカー、空気抜き部(モバイルライト部)をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが誤動作することがあります。ディスプレイが点灯されたままとなり、誤ってディスプレイに触れると、通話が切れる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、au Style/auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイやボタンのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- SIMカード/microSDメモリーカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えたりすると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 通常はSIMカード/microSDメモリーカードトレイを閉じた状態で使用してください。カードトレイを閉じずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のSIMカード/microSDメモリーカードトレイの挿入口に液体、金属などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口/マイク、スピーカー、イヤホンマイク端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままの操作
 - ・ 保護フィルムやシールなどを貼った操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作
- ディスプレイにシールやシート類(保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの導電性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使われないと、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いときや内蔵電池が膨れているときなど、機能が回復せず劣化している場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、au Style/auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
 - ・ 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
 - ・ 高温多湿の状態

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器のケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、au Style/auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となる場合があります。
- 大切な撮影などをするとときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。

すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客さまの取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

本製品の防水／防塵／耐衝撃性能

本製品はSIMカード／microSDメモリーカードトレイをしっかりと閉じた状態で保護等級（JIS C 0920）IPX5相当^{*1}、IPX8相当^{*2}の防水性能およびIP6X相当^{*3}の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところへ本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかたくはんだせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

※4 MIL規格準拠
米国防務省が制定したMIL-STD-810Hに準拠した試験を実施しています。

試験項目	試験内容
耐衝撃（落下）	高さ1.22mから鋼板に製品を26方向で落下させる試験

・本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での全機能の動作を保証するものではありません。また、すべての衝撃に対して、無破損、無故障を保証するものではありません。

■ 本製品が有する防水／防塵性能でできること

- ・プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- ・弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使って本製品を洗うことができます。

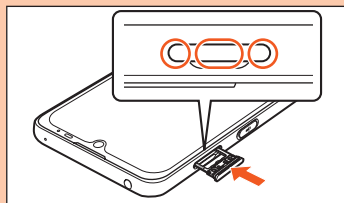
■ 本製品のお取り扱いについて

- ・SIMカード／microSDメモリーカードトレイをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ（髪の毛、砂粒、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ・SIMカード／microSDメモリーカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのau Style／auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ・本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- ・手や本製品が濡れているときや異物がついているときには、SIMカード／microSDメモリーカードトレイの開閉は絶対に行わないでください。
- ・常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- ・イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■ SIMカード／microSDメモリーカードトレイの閉じかた

SIMカード／microSDメモリーカードトレイを本体に水平に奥までしっかり差し込んでください。

- ・○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



■ 本製品の防塵性能について

- ・本製品の防塵性能はIP6X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- ・塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

使用時のご注意

- ・水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ベットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- ・万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
- ・乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・砂や泥がきれいには洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- ・湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。（ボタン操作を含む。）
- ・本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- ・急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- ・お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- ・本製品は水に浮きません。
- ・強い雨の中では使用しないでください。
- ・濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- ・受話口、送話口／マイク、スピーカーなどの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥を行った上でご使用ください。
- ・砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口、送話口／マイク、スピーカー、イヤホンマイク端子などに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- ・SIMカード／microSDメモリーカードトレイに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
- ・落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、受話口、送話口／マイク、スピーカー、サブマイクなどをとがったものでつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれる原因となります。

■ お風呂場でお使いいただく際の注意事項

- ・湯船や温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水に浸けたり、かけたりしないでください。故障の原因となります。
- ・万が一、水道水以外が付着したり、湯船に落とってしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流して、水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- ・お風呂場では、室温は40℃以下、湿度は99%以下、連続2時間以内の範囲でご使用ください。
- ・その後、必ず所定の方法で水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- ・なお、全ての機能の連続動作を保証するものではありません。
- ・高温のお湯がかからないようにご注意ください。
- ・急激な温度変化は、結露の原因となります。
- ・寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ・また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。浸水や故障の原因となります。
- ・カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- ・お風呂場で、イヤホンマイクや外部機器を接続して使用しないでください。
- ・お風呂場では、充電を行わないでください。

防水／防塵性能を維持するために

■ ゴムパッキンについて

SIMカード／microSDメモ리카ードトレイのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
 - SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを閉じるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、SIMカード／microSDメモ리카ードトレイの隙間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
- ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くの au Style／auショップまでご連絡ください。

充電時のご注意

指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを差し込んでください。
 - 本製品または充電用機器に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。
- 本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本製品やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
 - 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
 - 指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃~35℃)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離れた位置で洗います。

SIMカード／microSDメモ리카ードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイがきちんと閉まっていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認した上でご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど火災、やけど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置したりしないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

ハンドソープでの本製品の洗いかた

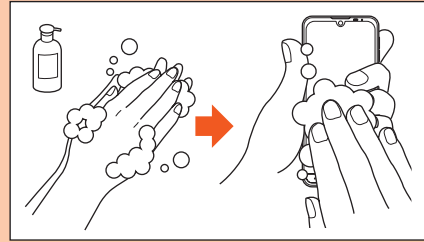
- 本製品は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープを使って洗うことができます*(シャープ株式会社調べ)。その他(アルカリ性のハンドソープ、食器用洗剤、固形石けん、粉末石けん等)の洗剤は使用しないでください。
- *本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープで洗えることを保証するものではありません。
- 本製品を洗う際は、完全に電源を切ってから行ってください。
 - 本製品を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本製品に傷がつく恐れがあります。

ハンドソープでの洗いかたについて

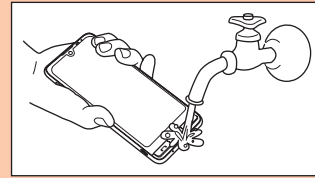
本製品を洗う場合には「ハンドソープでの本製品の洗いかた」(▶P.12)をご確認の上、次の手順で行ってください。

- 市販のアクセサリ商品(端末カバー、ケース、ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。

1 泡タイプのハンドソープを手にとり→本製品を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするよう洗う

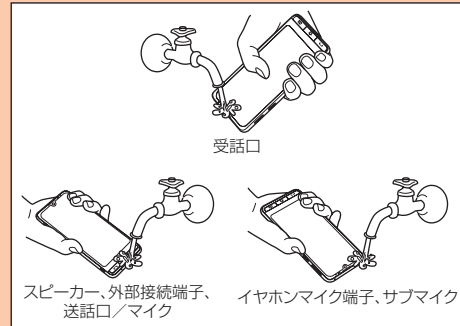


2 前面、背面、各ボタンなど、本製品についた泡が完全になくなるまですすぐ



- やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃~35℃)の水道水)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置ですすいでください。

3 受話口、スピーカー、外部接続端子、送話口／マイク、イヤホンマイク端子、サブマイクをすすぐ



- 受話口、スピーカー、送話口／マイク、サブマイクに泡ハンドソープの成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下する恐れがあります。
- また、外部接続端子、イヤホンマイク端子は充電不良など故障の原因となります。
- しっかりと洗い流してください。

4 水抜きする

- 水抜きについては「水抜きのしかた」(▶P.13)をご参照ください。
- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

■ 水抜きのみかた

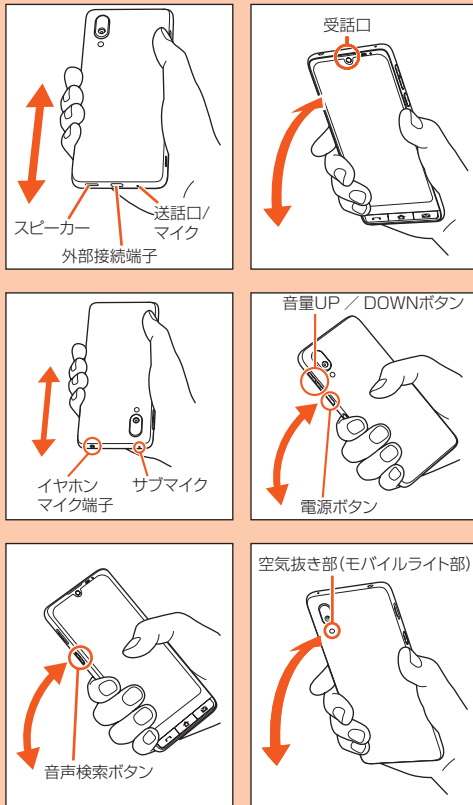
水に濡れた後は、必ず受話口、送話口/マイク、スピーカー、サブマイク、イヤホンマイク端子、外部接続端子、電源ボタン、音量UP/DOWNボタン、電話ボタン、ホームボタン、メールボタン、音声検索ボタン、空気抜き部(モバイルライト部)などの水抜きをしてください。

1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



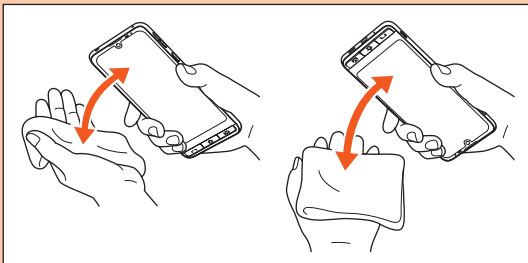
2 本製品をしっかり持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。



3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2~3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ 水抜き後のご注意

水滴が付着したまま使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth® / 無線LAN (Wi-Fi®) 機能をご 使用の場合のお願い

Bluetooth® についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国 / 地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国 / 地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN (Wi-Fi®) やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN (Wi-Fi®) についてのお願い

- 本製品の無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国 / 地域では無線LAN (Wi-Fi®) 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国 / 地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®) 機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。

ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]→[規制レベル]

- Bluetooth®機能: 2.4FH/XX8

2.4FH/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。

FHは変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

XX8はその他方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN (Wi-Fi®) 機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

本製品の2.4GHz帯の無線LAN (Wi-Fi®) で使用できるチャンネルは、1~13です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au Style / auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

2.4GHz帯無線LAN (Wi-Fi®) ご使用上の注意

本製品の無線LAN (Wi-Fi®) 機能の使用周波数は、2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au Style / auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

5GHz帯無線LAN (Wi-Fi®) 機能ご使用上の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz / 5.3GHz / 5.6GHz帯 (W52 / W53 / W56) の3種類のチャンネルを使用することができます。

- W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
- W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
- W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

5.2GHz / 5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 中継局と通信する場合を除く)。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth® と無線LAN (Wi-Fi®) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) のいずれかの使用を中止してください。

おサイフケータイ® および NFCリーダー / ライターについて

- 本製品のおサイフケータイ® および NFCリーダー / ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のおサイフケータイ® および NFCリーダー / ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国 / 地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]→[規制レベル]

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客さまが記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることがあります。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。「入力必要」で使用する場合は、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご使用ください。

- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。

eSIMをご利用の場合、詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/id/pin-code/>

- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。

- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、au Style/auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
- 現在地の正確な位置測定のため、スマートフォンが自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得する機能(当該機能のサービス提供者にデータが送信されます)が搭載されており、アシストデータの取得にデータ通信料がかかる場合があります。

通話料についてのご注意

- 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや本製品全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客さまの位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどによりお客さまご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリーカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「かんたんマニュアル」、「取扱説明書 詳細版」(本書)に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まった際の通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーでの通話は、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

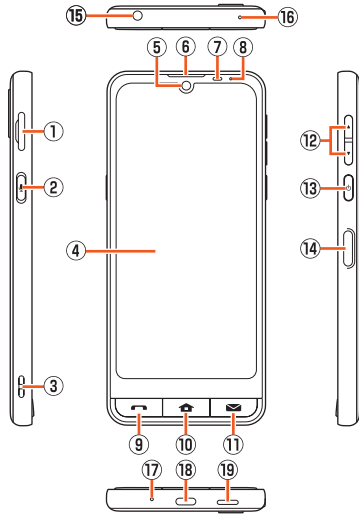
ご利用の準備

ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
SIMについて	19
SIMカードを取り付ける／取り外す	19
eSIMを設定する	20
充電する	20
電源を入れる／切る	21
画面をロックする／画面ロックを解除する	21
初期設定を行う	22
データを引き継ぐ	22

ご利用の準備

各部の名称と機能

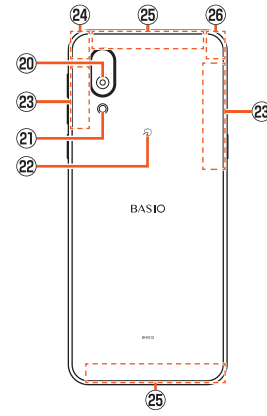
■ 正面／上下左右側面



- ① SIMカード／microSDメモリーカードトレイ
- ② **音声検索ボタン**
Google アシスタント™を使用するためのボタンです。
・詳しくは、「音声検索ボタンを利用する」(▶P.26)をご参照ください。
- ③ ストラップ取り付け穴
- ④ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑤ インカメラ
- ⑥ 受話口*1
通話中の相手の方の声、簡易留守録の再生音などが聞こえます。
- ⑦ 近接センサー／明るさセンサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑧ お知らせランプ
充電中などに点灯／点滅します。
・詳しくは、「お知らせランプについて」(▶P.27)をご参照ください。
- ⑨ **電話ボタン**
電話をかけるときや受けるときに使用します。また、不在着信があるときには点滅してお知らせします。
- ⑩ **ホームボタン**
ホーム画面に戻ります。周囲が暗いときに点灯します。
- ⑪ **メールボタン**
メールを送信するときや確認するときを使用します。また、新着メールがあるときには点滅してお知らせします。
・auをご契約の場合はauメール(▶P.40)、UQ mobileをご契約の場合はGmail(▶P.42)をご利用いただけます。
- ⑫ **音量UPボタン／音量DOWNボタン**
音量を調節します。
また、マナーモードの設定／解除を切り替えたり、緊急ブザーを起動したりすることもできます。
・詳しくは、「マナーモードを設定する」(▶P.28)、「緊急ブザーを利用する」(▶P.28)をご参照ください。
- ⑬ **電源ボタン**
電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときを使用します。
・本製品の電源を入れた状態で、2秒以上長押しすると「電源メニュー」が表示されます。詳しくは、「電源を入れる／切る」(▶P.21)をご参照ください。
- ⑭ **指紋センサー**
指紋認証による、ロック画面の解除などに利用します。
・ホーム画面表示中／アプリ一覧画面表示中に長押しすることで、設定したアプリを起動することもできます。詳しくは、「簡単お支払いの設定をする」(▶P.68)をご参照ください。
- ⑮ イヤホンマイク端子
- ⑯ サブマイク*1
ハンズフリー通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音にも使用します。
- ⑰ 送話口／マイク*1
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音や音声認識にも使用します。
- ⑱ **外部接続端子**
TypeC共通ACアダプタQ2(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などの外部機器の接続に使用します。
TypeC共通ACアダプタQ2(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などを接続すると、接続機器の磁気が影響し、本体の地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。地磁気センサーを利用する機能やアプリケーションを使用する場合はケーブル類を取り外してください。

- ⑲ **スピーカー*1**
着信音やアラーム音などが聞こえます。

■ 背面



- ⑳ **アウトカメラ**
 - ㉑ **モバイルライト**
周囲の隙間が、性能を保つための空気抜き部*1となっています。
 - ㉒ **FeliCaマーク**
おサイフケータイ®やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
 - ㉓ **5Gアンテナ*2**
 - ㉔ **Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ*2**
 - ㉕ **5G／4G／UMTSアンテナ*2**
 - ㉖ **5G／GPSアンテナ*2**
- *1 シールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
*2 アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなる場合があります。

◎ 本製品の背面カバー(背面部)は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客さまによる取り外しはできません。画面が動かなくなったときなど、強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」(▶P.21)をご参照ください。

SIMカード／microSDメモリーカードトレイについて

◎ SIMカード／microSDメモリーカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

近接センサー／明るさセンサーについて

◎ 近接センサー／明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

イヤホンマイク端子について

◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

SIMについて

SIMについて

本製品はeSIM(ダウンロード型SIM)とnanoSIMカードに対応しています。モバイルデータ通信や音声通話発信、SMSの送信などの操作にどちらのSIMを使うか選択できます。

eSIMについて

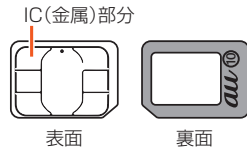
本製品は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。eSIMのご利用には設定が必要です。

- eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。
- auでeSIMをご利用の場合、詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/sim/esim/>

SIMカードについて

SIMカードにはお客様の電話番号などが記録されています。本製品にはSIMロックはされておりません。

au Nano IC Card 05の場合



- ◎ SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - SIMカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - 正しい挿入方向をご確認ください。
 - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ SIMカードを正しく取り付けしていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ SIMカード着脱時は、必ずTypeC共通ACアダプタ02(別売)などのUSB Type-Cプラグを本製品から抜いてください。

SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

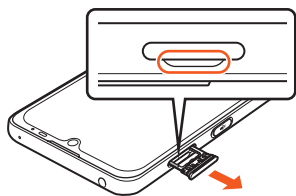
- 電話をかける* / 受ける
 - SMSの送受信
 - +メッセージの送受信
 - auメールの初期設定および送受信
 - SIMカードロック設定
 - 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- 上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。
- * 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

SIMカードを取り付ける / 取り外す

SIMカードを取り付ける

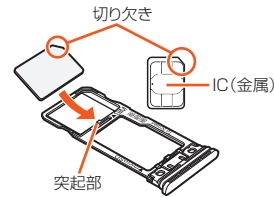
SIMカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

1 ミゾに指先をかけて、SIMカード / microSDメモリカードトレイを引き出す



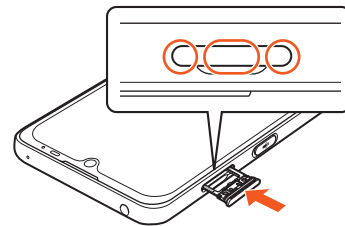
2 SIMカードのIC(金属)面を下向きにして、SIMカード / microSDメモリカードトレイの突起部に押し当てながら取り付ける

SIMカードの向きに注意して、確実にカードトレイに取り付けてください。SIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 SIMカード / microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

◎部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



SIMカード / microSDメモリカードトレイの着脱について

- ◎ SIMカードやmicroSDメモリカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けた後で、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ◎ 取り外したSIMカード / microSDメモリカードトレイは紛失・破損しないようにご注意ください。
- ◎ カードトレイを本体から引き出すときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくりと水平に引き出してください。
 - カードトレイを強く引き出ししたり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
 - ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でカードトレイを引き出すと、カードトレイに取り付けられているSIMカードやmicroSDメモリカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ◎ カードトレイを本体に取り付けるときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくり差し込み、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。
 - カードトレイは「画面側」の印刷を上向きにして、差し込んでください。
 - カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損するおそれがあります。
 - カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水 / 防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。
 - カードトレイの閉じかたについては詳しくは、「SIMカード / microSDメモリカードトレイの閉じかた」(▶P.11)をご参照ください。

IMEI情報(端末識別番号)について

- ◎ SIMカード / microSDメモリカードトレイにIMEI情報が印刷されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI情報が必要となる場合にご確認ください。
- ◎ 本製品を操作してIMEI情報を確認することもできます。
ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]→[IMEI(SIMスロット1)] / [IMEI(SIMスロット2)]

SIMカードを取り外す

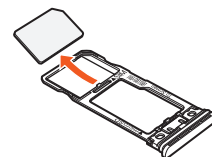
SIMカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

- SIMカード / microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「SIMカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

1 ミゾに指先をかけて、SIMカード / microSDメモリカードトレイを引き出す

引き出すときに、SIMカードがカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。

2 SIMカードをSIMカード / microSDメモリカードトレイから取り外す



3 SIMカード / microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

eSIMを設定する

eSIMプロフィールをダウンロードする

eSIMを利用するときは、はじめにeSIMプロフィールをダウンロードします。

- あらかじめWi-Fiを設定し、無線LAN(Wi-Fi)機能をONにしておいてください。
- プロファイルダウンロード用のQRコードをお手元に用意してください。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]
- 2 [SIMの追加]→[新しいeSIMをダウンロード]
- 3 QRコードを読み取る
- 4 画面に従って操作し、eSIMプロフィールをダウンロードする

eSIM切替をする

SIMカードとeSIMの2つのSIMを利用することで、災害時など電波がつかない状況でも、SIMを切り替えて利用できます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]
- 2 [通話とSMS]→[通話] / [SMS]
- 3 利用するSIMを選択

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

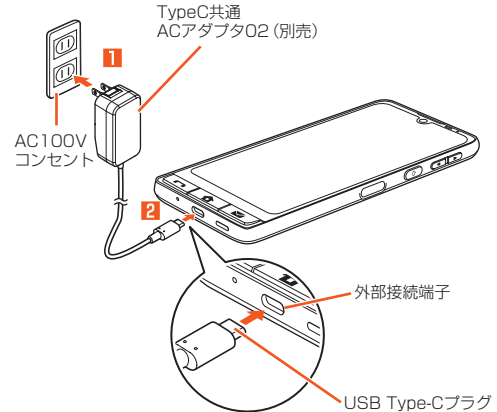
- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性があります。ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]→[電池の状態]と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は電池マークに🔌が重なって表示されます。充電完了(電池残量100%表示)後も、AC100Vコンセントやパソコンに接続したままの状態では、🔌を表示し続けます。

- ◎ 充電中、本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。
- ◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなる場合があります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- ◎ お知らせランプが赤色に点滅したときは、強制的に電源を切り(▶P.21)、電源を入れ直してください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、au Style/auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 連続通話時間および連続待受時間(▶P.86)は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
 - 📶(圏外)が表示される場所での使用が多い場合
 - Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、位置情報などの使用
 - アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合
 - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.86)をご参照ください。

- 1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを、本製品の外部接続端子に矢印の方向に差し込む



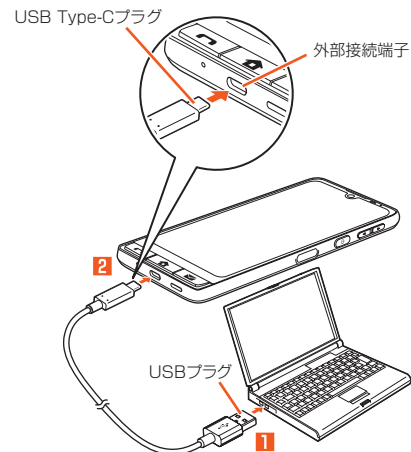
- 3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く
- 4 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続



- ◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くなる場合があります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電する場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合

ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、電力を供給する役割と受給する役割を入れ替えることができます。

- ◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続デバイスの充電」をONに設定すると、本製品が給電する役割となり、接続した機器を充電することができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れた状態で(⏻)(2秒以上長押し)

- ◎ 電源を入れてから「SHARP」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

電源を切る

1 (⏻)(2秒以上長押し)

2 [電源を切る]

■ 再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 (⏻)(2秒以上長押し)

2 [再起動]

(⏻)(2秒以上長押し)で表示される機能(電源メニュー)について

- ◎ 「故障かな?と思ったら」をタップすると、項目を選択して本製品の状態を診断できます。
- ◎ 「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」を「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定している場合に、「ロック画面表示」が表示されます。

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 (⏻)(8秒以上長押し)

- ◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■ セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性がります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

1 (⏻)(2秒以上長押し)

2 「電源を切る」または「再起動」をロングタッチ→[OK]

セーフモードで起動すると、画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには再起動してください。

- ◎ 電源が切れているときは、(⏻)(2秒以上長押し)で電源を入れ、SHARPロゴが表示されてからロック画面が表示されるまで(⏻)を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
- ◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ お客様まで自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロックする

画面消灯中はボタンやタッチパネルの誤動作を防止できます。

1 画面点灯中に(⏻)

「画面消灯(スリープ)」(▶P.67)で設定した時間が経過しても画面が消灯します。

- ◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入れると、誤動作の原因となります。

画面ロックを解除する

画面を点灯させるとロック画面が表示されます。

1 画面消灯中に(⏻)

2 ロック画面を上へスライド

- ◎ 「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。
- ◎ 指紋認証機能を利用して、指紋センサーにタッチするだけで画面ロックを解除することができます。詳しくは、「指紋認証機能を利用する」(▶P.24)をご参照ください。

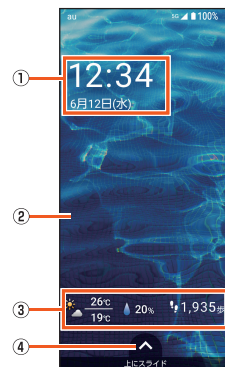
■ 持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。(お買い上げ時、この機能は有効になっています。)設定方法については、「自動画面点灯」(▶P.67)の「持つと画面点灯」をご参照ください。

- ◎ 次の場合などでは、点灯しないことがあります。

- ・ 本製品を持ったまま動いている(歩行中や乗車中などの)場合
- ・ 持ち上げる前やその後本製品を動かし続けている場合
- ・ 垂直または水平に持ち上げた場合

■ ロック画面について



1 時計

現在の時刻と日付などが表示されます。

2 壁紙

設定メニュー(▶P.64)の「壁紙」で変更することができます。

3 天気/歩数

天気や歩数が表示されます。

4 画面ロック

「▲」を上へスライドすると画面ロックを解除できます。

- ◎ 「ロック画面」(▶P.67)の「ロック画面にテキストを追加」を設定している場合は、ロック画面に設定したテキストが表示されます。

初期設定を行う

お買い上げ時、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面に従って、各機能の設定を行います。設定する機能は、操作する条件などにより異なる場合があります。

- 1 言語を選択**
「視覚補助」をタップすると、視覚に関するユーザー補助機能を利用できます。
- 2 [開始]**
- 3 Wi-Fi®接続を設定**
Wi-Fi®接続の設定について詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」(▶P.60)をご参照ください。
- 4 セットアップ方法を選択**
以前に使用していたスマートフォンからデータを引き継ぐことができます。「次へ」をタップし、画面に従って操作してください。
- 5 Google™アカウントを設定**
- 6 Google サービスなどの内容を確認/設定**
- 7 端末のロックを設定**
- 8 Google アシスタント、Google Pay™について確認/設定**
- 9 迷惑電話の対策について確認**
- 10 ソフトウェア更新について確認**
- 11 その他の項目について確認/設定**

◎ セットアップ中断の確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

Google アカウントをセットアップする

Google アカウントのセットアップ画面は、Google アカウントが設定されていない状態でGoogle アカウントが必要なアプリケーションを起動したときなどに表示されます。

- 1 Google アカウントのセットアップ画面→メールアドレスまたは電話番号を入力/[アカウントを作成]**
Google アカウントをすでにお持ちの場合はGmail™のメールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]→パスワードを入力→[次へ]と操作し、画面に従って設定してください。
Google アカウントをお持ちではない場合は「アカウントを作成」をタップし、画面に従って登録してください。

- ◎ Google アカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ Google アカウントは、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[パスワードとアカウント]→[アカウントを追加]と操作しても設定できます。

データを引き継ぐ

microSDメモリカードを利用して、これまでお使いの携帯電話/スマートフォンのバックアップデータを本製品の本体メモリに取り込むことができます。本製品にデータを引き継ぐ場合は、あらかじめ、バックアップデータを保存したmicroSDメモリカードを本体に取り付けておいてください。また、これまでお使いのスマートフォンがBluetooth®対応の場合は、Bluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込むこともできます。

- ・ 電話帳(連絡帳)、スケジュール、メモ帳、ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)の登録内容を引き継ぐことができます。
- ・ これまでお使いの携帯電話/スマートフォンの操作については、これまでお使いの携帯電話/スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

microSDメモリカードに保存したバックアップデータを取り込む

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[データ引継]→[データ取り込み]**
「メニュー」→「ヘルプ」をタップすると、ヘルプを表示します。
- 2 [従来の携帯電話]→[取り込む]**
取り込むことができるデータカテゴリが一覧表示されます。
- 3 取り込むデータカテゴリを選択**
バックアップデータが一覧表示されます。
すべてのカテゴリを選択/解除したい場合、「全選択」/「全解除」をタップします。バックアップデータは最新のものが選択されます。
- 4 取り込むバックアップデータを選択**
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。
- 5 [追加登録]/[削除して登録]**
アカウントの選択画面が表示された場合は、登録先を選択してください。
- 6 [完了]**

- ◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ◎ 「削除して登録」を実行中に操作がキャンセルされた場合は、既存のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されません。
- ◎ ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)は追加登録を行った場合でも削除して登録されます。

スマートフォンからBluetooth®機能を利用して電話帳データを取り込む

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[データ引継]→[データ取り込み]**
- 2 [スマートフォン]→[次へ]**
- 3 これまでお使いのスマートフォンのBluetooth®機能を有効にする→[次へ]**
- 4 これまでお使いのスマートフォンを選択→[開始]**
リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。
「連絡先と通話履歴へのアクセスを許可する」を有効に設定するなど、相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。
- 5 [次へ]**
- 6 [追加登録]/[削除して登録]→[OK]**
アカウントの選択画面が表示された場合は、登録先を選択してください。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。
- 7 [OK]**

基本操作

基本操作	24
タッチパネルの使いかた.....	24
ナビゲーションバーについて.....	24
指紋認証機能を利用する.....	24
顔認証機能を利用する.....	25
ホーム画面の使いかた.....	25
アプリケーションを起動する.....	26
音声検索ボタンを利用する.....	26
本製品の状態を知る.....	27
マナーモードを設定する.....	28
緊急ブザーを利用する.....	28
アプリ使用履歴を利用する.....	28
アプリの権限を設定する.....	29
共通の操作を覚える.....	29
文字入力	30
ソフトウェアキーボードを切り替える.....	30
文字入力画面の見かた.....	30
文字の入力方法.....	31
文字入力について設定する.....	31

基本操作

タッチパネルの使いかた

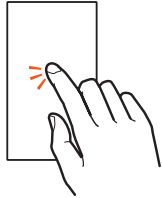
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護フィルムやシールなどを貼った状態での操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

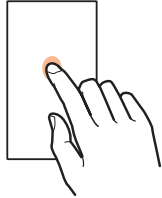
- 画面に表示された項目やアイコンを選択します。静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。



■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

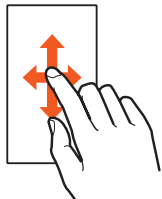
- 項目によっては、利用できるメニューが表示されます。



■ スライド／スワイプ／ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

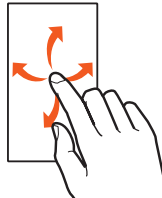
- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にバーの操作に使用します(スライド／スワイプ)。
- 項目やアイコンを目的の位置まで移動します(ドラッグ)。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

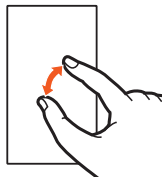
- ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。



■ ピンチ



2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- Webページなどで画面を拡大／縮小します。



ナビゲーションバーについて

画面下部に次のアイコンが表示される領域を、「ナビゲーションバー」と呼びます。ボタンをタップして操作できます。

アイコン	概要
	1つ前の画面に戻ります。
	アプリ使用履歴画面を表示します。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能について

■ 指紋認証利用時のご注意

指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客さまの場合は、指紋認証を利用できないことがあります。

認証性能(指紋センサーを正しく指でタップした際に指紋が認証される性能)はお客さまの使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客さまの指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。

- お風呂上がりなどで指がふやけている
- 指が乾燥している
- 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
- 指が泥や油で汚れている
- 指が汗などで濡れている
- 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
- 指の表面が磨耗して指紋が薄い
- 太ったりやせたりして指紋が変化した
- 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本製品を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されたから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

指紋を登録する

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[ロック画面]→[指紋]

ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]→[指紋センサーと簡単お支払い]→[指紋登録]と操作しても指紋を登録できます。

2 予備のロック解除方法／通知を設定

「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」を「なし」/「スライド」以外に設定している場合は、設定している方法でロックを解除します。

3 [同意する]→[次へ]

4 指紋センサーに指の腹で触れる

指を指紋センサーに当て、振動したら離します。指紋の登録が完了するまで繰り返し行ってください。

5 [完了]

続けて別の指紋を登録する場合は、「別の指紋を登録」を選択してください。

◎「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」を「なし」/「スライド」に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

指紋を管理する

指紋の追加や登録名の変更、削除ができます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[ロック画面]→[指紋]

ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]→[指紋センサーと簡単お支払い]→[指紋登録]と操作しても指紋を管理できます。

2 ロックを解除

■ 指紋を追加登録する場合

3 [指紋を追加]→画面に従って操作

指紋の登録について詳しくは、「指紋を登録する」(▶P.24)をご参照ください。

■ 登録した指紋の名前を変更する場合

3 登録済みの指紋を選択

4 名前を入力→[OK]

■ 登録した指紋を削除する場合

3 登録済みの指紋の[]

4 [削除]

指紋認証を行う

1 画面消灯中／ロック画面表示中／指紋認証画面表示中に、指紋センサーを指の腹で触れる

画面消灯中に操作すると、画面のロックが解除され、画面が点灯します。正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

顔認証機能を利用する

顔認証機能について

■ 顔認証利用時のご注意

顔認証は他のロック解除方法(パターン、ロックNo.、パスワードなど)より安全性が低くなります。
認証性能(顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。
顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご注意ください。
・ 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
・ 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
・ 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、顔を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。
ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点にご注意ください。
・ 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
・ 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
・ 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
・ 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。
※「マスクをしたまま顔認証」がONの場合、マスクを着用している顔で顔認証を行うことができます。

顔を登録する

顔認証に使う顔を登録します。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[ロック画面]→[顔認証]

2 予備のロック解除方法／通知を設定

「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」を「なし」/「スライド」以外に設定している場合は、設定している方法でロックを解除します。

3 [次へ]

4 [OK]

5 インカメラに顔を向ける

顔が登録されます。

6 [有効にする] / [スキップ]

「マスクをしたまま顔認証」を有効にすると、マスクを着用している顔でも認証することができます。

顔認証について設定する

登録した顔データを削除したり、マスクをしたまま顔認証するように設定します。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[ロック画面]→[顔認証]

2 ロックを解除

3 顔データを変更する	登録した顔を一度削除し、改めて顔の登録をします。
顔データを削除する	登録した顔を削除します。
マスクをしたまま顔認証	マスクを着用している顔でも認証するかどうかを設定します。

顔認証を行う

1 画面点灯時／ロック画面表示中に、インカメラに顔を向ける

正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

ホーム画面の使いかた

ホーム画面について

本製品の主な操作は「ホーム画面」と、アプリを一覧表示した「アプリ一覧画面」から行います。ホーム画面は、本製品の操作の中心となる画面です。ホーム画面には、よく使うアプリや登録した相手に簡単に電話やメールで連絡ができる「楽ともリンク」が配置されています。

■ ホーム画面の見かた

ホーム画面の「アプリ」をタップするとアプリ一覧画面に切り替わります。アプリ一覧画面で「戻る」をタップすると、ホーム画面に切り替わります。



1 ステータスバー

2 Google検索バー

Google™ 検索やGoogle Lens™を利用できます。

・ Google 検索について詳しくは、「Google 検索を利用する」(▶P.52)をご参照ください。

3 ウィジェット

天気ウィジェットでは、日付と時刻、設定した地域の天気が表示されます。

4 アプリ

5 楽ともリンク

頻繁に連絡したり、困ったときに連絡したい相手を登録して、すばやく起動させることができます。

・ 楽ともリンクについて詳しくは、「楽ともリンクに登録する」(▶P.26)をご参照ください。

6 アプリ一覧

アプリ一覧画面を表示できます。

7 フォルダ

フォルダをタップ→フォルダ名を選択すると、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、「名前の編集」をタップしてフォルダ名を設定できます。

フォルダをタップしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

8 ナビゲーションバー

戻るボタンで、1つ前の画面に戻ったり、アプリ使用履歴ボタンでアプリ使用履歴画面を表示したりします。

トピックスクリーンを利用する

ホーム画面を上をスライドするとトピックスクリーンの画面が表示されます。トピックスクリーンは、au IDの情報をもとに、個人に最適な情報を確認できるサービスです。

※ UQ mobileをご契約のお客様は、機能／サービスが一部非対応／異なる場合がございます。

・ 初回起動時は[同意して利用]をタップしてください。

1 ホーム画面を上をスライド

2 確認したい情報をタップ

ホーム画面を編集する

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

1 ホーム画面→アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

ホーム画面の下端までドラッグすると、ページを移動できます。

ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチして、「削除」を選択するとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして、「アンインストール」を選択するとアンインストールできます。

◎ ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。

◎ アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして「ホーム画面に追加」をタップすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットを登録する

- 1 ホーム画面→[アプリ]をロングタッチ→[ウィジェット]
- 2 追加するウィジェットのアプリを選択→ウィジェットをロングタッチ
ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

■ 機能のショートカットを利用する

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選択
利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。機能のショートカットをロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

■ 壁紙を設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ]をロングタッチ→[壁紙]
- 2 アプリを選択
- 3 設定する壁紙を選択→画面に従って操作

■ 天気の詳細の設定をする

「時刻／天気」では現在地の天気の情報が確認できます。
「時刻／天気」の部分をクリックして、登録したエリアの天気の情報を確認できるように設定できます。

■ 天気を確認するエリアを設定する

- 1 ホーム画面→「時刻／天気」の部分をクリック
- 2 [地域を選択]→画面に従って確認するエリアを選択
「時刻／天気」の部分をクリックすると、設定したエリアの天気の情報が表示されるように設定されます。

■ ホーム画面を設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ]をロングタッチ→[ホームの設定]
- 2

通知ドット	通知がある場合に、アプリアイコンの上に通知ドットを表示するかどうかなど、通知について設定します。 ・詳しくは、「通知の設定をする」(▶P.66)をご参照ください。
通知ドットに件数表示	通知ドットを利用している場合に件数を表示するかどうかを設定します。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリアイコンを追加するかどうかを設定します。
ホーム画面の回転を許可	ホーム画面を横表示でも利用するかどうかを設定します。

■ 楽ともリンクに登録する

ホーム画面下部の①／②／③(楽ともリンク)に、よく連絡する相手を登録しておくことで、簡単な操作で電話をかけたり、EメールやSMSを作成したりすることができます。

- ・あらかじめ、登録する相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておいてください。
- ・登録後は、ボタンの下に登録した相手の名前が表示されるようになります。

- 1 ホーム画面→[①]／[②]／[③]→[はい]→登録する相手を選択→[次へ]
- 2 アイコンを選択
楽ともリンクに登録されます。
プリセットから選ぶ場合は、[プリセットから選ぶ]→アイコンを選択→[はい]と操作します。

■ アプリケーションを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→アプリケーションをタップ

■ 音声検索ボタンを利用する

④(音声検索ボタン)はGoogle アシスタントを使用するためのボタンです。

- 1 
設定した機能が起動します。


■ 音声検索ボタンの機能を設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]
- 2 [音声検索ボタン]
音声検索ボタン設定画面が表示されます。
- 3 [音声検索ボタンアシスタント]
「 ON」／「 OFF」をタップするたびに機能のON／OFFが切り替わります。

本製品の状態を知る

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

- お知らせアイコンやステータスアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は  が表示されます。

主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池残量が約20%以下
	不在着信あり
	新着auメールあり
	新着+メッセージあり/新着SMSあり
	新着Gmailあり
	アラーム情報あり
	カレンダーの予定通知あり
	発信中、着信中、通話中
	保留中
	簡易留守録情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード/ダウンロード、送受信など ↑:データのアップロード・送信時 ↓:データのダウンロード・受信時
	利用可能なアップデートあり
	ソフトウェア更新情報あり

主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電池レベル状態 □~□:残量表示 □:約20%以下 • 充電中は電池マークに が重なって表示されます。充電完了(電池残量100%表示)後も、AC100Vコンセントやパソコンに接続したままの状態では、 を表示し続けます。 • 電池マークの右に電池残量を%で表示することができます。(▶P.66)
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界) ■~■:レベル表示 ■:圏外 • 接続中のネットワーク*1を示すアイコンが左に表示されます。 5G:5G使用可能 4G:4G使用可能*2 • 通信中は が重なって表示されます。 • SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、それぞれのSIMに対して表示されます。左側がSIMカード、右側がeSIMに関する表示です。
	音声サービス利用不可能
	ローミング中
	「サイレントモード」をONに設定中
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「マイクOFF」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ ■~■:レベル表示 • 通信中は が重なって表示されます。
	Bluetooth®通信中
	位置情報をGPSで測位中
	Wi-Fi®テザリング利用中

※1 「5G」エリア外でも4Gエリア内であれば「4G」のネットワークがご利用いただけます。

※2 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ/ステータスパネルを利用する

お知らせ/ステータスパネルでは、お知らせアイコンとステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。また、マナーモードや自動回転などを設定できます。

■ お知らせパネルを表示する場合

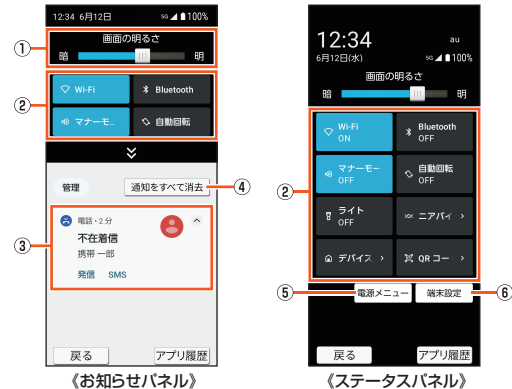
1 ステータスバーを下にスライド



■ ステータスパネルを表示する場合

1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

■ お知らせ/ステータスパネルの見かた



① 明るさ調整バー

バーを左右にスライドして明るさを設定します。

② 機能ボタン

よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。

③ お知らせ

本製品の状態や通知の内容を確認できます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。
• 通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
• 表示範囲を上をスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
• 「▽」/「△」をタップして詳細表示と簡易表示を切り替えられます。詳細表示では、表示されるメニューから直接メッセージの返信などを行うことができます。
• 通知をロングタッチすると、アプリの通知を設定できます。

④ 通知をすべて消去

通知をすべて消去します。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。

⑤ 電源メニュー

電源メニューを表示します。
• 詳しくは、「電源を入れる/切る」(▶P.21)をご参照ください。

⑥ 端末設定

本製品について、各種設定を行います。
• 詳しくは、「設定メニューを表示する」(▶P.64)をご参照ください。

◎ 画面を上下にスライドすると、お知らせパネル/ステータスパネルを切り替えられます。

◎ 通知を表示して実行中のアプリがある場合は、ステータスパネルの画面下部に「XX 個のアプリが実行中です」が表示されます。タップして「停止」が表示されている場合は、選択したアプリを停止し、関連する通知を削除することができます。

お知らせランプについて

充電の状態をお知らせします。

ランプの色と表示状態	通知内容
赤色の点灯	充電中(電池残量約94%以下)
緑色の点灯	充電中(電池残量約95%以上)
赤色の点滅	充電ができない状態

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。設定できるモードは次の通りです。

バイブ	着信音や通知音は鳴らず、バイブレータが動作します。
消音	着信音や通知音は鳴らず、バイブレータも動作しません。
マナーOFF	着信音や通知音が鳴ります。バイブレータは設定に従って動作します。

1 ステータスパネルを表示→[マナーモード]

- 簡易留守録設定が「マナーモード連動」に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されます。
- **▲**/**▼**を押して音量バーを表示させた後、「マナーOFF」/「バイブ」/「消音」をタップしてもマナーモードを設定できます。
- マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始/終了音、アラーム音は鳴動します。また、「バイブレーションとハブティクス」(▶P.67)の設定によっては、バイブレータが振動します。
- 動画や音楽の音は「マナー設定時の動画・音楽の音」を「鳴らさない」に設定するとマナーモード中に鳴動しないようにすることができます。

サイレントモードを設定する

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[通知]

2 [サイレントモード]

「今すぐ ON にする」/「今すぐ OFF にする」をタップすると、設定した内容にかかわらずサイレントモードのON/OFFを切り替えられます。

人物	着信やメッセージの通知を許可する会話や連絡先を設定します。
アプリ	通知を許可するアプリを設定します。アプリの通知を許可してなくても、「人物」で設定した連絡先からの通知は届きます。
アラームとその他の割り込み	音を出す動作を設定します。
スケジュール	「サイレントモード」のON/OFFが自動的に切り替わるスケジュールを設定します。
クイック設定の持続時間	「サイレントモード」がOFFになるまでの時間を設定します。
通知の表示オプション	制限する通知の動作を設定します。

緊急ブザーを利用する

緊急時などに、ブザーを鳴らして周りに伝えることができます。

1 画面点灯中に、本製品側面の**▲**/**▼**

2 [緊急ブザー]

3 [緊急ブザーを鳴らす]

緊急ブザーが鳴ります。

4 [緊急ブザーを止める]

緊急ブザーが止まります。

- 緊急ブザーの音量は調節できません。また、マナーモード設定中でも鳴ります。
- 緊急ブザーを鳴らしているときに**□**を押すと、確認画面が表示されます。緊急ブザーを鳴らしているときに、うっかりホーム画面に戻ってしまったときは、手順**1**からやり直してください。
- 通話中の場合、緊急ブザーは鳴りません。
- 緊急ブザー鳴動中に電話がかかってきたり、動画/音楽などを再生した場合、緊急ブザーは自動的に止まります。

アプリ使用履歴を利用する

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 ロック画面とホーム画面以外で[アプリ履歴]

■ アプリ使用履歴画面の見かた



《アプリ使用履歴画面》

- 1 アプリの使用履歴**
アプリを起動できます。
・上にフリックすると使用履歴を削除できます。
- 2 画面メモ**
表示しているアプリの使用履歴画面を画像として撮影できます。
- 3 アプリアイコン**
アプリ情報が確認ができます。
- 4 すべて消去**
アプリの使用履歴をすべて削除できます。

○ アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

■ 2つのアプリを同時に表示する(分割画面)

画面を上下に分割し、2つのアプリをそれぞれ操作することができます。

1 アプリ使用履歴画面で、分割画面上部に表示するアプリのアイコンをタップ→[分割画面]

アプリが分割画面上部に、アプリの使用履歴が下部に表示されます。

2 分割画面下部に表示するアプリを起動



《分割画面》

- 1 セパレーター**
画面上端/下端までスライドすると、画面上部/下部のアプリが通常表示され、分割画面は終了します。
- 2 分割解除**
タップすると、分割画面は終了します。
- 3 表示されたアプリを利用**
- 4 セパレーターを画面上端/下端までスライド**
通常表示に戻ります。

- 利用するアプリによっては、分割画面表示に切り替わらない場合や通常表示に切り替わる場合があります。
- 利用するアプリによっては、分割画面表示では利用できない機能などがあります。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

- アプリ／機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。

例：＋メッセージを起動した場合

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面→[許可]／[許可しない]

通常は機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

■ アプリごとに利用する機能を設定する

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]

3 機能を選択

4 許可するかどうかを選択

■ 機能ごとに利用するアプリを設定する

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[セキュリティとプライバシー]→[プライバシー]→[権限マネージャー]


2 機能を選択



3 アプリを選択

4 許可するかどうかを選択

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

■ アクセスを確認する

カメラ・マイクへアプリがアクセスすると、ステータスバーに  が表示されます。

- お知らせ／ステータスパネルを表示して、「」／「」をタップするとカメラ・マイクへアクセスしているアプリの権限を設定できます。

共通の操作を覚える

■ 縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦(横)表示から左(右)に回転した場合



- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦横表示を切り替えるかどうかは、お知らせ／ステータスパネルを表示→[自動回転]で設定できます。
- アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

■ 利用できるメニューを表示する

メニューなどをタップすると、メニューを表示することができます。

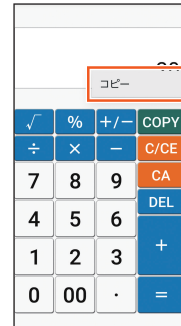
例：ダイヤル画面でメニューをタップした場合



■ 各項目やデータのメニューについて

各項目やデータをロングタッチすると利用できるメニューが表示されます。



例：電卓画面で計算結果をロングタッチした場合



■ 機能の有効／無効を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやトグルスイッチが表示されているときは、チェックボックスやトグルスイッチをタップすることで機能の有効／無効を切り替えることができます。

また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
 ON	機能が有効に設定されている状態です。
 OFF	機能が無効に設定されている状態です。

- アプリケーションによっては、表示されるアイコンの形状や色などが異なる場合があります。

文字入力

ソフトウェアキーボードを切り替える

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄を選択すると表示されます。

本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

12キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーを繰り返しタップして文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。

1 文字入力画面→[設定]→[キーボードタイプ]→[まとめて設定]→[12キーボード]／[QWERTYキーボード]

文字種別にキーボードタイプを設定することもできます。

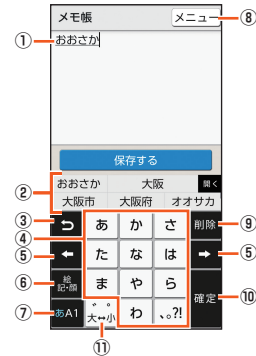
フリック入力について

複数の文字が割り当てられたキーの場合、上下左右にフリックすることで、文字を選択することができます。

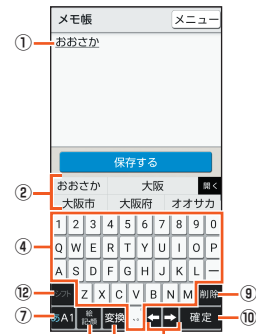
キーに触れると、フリック入力で選択できる候補が表示されます。選択したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力ができます。例えば「12キー」で「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



文字入力画面の見かた



《文字入力画面(12キー)》



《文字入力画面(QWERTY)》

- 文字入力エリア**
- 入力候補リスト**
文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。文字を入力して「**戻る**」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。上へフリックすると候補リストを確認できます。元の表示に戻すには、「**戻る**」をタップします。
- 戻るキー／戻すキー**
同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。
- 文字入力キー**
各キーに割り当てられた文字を入力できます。
- カーソルキー**
タップするとカーソルが左／右に移動します。文末で右に移動すると、スペースを入力します。文字入力中は、文字の区切りを変更すると、上下にフリックすると行を移動できます。
- 絵文字・記号・顔文字キー**
絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
- 文字種キー**
文字種を切り替えると、選択した文字種に応じて、次の文字が青く表示されます。
あ：ひらがな漢字入力
A：半角英字入力
1：半角数字入力
カナ：半角カタカナ入力
A：全角英字入力
1：全角数字入力
カ：全角カタカナ入力
- メニュー**
文字サイズを設定します。
- 削除キー**
文字を削除します。
- 確定キー／改行キー**
確定：入力中の文字を確定します。
改行：カーソルの位置で改行します。
・アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。
- 大文字・小文字キー／スペースキー**
大文字：入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
小文字：入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、アポストロフィを付けたりします。
スペース：スペースを入力します。
- シフトキー**
タップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。
シフト：小文字入力
シフト：大文字入力
シフト：大文字入力ロック
また、数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えます。

- ⑩ **スペースキー／変換キー**
 []:スペースを入力します。
 []:変換候補リストを表示します。

◎ 入力候補リストが表示されていない状態で画面下部の「戻る」をタップすると、キーボードを非表示にすることができます。

文字の入力方法

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測の機能を利用して入力することもできます。

例:「大阪」と入力する場合

- 1 文字入力画面→「おおさか」と入力
- 2 変換候補から「大阪」をタップ

予測変換について

- ◎ 予測変換候補リストで「ネット変換」をタップすると、インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を取得し、予測変換候補リストに表示します。
- ◎ ひらがな入力中に [] → [] と操作すると、通常変換候補リストに切り替えられます。[] → [] / [] と操作すると、変換するひらがなの文節を変えることができます。「予測」/「変換」/「カナ英数」をタップすると、予測変換候補リスト/通常変換候補リスト/カナ英数変換候補リストを切り替えられます。

ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から変換候補を表示し、入力できます。

例:「テレビ」と入力する場合

- 1 文字入力画面→「て」と入力
- 2 [] → []
「て」をタップするたびに「○」が表示され、文字数に合わせた変換候補が予測変換候補リストに表示されます。
- 3 変換候補から「テレビ」をタップ

入力する文字種を切り替える

- 1 文字入力画面→文字種キーをタップ
タップするたびに、「半角英字」、「半角数字」、「ひらがな漢字」の順に切り替わります。その他の文字種に切り替える場合は、文字入力画面→[文字種]と操作し、文字種を選択して切り替えます。

◎ 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字／記号／顔文字を入力する

- 1 文字入力画面→[]
- 2 絵文字／記号／顔文字を選択

◎ 操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／記号／顔文字があります。

絵文字／記号／顔文字一覧画面の見かた



- ① 絵文字／記号／顔文字リスト
絵文字／記号／顔文字を一覧表示します。
- ② ページ切替キー
カテゴリや履歴を表示します。
- ③ 閉じるキー
文字入力画面に戻ります。
- ④ 文字切替
絵文字／記号／顔文字を切り替えます。
- ⑤ 削除キー
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

音声で入力する

1 文字入力画面→[音声入力]

2 送話口／マイクに向かって話す

- ① 音声入力を受け付けています。認識が完了すると文字が入力されます。タップすると音声入力を一時停止します。
- ② 音声入力を一時停止しています。タップすると音声入力を開始します。
- ③ タップするとソフトウェアキーボードに切り替えます。
- ④ 音声入力に関する設定を行います。
- ⑤ 入力した文字列を削除します。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面→文字をロングタッチ→コピーする範囲を選択
「[]」/「[]」をドラッグして範囲を選択してください。
[] → [すべて選択]と操作すると、すべての文字を選択できます。
- 2 [切り取り]／[コピー]
- 3 貼り付ける位置をタップ→[貼り付け]
「[]」をドラッグしてカーソルの位置を移動することができます。

◎ アプリケーションにより表示されるアイコンなどが異なる場合があります。

文字入力について設定する

S-Shoinの設定を行う

文字種や入力方式などを設定できます。

1 文字入力画面→[設定]

- ① ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

文字種変更	文字種を設定できます。
キーボードタイプ	キーボードタイプを設定できます。
ユーザー辞書登録	▶P.31「ユーザー辞書に登録する」
キー操作	キーの操作を設定できます。
辞書	ユーザー辞書に単語を登録したり、オプション辞書を設定します。 ・ユーザー辞書について詳しくは、「ユーザー辞書単語一覧画面のメニューを利用する」(▶P.31)をご参照ください。
バックアップ・リストア	バックアップやリストアを設定できます。
その他	リセットやIMEについて確認できます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面→[設定]→[ユーザー辞書登録]

ユーザー辞書登録画面が表示されます。「日本語」/「英語」をタップすると、日本語/英語ユーザー辞書を切り替えることができます。

2 読み／単語を入力→[OK]

文字入力画面→[設定]→[辞書]→[日本語] / [英語] → [メニュー] → [登録]でも同様に操作できます。

ユーザー辞書単語一覧画面のメニューを利用する

1 文字入力画面→[設定]→[辞書]→[日本語] / [英語] → [メニュー]

登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
削除	選択している単語を削除します。
すべて削除	リスト内の単語をすべて削除します。

電話・電話帳




電話	34
電話をかける.....	34
電話を受ける.....	35
迷惑電話対策機能について.....	35
通話に関する設定をする.....	37
自分の電話番号を確認する.....	37
電話帳	38
電話帳に登録する.....	38
電話帳の一覧を利用する.....	38
電話帳の登録内容を利用する.....	38

電話

電話をかける

お買い上げ時は、「迷惑電話の対策」の各項目がONに設定されています。(▶P.36)

電話番号を入力して電話をかける

- 1 ダイヤル画面が表示されます。
- 2 **電話番号を入力**
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
- 3 **【発信】→通話**
 - 電話帳に登録していない電話番号に発信すると「ご注意ください」という注意を促す画面が表示されます。問題がなければ、「発信」をタップして通話してください。(▶P.35)通話中画面が表示されます。
通話中に  /  を押し、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。
- 4 **【通話終了】**
通話が終了します。
 - 電話帳に登録していない電話番号の相手と通話した場合は、再度「ご注意ください」という注意を促す画面が表示されます。その場合は「閉じる」をタップしてください。

- お知らせパネルの通知に「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
- 発信中 / 通話中に顔などによって近接センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- 送話口 / マイクをおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。
- 通話中に他のアプリケーションを起動した場合に、通話中画面を表示したいときは、ステータスバーを下にスライドして「電話」の通知をタップしてください。

ダイヤル画面の見かた



《ダイヤル画面》

- 1 電話
- 2 電話番号入力欄
- 3 キーパッド
- 4 発信
電話をかけます。
- 5 メニュー
2秒間の停止や待機を追加したり、通話に関する設定をしたりできます。
- 6 履歴
- 7 削除
最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。
 - 電話番号入力欄を選択してカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。
- 8 電話帳
タップすると「電話帳」を起動します。(▶P.38)



緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

- 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみを利用します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様におお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。緊急通報後、次の操作で解除された着信拒否設定を元に戻すことができます。
☰→[メニュー]→[設定]→[通話アカウント]→[ブロック中の電話番号]→[再度有効にする]

通話中画面の操作

• メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

音量・音質	通話音量(相手の方の声の大きさ)を調整できます。 <ul style="list-style-type: none">• 「トリプルくっきりトーク」をONにすると、お互いの声が聞き取りやすくなり、クリアな通話が可能になります。• 「スロートーク」をONにすると、通話相手の声がゆっくり聞こえるようになります。スロートークがONのときは、「SLOW」と表示されます。
番号入力	キーパッドを表示します。プッシュ信号の送信ができます。
スピーカー	ハンズフリーで通話するかどうかを設定します。タップするたびにスピーカーON() / OFF() が切り替わります。
メニュー	マイクOFF 相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。 通話音声メモ^{※1} 通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 <ul style="list-style-type: none">• 録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。本体メモリの空き容量が不足した場合、録音できない場合があります。50件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。• 録音した通話音声メモの再生について詳しくは、「簡易留守録 / 通話音声メモを再生する」(▶P.37)をご参照ください。 保留 ▶P.34「通話中に保留する」 BluetoothON / BluetoothOFF タップすると音声の入力 / 出力先を、Bluetooth [®] 機器または本製品に切り替えられます。Bluetooth [®] 機器との接続について詳しくは、「Bluetooth [®] 機器と接続する」(▶P.61)をご参照ください。 通話を追加^{※1} 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。詳しくは、「三者通話サービスを利用する(オプションサービス)」(▶P.76)をご参照ください。 迷惑ストップ^{※2} 迷惑電話対策機能を使って、お断りの音声ガイダンスを流してから通話を終了します。詳しくは、「迷惑電話対策機能について」(▶P.35)を参照してください。

※1 「迷惑電話対策機能」の「通話録音」(▶P.36)がONのときに、電話帳に未登録の相手と通話をしているときは、機能を利用できません。

※2 「迷惑電話対策機能」の「迷惑ご注意表示」(▶P.36)がOFFのときは、表示されません。

○ SIMカード / eSIMの2種類をご使用の場合、通話中画面に利用しているSIMが表示されます。

通話中に保留する

保留中は、通話先にガイダンスが流れます。

1 通話中画面→[メニュー]→[保留]

保留が開始され、通話先にガイダンスが流れます。
保留中に「保留解除」をタップすると保留を解除します。

履歴を利用して電話をかける

1 [履歴]

通話履歴一覧画面が表示されます。

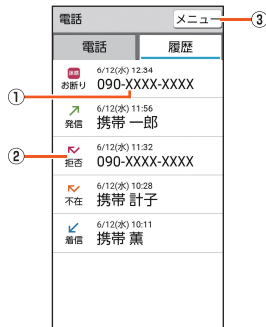
2 電話をかける履歴を選択

3 [発信]

電話帳に登録していない、または「迷惑ストップ」でお断りした電話番号に発信すると、「ご注意ください」という注意を促す画面が表示されます。問題がなければ、「発信」をタップして通話してください。(▶P.35)

◎ 通話履歴は最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

通話履歴一覧画面の見かた



《通話履歴一覧画面》

① 電話番号/名前/非通知

タップすると、電話帳への登録やメッセージの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。

② 発信状態アイコン

- ➡: 発信
- ↙: 着信
- 🚫: 不在着信
- 🚫: 拒否
- 🚫: 「迷惑ストップ」による拒否

③ メニュー

履歴の削除や通話に関する設定ができます。

◎ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、各履歴に使用したSIMが表示されます。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 [履歴]

2 国際アクセスコード「010」を入力

「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

3 アメリカの国番号「1」を入力

4 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[発信]

- ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。au国際電話サービスに関するお問い合わせ: au電話から(局番なしの)157番(通話料無料) 一般電話から ☎ 0077-7-1111 (通話料無料) 受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

着信すると次の内容が表示されます。

- ◎ 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。
- ◎ 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に[履歴]→通話

「応答」をタップしても電話に出られます。

2 [通話終了]

通話が終了します。

◎ 5G NET, 5G NET for DATAをご契約いただいていない場合、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fiとモバイルネットワーク]→[設定]と操作し、「モバイルデータ」※を無効にしてご利用ください。
※ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

◎ かかってきた電話に出なかった場合はステータスバーに🚫が表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせパネルを開くと、着信のあった電話番号、または電話帳に登録されている名前などが表示されます。

◎ 着信音が鳴っているときに🔇を押すと、着信音を消音にしたり、バイブレータを停止することができます。

着信に簡易留守録で応答する

簡易留守録のメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。

1 着信中に[メニュー]→[簡易留守録]

- ◎ 簡易留守録を録音中に「応答」をタップすると、相手の方と通話できます。
- ◎ 「迷惑電話対策機能」の「電話に出る前確認」(▶P.36)がONのときに、電話帳に未登録の相手から着信しているときは、機能を利用できません。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に[メニュー]→[着信拒否]

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせし、メッセージを送信します。

1 着信中に[メニュー]→[クイック返信]

2 送信するメッセージを選択

- ◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」をタップすると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
- ◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話に関する設定をする」(▶P.37)の「クイック返信」で編集することができます。
- ◎ 通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
- ◎ 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に簡易留守録が応答する場合があります。

迷惑電話対策機能について

迷惑電話対策機能は、迷惑電話に巻き込まれないようにするための機能です。電話帳未登録の電話番号や非通知の相手からの着信に、注意を促す画面を表示します。また、「迷惑ストップ」ボタンをタップして自動音声で電話をお断りしたり、通話を録音したりすることもできます。

※ お買い上げ時に搭載されている電話アプリでのみ使用することができます。また、「迷惑電話の対策」のお買い上げ時の設定はすべてONになっています。(▶P.36)

電話をかける場合の対策について

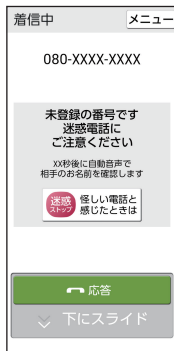
電話帳に登録していない電話番号や、通話履歴から「迷惑ストップ」ボタンでお断りした電話番号に発信する場合は、以下の流れで操作します。

発信以降の流れについて	
1	[発信]をタップする
2	「ご注意ください」という注意を促す画面が表示される
3	問題なければ[発信]をタップする
4	通話
5	[通話終了]をタップする
6	「ご注意ください」という注意を促す画面が表示される
7	[閉じる]をタップする

- ◎ 注意を促す画面を表示させないようにするには、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[迷惑電話の対策]→[迷惑電話ご注意表示]をOFFにしてください。

電話を受ける場合の対策について

電話帳に登録していない電話番号や、不明な電話から着信したときは、以下の流れで操作します。ご利用状況に応じて、使い分けてください。



電話に出ないで、相手を確認する場合(電話に出る前確認)^{※1}

着信以降の流れについて	自動音声の内容
1 着信	
2 20秒 ^{※2} 経過すると、自動音声で相手の名前を確認 ^{※3} (自動で通話録音開始)	自動音声でお受けします。この通話は、防犯のため録音されます。恐れ入りますが、「ピー」という発音音のあとに、あなたのお名前とご用件をおっしゃってください。(自動音声のモードは3種類の中から選択することができます。お買い上げ時は、上記の「お名前確認モード」に設定されています。(▶P.36))
3 自動応答後30秒経過すると、自動音声で電話をお断り	ただいま電話に出ることができません。恐れ入りますが、後ほどおかけ直しください。
4 自動的に通話が終了	

「迷惑ストップ」ボタンで、すぐに電話をお断りする場合

着信以降の流れについて	自動音声の内容
1 着信	
2 [迷惑ストップ]をタップする→[迷惑ストップ]をタップする	
3 自動音声で電話をお断り	この電話はお受けすることができません。(3回同じガイダンスが流れます。)
4 [通話終了]をタップする、または自動的に通話が終了	
5 電話番号をブロックするための画面が表示される ^{※4}	
6 着信のあった電話番号をブロックしたい場合は[この番号をブロック] ^{※5} をタップ、電話番号をブロックしない場合は[閉じる]をタップする	

電話を受ける場合

着信以降の流れについて
1 着信
2 [応答]を押す(または[応答]を下にスライドする)
3 通話 ^{※3} (通話開始とともに、自動で通話録音開始)
4 [通話終了]をタップする

- ※1 「電話に出る前確認」をONにしてください。(▶P.36)
「電話に出る前確認」がONで、かつ電話帳に登録されていない電話番号からの着信時は、簡易留守録が無効になります。簡易留守録を使用する場合は、「電話に出る前確認」をOFFにしてください。
- ※2 お買い上げ時は、20秒に設定されています。自動音声で応答するまでの時間は1秒~55秒に変更することができます。(▶P.36)
- ※3 相手の名前の確認中または通話中でも、「迷惑ストップ」→[迷惑ストップ]と操作し、自動音声で電話をお断りすることができます。通話内容は自動で録音されます。録音した内容は、「録音リスト」(▶P.36)で確認できます。
- ※4 公衆電話や番号非通知の相手からの場合は、「閉じる」のみが表示されます。
- ※5 ブロックした電話番号は「ブロックした電話」(▶P.36)に登録されます。

- ◎ 「迷惑ストップ」ボタンは、電話帳に登録していない電話番号との着信/通話画面に表示されます。「迷惑ストップ」ボタンが表示されない場合は、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[迷惑電話の対策]と操作し、「迷惑ご注意表示」をONにしてください。
- ◎ 着信画面/通話画面で[メニュー]→[迷惑ストップ]と操作しても、「迷惑ストップ」ボタンを操作できません。
- ◎ 緊急通報受付機関からの着信時にも「迷惑電話のご注意」が表示されることがあります。
- ◎ auのサービス「迷惑メッセージ・電話ブロック」をご利用中の場合は、注意表示が重なって表示される場合があります。

迷惑電話対策機能で録音した内容を再生する

「電話に出る前確認」や通話中に録音した内容を再生する方法は、ステータスバーから再生する方法と設定画面から再生する方法の2つがあります。

ステータスバーから迷惑電話対策機能で録音した内容を再生する

1 通話終了後にステータスバーを下にスライド

2 [電話に出る前確認]による録音があります

- 録音リストが表示されます。
- 録音をロングタッチすると、音声ファイルの保護やエクスポート、削除ができます。

3 再生したい録音をタップ

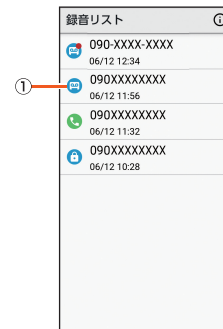
設定から迷惑電話対策機能で録音した内容を再生する

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[迷惑電話の対策]→[録音リスト]

- 録音リストが表示されます。
- 録音をロングタッチすると、音声ファイルの保護やエクスポート、削除ができます。

2 再生したい録音をタップ

録音リスト画面の見かた



① 通知アイコン

- : 未再生の録音
- ☎ : 「電話に出る前確認」で録音
- 📞 : 通話中に録音
- 🔒 : 保護した録音

迷惑電話対策機能の設定をする

電話帳に登録していない相手からの電話への対策を設定することができます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[迷惑電話の対策]

2 迷惑ご注意表示	電話帳に登録していない相手との電話で注意を促す表示をするかどうかを設定します。ご購入時は、ONになっています。
電話に出る前確認	電話帳に登録していない相手からの着信時に、電話に出る前に自動音声で応答して、相手の声を録音します。ご購入時はONになっています。 ・本機能の動作中は、簡易留守録が無効になります。
自動音声のモード	自動音声の種類を選択できます。
応答までの時間	着信してから自動音声が始まるまでの時間を設定できます。
通話録音	すべての通話を自動で録音するかどうかを設定します。 [※]
録音リスト	「電話に出る前確認」や、通話中に録音した内容を確認できます。(▶P.36)
ブロックした電話	▶P.37「着信拒否の設定をする」

- ※ 録音できるのは、1件あたり約60分間で、100件までです。100件録音されている場合は、古いものから順に削除されます。最大20件、削除されないように保護することができます。

- ◎ 録音データを保護するには、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[迷惑電話の対策]→[録音リスト]→保護する録音データを選択→[メニュー]→[保護/解除]と操作してください。

通話に関する設定をする

1 → [メニュー] → [設定]

2 音とバイブレーション	本製品の音やバイブレーションなどについて設定します。 詳しくは、「音とバイブレーションの設定をする」(▶P.67)をご参照ください。
通話アカウント	通話に関する設定をします。
電話アプリについて	バージョン、ライセンスなどが確認できます。

通話の設定をする

1 → [メニュー] → [設定] → [通話アカウント]

通話設定画面が表示されます。

2 迷惑電話の対策	▶P.36「迷惑電話対策機能の設定をする」
簡易留守録	▶P.37「簡易留守録を利用する」
クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 ・編集するメッセージを選択→メッセージを編集→[OK]と操作すると、メッセージを編集できます。
ブロック中の電話番号	▶P.37「着信拒否の設定をする」

◎ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、通話アカウント画面→[発信先]と操作して、発信に使用するSIMを設定できます。

簡易留守録を利用する


簡易留守録を設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声録音することができます。

1 → [メニュー] → [設定] → [通話アカウント] → [簡易留守録]

ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[簡易留守録]と操作しても簡易留守録を設定することができます。

2 [簡易留守録設定]

3 [マナーモード連動] / [ON]

- ◎ 録音された簡易留守録がある場合は、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドし、簡易留守録の通知をタップすると、簡易留守録リスト画面が表示され、録音された簡易留守録を確認できます。
- ◎ 録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。本体メモリの空き容量が不足した場合、録音できない場合があります。50件録音されている場合は、再生済みで保護されていない簡易留守録が、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、簡易留守録で応答しません。
- ◎ 録音した簡易留守録の再生や削除について詳しくは、「簡易留守録/通話音声メモを再生する」(▶P.37)をご参照ください。

空き容量を確認する

簡易留守録/通話音声メモの残り録音可能容量と件数を確認します。

1 → [メニュー] → [設定] → [通話アカウント] → [簡易留守録]

2 [空き容量確認]

応答時間を設定する

簡易留守録で応答するまでの時間を設定します。

1 → [メニュー] → [設定] → [通話アカウント] → [簡易留守録]

2 [応答時間設定]

3 応答時間を設定→[設定]

簡易留守録/通話音声メモを再生する

1 → [メニュー] → [設定] → [通話アカウント] → [簡易留守録]

2 [簡易留守録リスト] / [通話音声メモリスト]

簡易留守録リスト画面/通話音声メモリスト画面が表示されます。
・簡易留守録/通話音声メモをロングタッチすると件名の編集や音声ファイルのエクスポート、削除などできます。


3 再生する簡易留守録/通話音声メモを選択


簡易留守録/通話音声メモが再生されます。

着信拒否の設定をする

指定した電話番号からの着信/SMSなどを拒否することができます。

1 → [メニュー] → [設定] → [通話アカウント] → [ブロック中の電話番号]

2 不明な電話	不明な電話からの着信をブロックするかどうかを設定します。
番号を追加	指定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。 ・登録済みの電話番号の  →[ブロックを解除]と操作すると、登録済みの番号を解除できます。 ・+メッセージをブロックするには、+メッセージアプリで設定する必要があります。詳しくは「ブロックリストを設定する」(▶P.42)をご参照ください。

◎  → [履歴] → ブロックしたい電話番号をタップ → [メニュー] → [着信のブロック] → [ブロック]と操作すると、着信履歴から着信拒否する番号を登録できます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面→[アプリ]→[自分の番号]

「自局電話番号」の下部に自分の電話番号が表示されます。

電話帳

電話帳に登録する

1 ホーム画面→[アプリ]→[電話帳]

2 [新規登録]

連絡先についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

- アカウントを設定している場合、アカウントに登録されます。
- 複数のアカウントを設定している場合は、名前の上のアカウント欄をタップして登録するアカウントを選択してください。

3 必要な項目を入力

4 [保存する]→[はい]

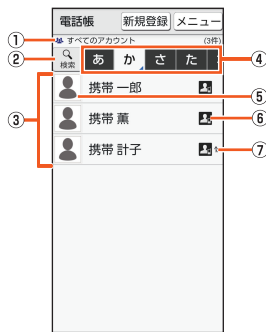
- 「その他」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
- 「」をタップすると入力中や入力済みの項目を削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」をタップすると、入力した文字列を種別として登録できます。
- 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 ホーム画面→[アプリ]→[電話帳]

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面》

- 1 **アカウント**
設定しているアカウントが表示されます。
- 2 **検索**
- 3 **連絡先**
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。
- 4 **タブ**
タップすると、表示する連絡先を切り替えます。
- 5 **顔写真**
- 6 **登録先アイコン**
すべてのアカウントの連絡先を表示している場合、登録先をアイコンで表します。
- 7 **統合アイコン**
複数の連絡先を統合した連絡先に表示されます。

電話帳一覧画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[アプリ]→[電話帳]→[メニュー]

2 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

送信	連絡先を他の機器に送信します。
削除	連絡先を削除します。
表示方法切替	電話帳一覧画面の表示方法を切り替えます。
自分の番号	プロフィールを表示します。
お気に入り表示	お気に入りに登録した連絡先を表示します。
ブロックした番号	指定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。 • 詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.37)をご参照ください。
グループ追加・編集	グループの追加や編集をします。
設定・管理	連絡先を登録するアカウントを設定します。

電話帳の登録内容を利用する

1 ホーム画面→[アプリ]→[電話帳]→連絡先を選択

■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

- 1 **名前**
- 2 **登録内容**
登録内容を確認/利用できます。
- 3 **編集**
- 4 **メニュー**
- 5 **写真**
- 6 **アクションアイコン**
登録内容に応じた機能を利用できます。

■ 電話帳詳細画面のメニューを利用する

1 電話帳詳細画面→[メニュー]

2 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

送信	Bluetooth®やメール添付などで送信できます。
発信前に番号を編集	電話番号を編集できます。
お気に入り登録/お気に入り解除	連絡先をお気に入りに登録/解除できます。
削除	連絡先を削除します。
統合	連絡先を統合できます。

メール

メール	40
メールについて	40
auメール	40
auメールのご利用にあたって	40
auメールを利用する	40
迷惑メールフィルターを設定する	40
+メッセージ(SMS)	41
+メッセージのご利用にあたって	41
+メッセージのご利用方法を確認する.....	41
連絡先を登録する	41
公式アカウントを登録する.....	41
メッセージを送信する.....	41
グループを作る・グループに送信する	41
+メッセージを設定する.....	41
ブロックリストを設定する.....	42
Gmail	42
Gmailについて.....	42
Gmailを送信する.....	42
Gmailを受信する.....	42

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ auメール

auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです(▶P.40)。

※ UQ mobileをご契約のお客さまは、下記のGmailをご利用ください(▶P.42)。

■ +メッセージ(SMS)

電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者にもメッセージを送信できます(▶P.41)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できます(▶P.42)。

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、5G NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、au Style/auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、以下の手順でauのSIMを通话優先にしてください。
ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[通話とSMS]→[通話]→[au]
- auメールサービスの詳細については、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/email/>
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

■ auメールの初期設定について

- 「auメール」アプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。
- 初期設定を行うと自動的にauメールアドレスが決まります。初期設定時に決まったauメールアドレスは変更できません。
・機種変更の場合は、今までお使いのauメールアドレスが表示されます。
 - 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。
Wi-Fi®通信やVPN接続では初期設定ができません。
 - 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。
「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

auメールを利用する

1

auメールのトップ画面が表示されます。

■ auメールの利用方法を確認する

auメールの「アプリ操作ガイド」で利用方法を確認できます。

1 auメールのトップ画面→[☰]→[アプリ操作ガイド]

「auメール」アプリの操作説明がブラウザで表示されます。

■ auメールアドレスを変更する

1 auメールのトップ画面→[☰]→[迷惑メール設定/アドレス変更]

確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

2 [メールアドレスの変更へ]→暗証番号を入力→[送信]

3 内容を確認→[承諾する]

4 auメールアドレスを入力→[送信]

「以前利用していたメールアドレスに戻す」が表示されている場合は「以前利用していたメールアドレスに戻す」→[送信]と操作してご希望のメールアドレスを選択してください。

5 [OK]→[閉じる]

■ auメールアドレスを確認する

1 auメールのトップ画面→[☰]→[メールアドレス(タップでコピー)]欄を確認

◎ 「データセーバー」(▶P.65)設定中の場合、メールを受信するときは、auメールのトップ画面を下方向にスライドしてください。

◎ auメールの利用方法確認には、データ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信/拒否する機能と、携帯電話などになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

1 auメールのトップ画面→[☰]→[迷惑メール設定/アドレス変更]

確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
オススメ設定	おまかせ規制(推奨) 迷惑メールの疑いのあるメールを自動で規制します。 なりすまし規制(推奨) 送信元のアドレスを偽ったメールの受信を規制します。
受信/拒否リスト	受信リスト 必ず受信したいアドレスを設定します。 拒否リスト 受信を拒否するアドレスを設定します。
その他の設定	ウィルスメール規制 添付ファイルがウイルスに感染しているメールを規制します。 携帯以外メール規制 携帯電話のアドレス以外のメールを拒否します。
設定初期化はこちら	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

+メッセージ(SMS)

+メッセージのご利用にあたって

「+メッセージ(SMS)」アプリは、電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。

au/UQ mobileの電話番号宛だけでなく、国内他事業者(NTTドコモ、ソフトバンクなど)にもメッセージが送れ、企業の公式アカウントとメッセージのやりとりができます。

初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

+メッセージのモードについて

+メッセージは、相手が+メッセージを利用している場合、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送ることができます。

相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。

+メッセージのご利用方法を確認する

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

2 [🏠(マイページ)]→[ヘルプ]

以下の内容をブラウザなどで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。

- ・チュートリアルが表示
- ・よくあるご質問
- ・使い方ガイド

※なるホーの使い方練習(下記QRコードにアクセスすると、基本的な使い方を実際に体験できます。)



連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録をする

+メッセージ利用者同士であれば、+メッセージ専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

2 [連絡先]→[+]→[QRコードで追加]

◎専用のQRコードを表示するには、ホーム画面→[メール]→[📧]→[🏠(マイページ)]→[QRコード]と操作します。

新しい連絡先を登録する

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

2 [連絡先]→[+]→[新しい連絡先]

電話帳の新規登録画面が表示されます。新規連絡先を登録できます。

公式アカウントを登録する

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

2 [公式アカウント]→[ホーム]/[カテゴリ]

おすすめやカテゴリごとに分けられた公式アカウントが表示されます。登録した公式アカウントは「利用中」に表示されます。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送信できます。

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

[連絡先]をタップすると、連絡先一覧画面が表示されます。

[メッセージ]をタップすると、メッセージ一覧画面が表示されます。

2 [メッセージ]→[+]→[新しいメッセージ]

メッセージの作成画面が表示されます。

同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧画面で相手を選択してもメッセージを作成できます。

3 連絡先一覧から相手先を選択

・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。

・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。

・SMSを海外に送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

[010]+[国番号]+[相手先電話番号]

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 [メッセージを入力]欄に本文を入力

・本文は、相手先が+メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。

・SMSモード利用の場合、全角最大670/半角最大1,530文字まで入力できます。

5 [📧]

メッセージが送信されます。

送信したメッセージをロングタッチするとコピーや転送、削除ができます。

グループを作る・グループに送信する

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

2 [メッセージ]→[+]→[新しいグループメッセージ]

宛先の選択画面が表示されます。

3 連絡先一覧から相手先を選択

・「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。

・「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。

※グループは100人まで選択できます。

4 [OK]

5 [グループ名(入カスキップ可)]欄に任意の名称を入力

[📧]をタップしてグループのプロフィール写真を設定することもできます。

6 [OK]

7 メッセージを入力し、送信

メッセージの送信方法について詳しくは、「メッセージを送信する」

(▶P.41)をご参照ください。

+メッセージを設定する

1 ホーム画面→[メール]→[📧]

2 [🏠(マイページ)]→[設定]

+メッセージの設定メニューが表示されます。

3	メッセージ	連絡先未登録者フィルタリングやバックアップなどの設定を行うことができます。
	公式アカウント	公式アカウントの通知音設定を行うことができます。
	写真や動画	写真や動画のダウンロード設定、サイズ設定などを行うことができます。
	テーマカラー・背景	テーマカラーや背景設定を行うことができます。
	通知	メッセージ着信時の通知関連の設定を行うことができます。
	プライバシー	パスワード、ブロックリストなどの設定を行うことができます。
	その他	ユーザー情報引き継ぎ設定、初期化などの設定を行うことができます。

ブロックリストを設定する

相手とのやりとりをブロックすることができます。ブロック/ブロック解除の設定ができます。

- 1 ホーム画面→[メール]→[📧]
- 2 [👁️(マイページ)]→[設定]→[プライバシー]→[ブロックリスト]
- 3 [ブロックリスト編集]
- 4 [⊕]
ブロックしたい相手を以下の方法から選択します。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい電話番号を入力し、電話番号を選択します。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい相手の名前を入力し、連絡先を選択します。
 - ・連絡先一覧に表示されている連絡先からブロックしたい相手を選択します。

公式アカウントとのやりとりをブロックする

- 1 ホーム画面→[メール]→[📧]
- 2 [メッセージ]
ブロックしたい公式アカウントを選択します。
- 3 公式アカウントのメッセージ画面→[👁️]
- 4 [ブロック]

© 公式アカウントをブロックすると、同時に利用を停止されます。また「利用中」から削除されます。

Gmail

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。
※ UQ mobileをご契約のお客さまは、auメールの代わりに、Gmailを利用して、楽ともリンクとメールボタン(📧)を使い、手軽にメール送受信することができます。
・ Gmailの利用にはGoogle アカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。
・ Gmailの連絡先は、本体メモリ内の電話帳と同期することができます。
・ 利用方法などの詳細については、Googleのサイトや、メイン画面→[☰]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。
・ PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

- 1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]
アカウントを登録している場合は、メイン画面が表示されます。
初回起動時にはアプリについての説明画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]
- 2 [作成]→宛先を入力
宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、電話帳などから自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。
- 3 件名を入力
- 4 本文を入力
- 5 [▶]

Gmailを受信する

- 1 Gmailを受信
Gmailを受信するとステータスバーに📧が表示され、メール受信音が鳴ります。
- 2 ステータスバーを下にスライド
- 3 受信したGmailの通知をタップ

インターネット

インターネット.....	44
インターネットに接続する.....	44
Google Chrome™.....	44
Google Chromeを利用する.....	44

インターネット

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ 5G NETまたは5G NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「5G NET」や「5G NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめ5G NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

5G NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]→[📶]→[アクセス ポイント名]*→[5G NET for DATA]と操作してください。

* SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

◎ 5G NET、5G NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについての最新情報は、auのホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上のご注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を続けた場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

Google Chrome™

Google Chromeを利用する

Webページを表示する

ChromeのブックマークはGoogle アカウントでログインすることで、ブックマークを引き継ぐことができます。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[🌐]

Chrome画面が表示されます。

初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

- 「🏠」をタップするとChromeのトップページが表示されます。
- 「🏠」をロングタッチ→[ホームページを編集]と操作すると、Chromeのトップページについて設定できます。

◎ 非常に大きなWebページをChromeで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

Chrome画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ホーム画面→[Google]→[🌐]→URL表示欄を選択

2 キーワード/URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。URL表示欄にテキストが入力されていないときに「🔍」をタップするとGoogle 音声検索™が利用できます。送話口/マイクに向かってキーワードを話してください。

3 一覧表示から項目を選択/[実行]

検索結果が表示されます。

◎ Chrome画面→[🌐]→[設定]→[検索エンジン]と操作すると、キーワード入力時の検索エンジンを変更できます。

Chrome画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[Google]→[🌐]→[⋮]

2 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

→	1つ先のページへ進みます。 • 進むWebページがある場合に操作できます。
☆/★	表示中のページをブックマークに保存/編集できます。
↓	表示中のページをダウンロードします。
📄	Webページの情報が表示されます。
🔄/✕	表示中のページの再読み込み/読み込み中止を行います。
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを表示します。
履歴	▶P.44「履歴を利用する」
閲覧履歴データの削除	履歴やキャッシュなどを削除します。
ダウンロード	ダウンロードしたページや画像などの一覧を表示します。
ブックマーク	▶P.44「ブックマークを利用する」
最近使ったタブ	同じGoogle アカウントを登録したデバイスで使用した履歴を利用できます。
共有...	表示しているページのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
翻訳...	表示中のページを選択した言語に翻訳します。
ホーム画面に追加	表示しているページを表示するショートカットをホーム画面に作成します。
PC版サイト	PC版のページを表示するかどうかを設定します。
設定	Chromeの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	Chromeのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ リンクや画像をロングタッチすると、ダウンロードやコピーなどの操作が行えます。

ブックマーク/履歴を利用する

ブックマークを利用する

1 ホーム画面→[Google]→[🌐]→[⋮]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークフォルダをロングタッチすると、ブックマークフォルダの編集や削除などができます。
- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を利用する

1 ホーム画面→[Google]→[🌐]→[⋮]→[履歴]

2 履歴を選択

- 「🔍」をタップすると履歴から検索できます。
- 「✕」をタップすると履歴を削除できます。
- 「閲覧履歴データを削除...」をタップすると履歴やキャッシュなどを削除できます。

アプリケーション

アプリケーション一覧	46
本製品に搭載のアプリケーションについて.....	46
カメラ	47
カメラをご利用になる前に.....	47
静止画／動画を撮影する.....	48
カメラを設定する.....	49
アルバム	49
アルバムを利用する.....	49
radiko+FM	50
radiko+FMを利用する.....	50
NFC／おサイフケータイ®	50
おサイフケータイ®とは.....	50
FeliCa®に対応したサービスを利用する.....	50
My au	51
My auを利用する.....	51
My UQ mobile	51
My UQ mobileを利用する.....	51
あんしんフィルター for au	51
あんしんフィルター for auを利用する.....	51
Android アプリ	52
Google Playを利用する.....	52
アプリケーションを管理する.....	52
モバイルライト	52
モバイルライトを利用する.....	52
スクリーンショット	52
スクリーンショットを撮影する.....	52
Google 検索	52
Google 検索を利用する.....	52
メモ帳	53
メモ帳を利用する.....	53
カレンダー	53
カレンダーを表示する.....	53
予定を新規登録する.....	53
カレンダー画面のメニューを利用する.....	53
アラーム	53
アラームを利用する.....	53
からだメイト	54
からだメイトを利用する.....	54
電卓	54
電卓で計算する.....	54

アプリケーション一覧

本製品に搭載のアプリケーションについて

アプリケーションを名前順(数字/アルファベット→五十音順)に記載しています。お客様の契約状況や使用状況などにより、搭載されるアプリや、アプリ名が異なる場合があります。

アプリケーション	概要
Amazon ショッピング	Amazonショッピングアプリは、「探す」「比べる」「買う」「受け取る」を簡単、便利にする機能で、お客様のお買い物をサポートします。
Apple Music	1億曲以上聴き放題。au・UQ mobileからApple Musicにご加入で6カ月間無料。
au 5Gチャンネル	「au 5Gチャンネル」はauが厳選したいろいろなショート動画を情報料無料で安心してお楽しみいただけます。息抜きができた、世の中の役立つ情報や最新のトレンドに出会えるショート動画アプリです。au IDでログインいただくと、Pontaポイントがもらえる「毎日くじ」やデータ容量が当たる「データプレゼントキャンペーン」などにご参加いただけます。
au PAY	au PAY コード支払い、au PAY プリペイドカード、au PAY カードをより便利に使いこなすためのアプリです。au PAY 決済のご利用、au PAY カード情報確認、au PAY 残高へのチャージ、チャージ残高、保有ポイント数、利用履歴、使えるお店・ポイントアップ店の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。
au PAY マーケット	Pontaポイントがたまってつかえる「au PAY マーケット」は、「モノ」から「コト」まで、たくさんのお店や体験と出会えるKDDI公式の総合ショッピングサイトです。
au Wi-Fiアクセス	カフェなどにある全てのauのWi-Fi®スポットについて、位置情報対応マップのご案内と自動接続を提供します。auスマートパスプレミアムで登録の場合、フリーWi-Fi®も安心して使えるVPN機能もご利用いただけます。
auじぶん銀行	残高照会、振込み、定期預金、外貨預金など銀行サービスのすべてをアプリひとつで。
auスマートパス	「auスマートパスプレミアム」/「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。おトクで、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。
auセルフケア	キャンセル削除など、スマートフォンのお悩みを解消するための様々な機能を提供しています。スマホの動作が重くてお悩みの方や、設定の変更方法がわからないお客様におすすです。
auメール	auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.40) ※ UQ mobileをご契約のお客様はGmailをご利用ください。(▶P.42)
Chrome	Google Chromeを利用して、Webページを閲覧できます。(▶P.44)
Facebook	友達や家族などの親しい人々や、同じ興味・関心を持つ人々とのコミュニティとつながることができる無料の「实名制」コミュニケーションアプリです。
Files	本体メモリやmicroSDメモ리카ードの画像・動画・音声・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。(▶P.57)
Fitbit	Fitbit アプリで、健康とフィットネスの取り組みを総合的に把握できます。運動習慣、睡眠の質、食生活の改善や、ストレス軽減に役立つ簡単な方法が見つかります。
Gmail	GmailやGmail以外のPCメールを利用できます。(▶P.42)
Google	ウェブサイトの情報を検索できます。(▶P.52)
Google One	Google ドライブ™、Gmail、Google フォト™共通のストレージを追加で定期購入できる有料プランに加入します。
Google TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
Home	Google Home™は、さまざまな対応スマートホームデバイス(照明、カメラ、サーモスタットなど)の設定や管理、操作をすることができます。
Instagram	写真や動画などのビジュアルを通して、友達や家族などの親しい人々やお気に入りのクリエイター、同じ興味・関心を持つ世界中の人たちとつながることができる無料のアプリです。
Meet	Googleのビデオ通話機能/ビデオ会議機能を利用することができるアプリです。
menu	デリバリーもネットスーパーも、スマホやタブレット1つでご利用いただけるアプリです。menu(メニュー)は、あなたの身近なお店や、みんながよく知る有名店・人気店の味をご自宅や社内でお手軽に楽しむことができます。

アプリケーション	概要
Messenger	家族や友達、知り合いと、いつでも、どこでも、どんなデバイスからでもメッセージをカスタマイズして自分の気持ちを表現したり、コンテンツやその瞬間の体験を相手とシェアできるアプリです。
My AQUOS	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
My au	毎月のご請求額や、データ通信量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。(▶P.51)
My UQ mobile*	毎月のご請求額や、データ通信量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。(▶P.51)
Netflix	世界最大級の動画配信サービス。各種受賞作を含む幅広いジャンルの作品や、Netflixでしか観られないオリジナル作品が完全見放題!
Play ストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード・インストールして利用できます。(▶P.52)
Podcasts	世界中のポッドキャストを検索して再生できるポッドキャストプレイヤーです。
radiko+FM	インターネット経由で今いるエリアで放送しているラジオ番組を聴くことができるアプリです。また、インターネットラジオからアナログFMラジオに切り替えることもできます。(▶P.50)
TikTok	TikTokは、世界中の動画を楽しめるショートムービープラットフォームです。おもしろ動画、グルメ、癒されペット、ためになる動画など豊富なジャンルの動画が存在します。自分の好きな動画がきっと見つかります。
YouTube	YouTube™を利用できます。
YT Music	音楽を再生します。
アシスタント	Google アシスタントを利用して、用事を管理したり調べ物をしたりできます。
アラーム	アラームを利用できます。(▶P.53)
アルバム	本製品のカメラで撮ったり、ダウンロードしたりした写真や動画を表示します。
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.51)
インターネット	Webページを閲覧できます。(▶P.44)
ウイルスブロック	不正なアプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックしたりできるアプリです。
ウェルネス	歩数や体重を記録してクーポンやギフトカードが買える健康管理アプリです。歩数計としても役立ちます。いざというときは、アプリで診療や、お薬の説明も受けられます。
ウォレット	Googleの支払いサービスを利用できます。
遠隔操作サポート	「スマートフォン」「タブレット」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.50)
海外スマホ利用	いつものスマホをそのまま海外で使える、「au海外放題」「世界データ定額」サービスをおトク・便利にご利用できるアプリです。アプリを使って日本国内にて事前予約することで、更におトくな利用料金でご利用いただけます。
カメラ	静止画/動画を撮影するカメラアプリです。(▶P.47)
からだメイト	からだメイトを利用できます。(▶P.54)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.53)
緊急情報	緊急事態の共有を使ってリアルタイムの位置情報を共有したり、定期的に安全確認ができます。
サービスToday	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、スマートフォンを楽しむためのおトクで便利な情報をお届け。
自分の番号	自分の電話番号やメールアドレスを確認できます。メールに添付してデータを送信することもできます。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.64)

アプリケーション	概要
使い方サポート	<p>【お困りごと解決のサポート】 スマートフォンの初期設定やデータ移行、スマートフォンにまつわる様々な機器のお困りごとを解決します。コールセンターへのお電話やメッセージでのお問い合わせ、電話でのご予約もかんたんに行えます。</p> <p>【お知らせ通知】 お客さまにびびったり各種情報をお知らせ機能から随時ご提供します。</p> <p>【かんたん診断機能】 タップ一つで気軽にスマホの健康診断ができます。(▶P.84)</p> <p>【ネットワークスピードチェック】 現在使用しているWi-Fi®やモバイルデータ通信の通信速度が遅いと感じたとき、ネットワークのスピードをチェックし、改善につながる方法をご提案します。 ※ UQ mobileをご契約のお客さまは、Google playストアから「使い方サポート」アプリをダウンロードしてご利用ください。</p>
データお預かり	写真やアドレス帳、その他大切なデータをバックアップするアプリです。
デジラアプリ	データ容量の残量が分かる、データ容量がなくなったらデータチャージ(データ容量の購入)が簡単にできるアプリです。
デバイスを探す	Google アカウントによる遠隔操作で、端末の位置情報を検出したり、画面ロックの設定やデータの消去などができます。
電卓	電卓を利用できます。(▶P.54)
電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。(▶P.34)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.38)
トピックスクリリーン	トピックスクリリーンでは、歩数計や最新のニュースをはじめ、時間帯によって変化する、あなたへのおすすめ情報を提供します。(▶P.25) ※ UQ mobileをご契約のお客さまは、機能/サービスが一部非対応/異なる場合がございます。
ドライブ	ファイルをGoogle ドライブに保存したり、共有したりすることができます。
取扱説明書	本製品の詳しい操作・設定方法をWebページ上でかんたんに閲覧することができます。
ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
フォト	静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。(▶P.49)
マップ	Google マップ™を利用して、現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。
迷惑メッセージ・電話ブロック	迷惑SMS・電話からお客さまを守るサービスです。架空請求などの迷惑SMSや迷惑電話を自動検知し、スマートフォンの画面に警告画面を表示したり、迷惑メッセージフォルダに自動振り分けをします。また、公共施設や企業などからの着信時には、アドレス帳になくても発信元を自動表示します。
メッセージ	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。
メモ帳	メモ帳を利用できます。
レンズ	Google Lensでかざした対象物について調べたりQRコードを読み取ることができます。また、選択した写真から調べすることもできます。
+メッセージ(SMS)	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。(▶P.41)

※ UQ mobileのSIMカードを利用時に表示されます。

- ◎ ご利用のSIMカードによって、表示されるアプリケーションが異なる場合があります。
- ◎ アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションがアプリ一覧に表示される場合があります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画/動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- ・レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画/動画が変色することがあります。
- ・本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画/動画を撮影したり、保存したりすると、静止画/動画が劣化することがあります。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとする、静止画/動画が暗くなったり、静止画/動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
 - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
 - ・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
 - ・他のアプリケーションを起動している場合
- ・カメラ起動時など、カメラ動作中に微かな音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- ・本製品のカメラで撮影した静止画/動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪などがつかないようにご注意ください。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感じてしまい、画面に薄いま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・お客さまが本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例/迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した写真や動画が白っぽくなる場合があります。
- ・動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレーションが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体
- ・モバイルライトを目に近づけて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ・動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- ・暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- ・カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・カメラの設定や撮影環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- ・microSDメモリーカードへ保存中に他のアプリからmicroSDメモリーカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 ホーム画面→[カメラ]

2 本製品のアウトカメラを被写体に向ける

- ・撮影画面の操作について詳しくは、「撮影画面の見かた」(▶P.48)をご参照ください。
- ・被写体をタップするとフォーカスを合わせることができます。

3 [○]/[▲]/[▼]

◎ カメラのフォーカスは、主に被写体の色をもとに対象を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画を撮影する

1 ホーム画面→[カメラ]

2 [動画に切替]

3 本製品のアウトカメラを被写体に向ける

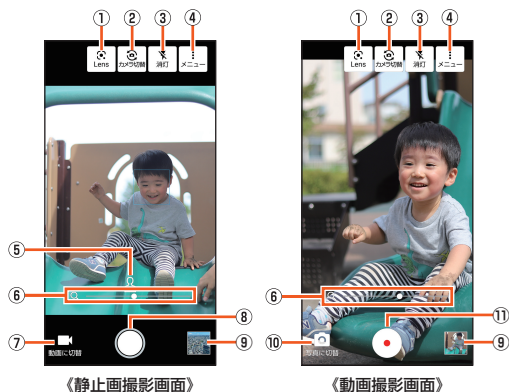
- ・撮影画面の操作について詳しくは、「撮影画面の見かた」(▶P.48)をご参照ください。

4 [○]

5 [●]

◎ 動画撮影開始前や撮影中に、被写体をタップするとフォーカスを合わせることができます。

撮影画面の見かた



1 Google Lens

カメラに写っているものの検索や翻訳などができます。

2 イン／アウトカメラ切替

3 フラッシュ

モバイルライトを点灯して撮影できます。静止画撮影時には撮影の瞬間に点灯するように設定することもできます。「」/「」/「」/「」をタップすると、フラッシュの撮影時点灯/自動点灯/常時点灯/消灯を切り替えることができます。インカメラで撮影時もフラッシュとして画面全体が発光します。

4 メニュー

カメラの設定ができます(▶P.49)。

5 認識アイコン

次のシーンや被写体をAIが認識するとアイコンが切り替わり、被写体に合わせて撮影設定を調整します。

- ・人物:
- ・犬:
- ・猫:
- ・料理:
- ・花:
- ・夕景:
- ・花火:
- ・白板/黒板:

認識したシーンや被写体によって最適な画質やシャッタースピードで撮影します。白板/黒板を認識した状態で撮影した場合は確認画面が表示され、「補正する」をタップすると正面から見たような写真へ補正します。

6 ズーム倍率

撮影画面をピンチアウト/ピンチインすると、ズーム倍率を調整できます。

7 動画撮影切替

タップして撮影モードを切り替えることができます。

8 静止画撮影

静止画を撮影します。

9 直前に撮影したデータ

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータの確認などができます。

10 静止画撮影切替

タップして撮影モードを切り替えることができます。

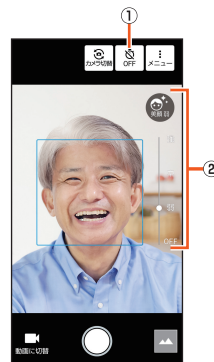
11 動画撮影開始

動画を撮影します。

■ インカメラ撮影画面の見かた

操作方法はアウトカメラ利用時の撮影画面と同様です。ここでは、アウトカメラ利用時の撮影画面と異なる操作について説明します。

- ・インカメラ利用時に撮影モードを静止画に設定している場合は、「美顔」機能で被写体の顔を補正することができます。



《インカメラ撮影画面》

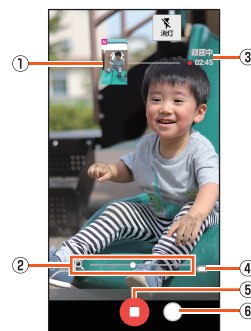
1 タイマー

5秒/3秒/OFFの設定ができます。

2 美顔

強/中/弱/OFFの設定ができます。

■ 動画撮影中画面の見かた



《動画撮影中画面(AIライブシャッターを有効)》

1 撮影した静止画

動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。

- ・AIライブシャッターが自動で撮影した場合は、「AI」と表示されます。

2 ズーム倍率

画面をピンチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーを左右にスライドして、倍率を調整することができます。

- ・撮影中画面をピンチアウト/ピンチインしても、ズーム倍率を調整できません。

3 撮影時間

4 電池残量

5 動画撮影停止

6 静止画撮影

撮影モードを切り替える

撮影モードを切り替えることでシーンに合わせた設定で撮影できます。

- 1 ホーム画面→[カメラ]
- 2 画面下部のアイコンをタップして撮影モードを切り替える
- 3 写真に切替
静止画を撮影します。撮影設定は自動で調整されま
す。
動画に切替
動画を撮影します。撮影設定は自動で調整されま
す。

カメラを設定する

- 1 ホーム画面→[カメラ]
- 2 設定する撮影モードに切り替える

■ 静止画撮影の設定をする

3 [メニュー]

- 4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

写真サイズ	静止画の撮影サイズを切り替えます。
ガイド線	撮影画面にガイドを表示できます。
オートHDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
QRコード認識	QRコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するかどうかを設定します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 動画撮影の設定をする

3 [メニュー]

- 4 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

動画サイズ	動画の撮影サイズを切り替えます。
画質とデータ量	動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
マイク設定	音声を録音するかどうかを設定します。
風切り音低減	風切り音を低減するかどうかを設定します。
AIライブシャッター	有効にすると、動画撮影中にAIが人物や犬、猫などを認識したり、構図を判断して、自動で静止画を撮影します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 静止画／動画撮影共通の設定をする

3 [メニュー]

4 [全体設定]

- 5 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

セルフタイマー	セルフタイマーアイコンを撮影画面の上部に表示するかどうかを設定します。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所や、パソコンやテレビの画面を撮影するときに、しま模様が出にくくなるように補正します。
保存先設定	microSDメモリカードを取り付けている場合、撮影したデータの保存先を設定します。
位置情報付加	位置情報を付加するかどうかを設定します。
ヘルプ	撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認できます。
設定リセット	カメラの設定を初期化します。

アルバム

アルバムを利用する

■ データを表示／再生する

静止画や動画を表示したり、データの共有について設定することができます。

1 ホーム画面→[アルバム]

本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されている静止画／動画の一覧が表示されます。

初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「すべて許可」をタップしてください。

■ 画面の見かた



《アルバム画面》

① データ一覧

選択したデータは削除や共有などができます。

- ・写真／動画一覧画面には200枚まで表示されます。201枚目以降の写真／動画を確認するには、[すべてを見る]→Google フォトの一覧画面で写真／動画を選択します。

② すべてを見る

Google フォトですべての静止画や動画が表示されます。

静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。

③ 共有

データの共有について設定できます。

2 データを選択

Google フォトが起動し、1件表示画面が表示されます。

radiko+FM

radiko+FMを利用する

インターネット経由で今いるエリアで放送しているラジオ番組を聴くことができるアプリです。

また、インターネットラジオからアナログFMラジオに切り替えることもできます。

- アナログFMラジオを聴く場合は、市販のイヤホンが必要です。イヤホンを接続すると、音声がイヤホン出力になります。
- プレミアム会員への登録(有料)を行うと、日本全国のラジオ番組を聞くことができます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[ツール]→[radiko+FM]

インターネットラジオの番組表画面が表示されます。

2 番組を選択

インターネットラジオの番組表画面で「戻る」をタップすると、バックグラウンド再生へ切り替えたり、アプリを終了したりできます。

■アナログFMラジオへ切り替える

アナログFMラジオを聴くには、市販のイヤホンをあらかじめ本製品に接続してください。

1 インターネットラジオの番組表画面→[FM]→[FMチューナー]

2 [FM]→放送局を選択→本局または中継局を選択→[閉じる]

3 [▶]

◎ インターネットラジオの詳細については、インターネットラジオの番組表画面→[FM]→[ヘルプ]と操作してご確認ください。

◎ アナログFMラジオでは市販のイヤホンがアンテナとなります。

◎ 屋内や乗り物の中では電波を受信しにくいことがあります。できるだけ窓際で使用した方が受信しやすくなります。

NFC／おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®機能やリーダー/ライター(R/W)機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、本製品に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、auホームページをあわせてご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/osaifu/support/caution/>

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによりFeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客さまにて十分ご留意の上管理をお願いいたします。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。
 - ・ 機内モードを有効に設定中
 - ・ SIMカードが挿入されていない場合

リーダー/ライターとデータをやりとりする

FeliCaマークをリーダー/ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- FeliCaマークをリーダー/ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークはリーダー/ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー/ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- FeliCaマークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー/ライターとのデータの読み書きができます。

◎ 本製品の電源を切っただけでもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。

◎ NFC機能がOFFの場合は、ご利用いただけません。

NFC機能を設定する

NFC機能をONにすると、おサイフケータイ®対応サービスが利用できます。NFC機能をOFFにすると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。これにより、おサイフケータイ®対応サービスの機能がロックされます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]

2 [NFC／おサイフケータイ]

NFC／おサイフケータイ®設定画面が表示されます。

3 [NFC／おサイフケータイ]

※ タップするたびにON/OFFが切り替わります。

◎ 「おサイフケータイ」アプリの[F]→[NFC／おサイフケータイ]と操作してもNFC／おサイフケータイ®設定画面を表示することができます。

◎ NFC機能がOFFのときに電池が切れると、NFC機能をONにできなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC機能をONにしてください。

画面ロック連動機能を設定する

NFC機能がONの場合に画面ロック連動機能をONにすると、画面ロック時および画面消灯時にNFC機能が自動的にOFFになります。画面ロックを解除するとNFC機能は自動的にONに戻ります。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]

2 [NFC／おサイフケータイ]

3 [画面ロック中はロック]

※ タップするたびにON/OFFが切り替わります。

FeliCa®に対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[NFC／おサイフケータイ]→[非接触型決済]

サービス一覧画面が表示されます。

初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

2 [デフォルトの決済アプリ]／[デフォルトの決済アプリを使用する]

サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面に従って操作してください。

My au

My auを利用する

月々のご請求額やデータ残量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

※本アプリはauご契約者様専用です。


1 ホーム画面→[アプリ]→[au]→[My au]

My auのホーム画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは画面に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択

データ残量、ご請求額、Pontaポイントやau PAY残高等の確認や、プラン変更など各種お手続きができます。おトクな情報をカレンダーでチェックもできます。

- ◎ 困ったときやご契約内容の確認・変更は、My auのホーム画面右上の「」をタップし、メッセージサポート画面からお問い合わせください。24時間いつでもお気軽にお問い合わせできます。
- ◎ 操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

My UQ mobile

My UQ mobileを利用する

月々のご請求額やデータ残量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

※本アプリはUQ mobileご契約者様専用です。


1 ホーム画面→[アプリ]→[おすすめ]→[My UQ mobile]

My UQ mobileのホーム画面が表示されます。

- ・初めて起動した時は、画面に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択

データ残量、ご請求額、Pontaポイントやau PAY残高等の確認や、プラン変更など各種お手続きができます。おトクな情報をカレンダーでチェックもできます。

- ◎ 困ったときやご契約内容の確認・変更は、My UQ mobileのホーム画面右上の「」をタップし、チャットサポート画面からお問い合わせください。24時間いつでもお気軽にお問い合わせできます。
- ◎ 操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングサービスです。

お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、保護者が夜間などスマートフォンの利用を制限したり、お子さまの居場所を確認したりすることもできます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[サポート]→[あんしんフィルター for au]

初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [この電話番号でログイン]→画面に従って操作

※ご利用になるお子さまの電話番号でログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け [制限対象]ゲーム/動画/音楽、懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子さま向け [制限対象]懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象]SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象]出会い、アダルトなど

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]

利用規約を必ずご確認ください。

6 [位置情報、利用情報の取得・利用について]の内容を確認→[はい]

「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 [利用登録が完了しました]の表示を確認→[OK]

8 [このデバイス管理アプリを有効にする]

9 [よく使うアプリの設定]で利用したいアプリを選択→[設定する]

事前に利用したいアプリを許可してください。

10 SNS利用の危険性について確認→[確認しました]

11 [同意して設定する]→[あんしんフィルター for au アプリ規制]→[あんしんフィルター for au アプリ規制の使用]をタップしてONに切り替える

12 [あんしんフィルター for au アプリ規制にデバイスのフルコントロールを許可しますか?]の内容を確認→[許可]

13 アラームとリマインダーの設定についての画面が表示→[設定画面を開く]→[アラームとリマインダーの設定を許可する]を有効にする

14 設定完了

ウェブサイトが表示されます。

以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

管理者情報を登録する

お子さまのスマホで設定してください。

1 ホーム画面→[アプリ]→[サポート]→[あんしんフィルター for au]

2 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」をタップ

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマホからご利用ください。保護者が遠隔で、お子さまのスマホの設定を行うことができます。

- 1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ
<https://anshin-access.netstar-inc.com>
- 2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]
- 3 管理者メニューを表示
 - 主な機能
 - ・フィルタリング強度の変更
 - ・個別のウェブサイトやアプリの制限/許可設定
 - ・利用時間帯の設定
 - ・利用状況の確認
 - ・エリア検索

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/>

Android アプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- ・ Google Playの利用にはGoogle アカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。
- ・ 利用方法などの詳細については、Google Play画面右上のアカウントアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

- 1 ホーム画面→[Playストア]
Google Play画面が表示されます。
利用規約などが表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

アプリケーションを検索し、インストールする

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- ・ アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- ・ 有料のアプリケーションをダウンロードするには、お支払い方法を設定する必要があります。

- 1 Google Play画面→アプリケーションを選択

■ 無料のアプリケーションの場合

- 2 [インストール]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。
アプリケーションのダウンロード・インストールが開始されます。

■ 有料のアプリケーションの場合

- 2 価格をタップ→画面に従って操作

◎ インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする

提供元不明のアプリケーションをインストールする前に、本体の設定でインストールを許可する必要があります。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[アプリ]
- 2 [特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]
- 3 インストールを許可するアプリを選択→「この提供元のアプリを許可」をタップしてONに切り替える

モバイルライト

モバイルライトを利用する

- 1 ステータスパネルを表示→[ライト]
モバイルライトが点灯します。
消灯するには、点灯中に再度「ライト」をタップします。

◎ モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいをご起こす原因となります。

スクリーンショット

スクリーンショットを撮影する

◎と①を同時に押すと、表示している画面のスクリーンショットを撮影できます。

- ・ スクリーンショットを撮影すると画面左下にサムネイルが表示され、撮影したデータは本体メモリに保存されます。
 - ・ 「<」をタップすると、データの共有ができます。
 - ・ 「>」をタップすると、データの編集ができます。
 - ・ 「範囲拡大」をタップすると、スクリーンショットの範囲を指定して保存や共有、編集ができます。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合や撮影時に効果音が鳴る場合があります。

キャプチャ範囲の拡大について

◎ スクロール可能な画面を撮影した場合などに表示されます。アプリケーションによっては表示されない場合があります。

Google 検索

Google 検索を利用する

ウェブサイトの情報を検索できます。

- ・ 利用方法などの詳細については、Googleのサイトをご参照ください。

■ キーワードを入力して検索する場合

- 1 ホーム画面→Google検索バーの検索入力欄を選択
ホーム画面→[Google]→[Google]でも同様に操作できます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

- 2 キーワードを入力

- 3 項目を選択/[検索]

■ 音声で入力して検索する場合

- 1 ホーム画面→Google検索バーの[🗨️]
- 2 送話口/マイクに向かってキーワードを話す

メモ帳

メモ帳を利用する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[ツール]→[メモ帳]
メモ一覧画面が表示されます。
・[メニュー]→[メモ検索]→キーワードを入力→[検索]と操作すると、登録したメモを検索できます。
- 2 [新規作成]→メモを入力→[保存する]
メモが保存されます。

メモを確認／編集する

- 1 メモ一覧画面→メモをタップ
メモ詳細画面が表示されます。
「編集する」をタップするとメモ入力画面に切り替わり、メモを編集できます。
・メモ詳細画面で「メニュー」をタップすると、メモの削除やメールへ添付、.txtに変換、文字サイズの設定を行います。

◎メモ詳細画面の電話番号／メールアドレス／URLをタップすると、発信、メールの作成、インターネットでサイトの表示などが行えます。

メモを選択して削除する

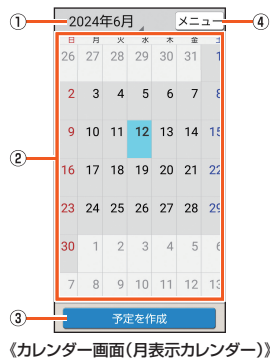
- 1 メモ一覧画面→[メニュー]→[選択削除]
- 2 削除するメモにチェックを入れる→[削除する]→[はい]

カレンダー

カレンダーを表示する

カレンダーをスケジュールや期間単位で表示することができます。
・カレンダーの利用にはGoogle アカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[カレンダー]
- カレンダー画面の見かた



- ① 月表示
タップすると表示を「日」/「週」/「月」/「予定リスト」で切り替えが出来ます。
- ② カレンダー
- ③ 予定を作成
- ④ メニュー

予定を新規登録する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[カレンダー]
- 2 [予定を作成]
表示単位によっては、予定を作成する日時をタップ→[予定を作成]と操作しても予定を作成できます。
- 3 必要な項目を入力
- 4 [保存する]

◎複数のアカウントを設定している場合、アカウント名をタップすると登録するアカウントを選択できます。

カレンダー画面のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[カレンダー]
 - 2 [メニュー]
 - 3
- | | |
|-----------|-------------------------|
| 予定を作成 | ▶P.53「予定を新規登録する」 |
| 表示切替 | カレンダーの表示を切り替えます。 |
| 今日へ移動 | 今日に移動します。 |
| 更新 | 本体メモリとサーバーのカレンダーを同期します。 |
| 表示するカレンダー | 表示するアカウントを設定します。 |
| 設定 | カレンダーの各項目を設定します。 |

アラーム

アラームを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[アラーム]
- 2 登録先の時刻をタップ
登録先を追加するには、「追加する」をタップしてください。
- 3 時刻を選択→[OK]
- 4 各項目を設定

◎アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
◎通話中にアラーム設定時刻になると、受話口からアラーム音が鳴ります。通話を終了すると、スピーカーからアラーム音が鳴ります。バイブレータを設定している場合はバイブレータが振動します。

■ アラーム画面の見かた



- ① 設定時間
- ② 繰り返し
アラームが鳴動する曜日を指定します。
- ③ アラーム音
- ④ アラーム名
- ⑤ 削除
- ⑥ アラーム追加
- ⑦ アラームのオン／オフ
- ⑧ バイブレーション
- ⑨ 閉じる

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 アラーム鳴動中に「停止」を下にスライド
- スヌーズを利用する
スヌーズを利用すると、再度アラームでお知らせします。
- 1 アラーム鳴動中に「スヌーズ」を下にスライド

◎スヌーズの間隔は、[メニュー]→[設定]→[スヌーズの間隔]で設定できません。

■ アラーム音量を設定する

- 1 アラーム画面→[メニュー]→[設定]
- 2 「アラームの音量」欄のバーを左右にスライドして音量を調節

からだメイト

からだメイトを利用する

歩数や体重などを記録できます。歩数、体重の履歴をグラフで表示して、日別/月別で比較することもできます。測定した歩数や歩行距離・時間、消費カロリーなどはあくまでも目安となります。歩数はトピックス画面やロック画面でも確認できます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[からだメイト]
- 2 [メニュー]→[歩数計設定]
- 3 身長/体重/歩幅を設定→[戻る]

お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。

- ・電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- ・歩数計の表示は、午前0:00にリセットされます。

■ 累積データの引き継ぎかた

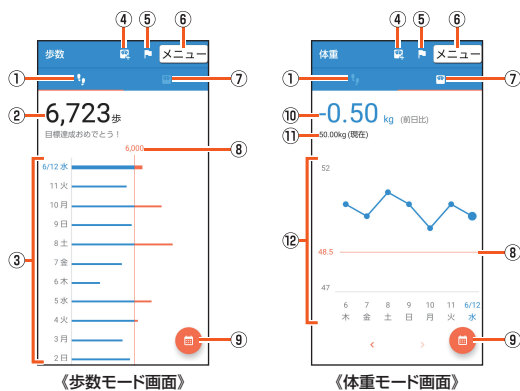
からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Google アカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じ Google アカウントを設定し、データを復元してください。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- ◎ 本製品が不規則に動く場合
 - ・本製品を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- ◎ 不規則な歩行をした場合
 - ・すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- ◎ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・立ったり座ったりしたとき
 - ・スポーツを行ったとき
 - ・階段や急斜面を上ったり下ったりしたとき
 - ・乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - ・スピーカーから音が出ているとき
 - ・パイプレータが振動しているとき
- ◎ 極端にゆっくり歩いた場合

■ からだメイト画面の見かた



- 1 歩数モード
- 2 今日の歩数
- 3 歩数の履歴
 - 日々/月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日/月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。
- 4 体重入力
 - タップすると、日々の体重を入力することができます。
- 5 目標設定
 - タップすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
 - ・からだメイト画面→[メニュー]→[目標設定]と操作しても目標を設定できます。
 - ・目標設定画面で[目標歩数]/[目標体重]→[リセット]と操作すると、設定した目標の削除ができます。
- 6 メニュー
 - ユーザー情報や目標値を設定できます。
- 7 体重モード
- 8 目標値(目標設定時のみ表示)
- 9 表示切替
 - 日別/月別の表示を切り替えます。
- 10 前回との差
- 11 最新の体重

- 12 体重の履歴
 - 日々/月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日/月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
 - ・「<」/「>」をタップすると表示月や週を移動します。

■ ユーザー情報を変更する

- 1 からだメイト画面→[メニュー]→[歩数計設定]→[身長]/[体重]/[歩幅]

■ 各項目を設定→[設定]

■ ヘルスコネクとデータを同期する

- 1 からだメイト画面→[メニュー]→[歩数計設定]→[ヘルスコネクと同期する]

■ 画面に従って操作

■ からだメイトを停止する

- 1 からだメイト画面→[メニュー]→[歩数計設定]→[歩数計]をOFFにする
 - 「歩数計」をタップするたびにON/OFFが切り替わります。

■ からだメイトの累積データをリセットする

歩行データや体重データをすべて削除します。

- 1 からだメイト画面→[メニュー]→[データリセット]→[はい]

■ 用語の説明を確認する

- 1 からだメイト画面→[メニュー]→[用語の説明]

■ 用語を選択

電卓

電卓で計算する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[電卓]
- 2 計算する
 - 「COPY」をタップすると、計算結果をコピーできます。

ファイル管理

ファイル管理	56
本製品の保存領域について	56
microSDメモ리카ードを利用する	56
パソコンなどと接続する	56
USBホスト機能を利用する	57
ストレージに関する設定をする	57
Filesを利用する	57

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

- ◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
- ◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、「ストレージ」(▶P.57)機能を利用したり、パソコンと「ファイル転送」(▶P.56)で接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする」(▶P.57)をご参照ください。
- ◎ microSDメモリカード内のデータは「Files」アプリなどで確認できます。詳しくは、「データを表示する」(▶P.57)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。詳しくは、「データを表示する」(▶P.57)をご参照ください。
- ◎ microSDXCメモリカードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの取り付けは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

- また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。
- ・ SIMカード/microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「SIMカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

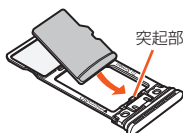
1 ミゾに指先をかけて、SIMカード/microSDメモリカードトレイを引き出す

2 microSDメモリカードの端子(金属)面を下向きにして、SIMカード/microSDメモリカードトレイの突起部に押し当てながら取り付ける

microSDメモリカードの向きに注意して、確実にカードトレイに取り付けてください。

microSDメモリカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。

浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 SIMカード/microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に取り付けると、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

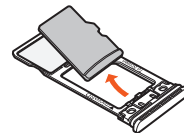
また、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

- ・ SIMカード/microSDメモリカードトレイの着脱について詳しくは、「SIMカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

1 ミゾに指先をかけて、SIMカード/microSDメモリカードトレイを引き出す

引き出すときに、microSDメモリカードがカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。

2 microSDメモリカードをSIMカード/microSDメモリカードトレイから取り外す



3 SIMカード/microSDメモリカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

パソコンなどと接続する

本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続して、本製品と接続した機器間の高速データ転送が利用できます。また、音楽/動画データの転送も可能です。

- ・ パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.20)をご参照ください。

1 パソコンと本製品を接続

2 USBの設定画面の「このデバイス」が有効になっていることを確認

USBの設定画面が表示されない場合は、ステータスバーを下にスライドし、USB接続の通知をタップしてください。

3 ファイル転送	MTPIに対応したパソコンのデータと本体メモリやmicroSDメモリカードの間でデータを転送する場合に設定します。
USB テザリング	USB テザリングを利用します。 ・ 詳しくは、「USB テザリング機能を利用する」(▶P.62)をご参照ください。
MIDI	本製品をMIDI入力に使用します。
写真や動画の転送 (PTP)	MTPIに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。 ・ パソコンと本体メモリの間で画像などを転送することができます。
充電のみ	充電のみを行います。

4 充電や転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す

USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

- ◎ Windows 10/Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。
- ◎ USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ◎ データの読み書きをしている間にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合
ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、データ通信のデバイスとホストの役割を入れ替えることができます。

- ◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続済みのデバイス」を有効にすると、本製品がホストの役割となり接続した機器のファイルを操作することができます。相手側の機器でファイル操作を許可するなどの操作が必要な場合は行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。
- USBメモリを取り付けた場合の操作については、「ストレージを確認する」(▶P.57)をご参照ください。

- 1 **本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む**
- 2 **周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する**

- ◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- ◎ USBホスト機能の利用中は本製品の動作が遅くなる場合があります。

ストレージに関する設定をする

ストレージを確認する

- 1 **ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ストレージ]**
ストレージ画面が表示されます。
本体メモリの使用容量/合計容量などが確認できます。
- 2 **[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名*を選択**
microSDメモリカード、USBメモリの使用容量/合計容量などが確認できます。
 - 「ファイル」をタップすると選択したストレージに保存されているデータの一覧が表示されます。
 - ※ USBメモリ(市販品)を接続している場合に表示されます。

microSDメモリカードやUSBメモリのマウントを解除する

- 1 **ストレージ画面→[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名を選択**
- 2 **[メニュー]→[取り出し]**
マウントを解除したmicroSDメモリカードやUSBメモリを再度マウントする場合は、ストレージ画面→[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名を選択→[メニュー]→[マウント]と操作します。

メモリ容量について

- ◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードのマウント解除について

- ◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

USBメモリの取り外しについて

- ◎ USBメモリをマウント解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカード/USBメモリに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 **ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ストレージ]**
- 2 **[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名を選択**
- 3 **[メニュー]→[フォーマット]**
- 4 **[フォーマット]→[フォーマット]**
- 5 **[完了]**

- ◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

Filesを利用する

データを表示する

本体メモリやmicroSDメモリカードの画像・動画・音声・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。

- 1 **ホーム画面→[Google]→[Files]**
- 2 **カテゴリを選択**
- 3 **データを選択**

本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする

- 1 **ホーム画面→[Google]→[Files]**
- 2 **[内部ストレージ]**
- 3 **コピーするフォルダ/ファイルの[:]→[コピー]→[SDカード]**
- 4 **コピー先の階層を表示→[ここにコピー]**

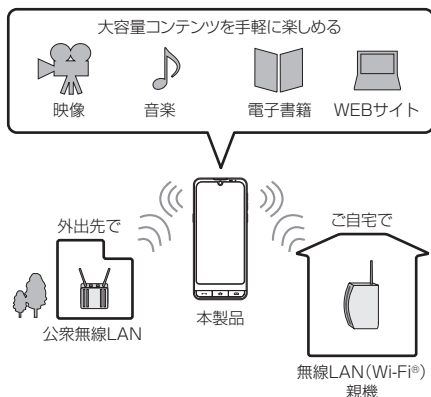
データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能	60
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	60
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	60
Wi-Fi Direct®を利用する	60
Bluetooth®機能	61
Bluetooth®機能の利用について	61
Bluetooth®を利用する	61
Bluetooth®でデータを送受信する	61
テザリング機能	62
テザリングについて	62
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	62
USB テザリング機能を利用する	62
Bluetooth® テザリング機能を利用する	62
イーサネット テザリング機能を利用する	62

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



- ◎ ご自宅などご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。


無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。
- 2 [Wi-Fi]をタップし、ONに切り替える
※タップするたびにON/OFFが切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
Wi-Fi®機能がONの場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。
- 2 アクセスポイントを選択
- 3 パスワードを入力→[接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

- ◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にならない場合があります。
- ◎ インターネットへ接続されていないアクセスポイントに接続すると「」が表示されます。

Wi-Fi®ネットワークに手動で接続する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
 - 2 [ネットワークを追加]
 - 3 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択
- セキュリティを「なし」「Enhanced Open」に設定した場合
- 4 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2-Personal」「WPA3-Personal」に設定した場合

- 4 パスワードを入力→[保存]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「WPA/WPA2-Enterprise」「WPA3-Enterprise」「WPA3-Enterprise 192 ビット」に設定した場合

- 4 必要な項目を設定/入力→[保存]

- ◎ 「詳細設定」をタップすると、「非公開ネットワーク」「従量制」「プロキシ設定」「IP 設定」「プライバシー」に関する設定が行えます。
- ◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントとの接続の設定を削除する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→[削除]

アクセスポイントとの自動接続を設定する

アクセスポイントごとに自動接続するかどうかを設定できます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 [保存済みネットワーク]→設定を変更するアクセスポイントを選択

- 3 「自動接続」をタップし、ON/OFFを切り替える

■ 接続中のアクセスポイントに次回以降は自動接続しないように設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→「自動接続」をタップし、OFFに切り替える

ネットワークとインターネット設定画面のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 [ネットワーク設定]

3	Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みネットワークの検出時にWi-Fi®機能をONにするかどうかを設定します。
	利用可能なパブリック ネットワークを通知する	パブリック ネットワーク(公衆無線LAN)を検出したとき、通知を表示するかどうかを設定します。
	証明書をインストール	Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。
	Wi-Fi Direct	▶P.60「Wi-Fi Direct®を利用する」

- ◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続することができます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]

- 2 [ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]

検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、[メニュー]→[デバイスの検索]と操作し、再検索をしてください。
[メニュー]→[デバイス名を変更]→デバイス名を入力→[OK]と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

- 3 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択

- 4 画面に従って操作

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ USB Type-Cケーブル(市販品)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[Bluetooth]
- 2 [Bluetooth を使用]をタップしてONに切り替える
「デバイス名」をタップすると他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。

Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[Bluetooth]
- 2 [新しいデバイスとペア設定]
検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。
Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。
- 3 接続するBluetooth®機器を選択
- 4 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
同じパスキー(ペア設定コード)が表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1~16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

- ◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
- ◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGP、PAN(PAN-NAP)のいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
- ◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために制限時間が設けられています。

ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]
現在接続している機器やペア設定済みの機器がある場合は、名前が表示されます。
- 2 メニューを利用する機器の名前/[🔗]をタップ
- 3 利用する機能をタップし、ON/OFFを切り替える
 - [削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]と操作すると、Bluetooth®機器とペア設定を解除します。
 - [接続を解除]/[接続]をタップするとBluetooth®機器との接続を解除/再接続します。
 - [✏️]をタップすると、表示名を編集できます。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」(▶P.61)をご参照ください。

- 1 相手機器からデータ送信
- 2 受信通知後、ステータスバーを下にスライド
- 3 ファイル着信の通知をタップ
- 4 [承諾]
- 5 受信完了後、ステータスバーを下にスライド
- 6 受信したファイルの通知をタップ
- 7 受信したデータを選択
再生/表示/登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っている時、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

例: 静止画を送信する場合

- 1 ホーム画面→[アルバム]→[共有]
- 2 送信する静止画を選択→[選択完了]→[Bluetooth]
「Bluetooth」が表示されていない場合は、画面を上をスライドしてください。
- 3 相手機器を選択

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をアクセスポイントとして使い、5G/4G LTE/WiMAX 2+データ通信や無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。


Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 [Wi-Fiテザリングの使用]をタップしてONに切り替える
テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

「」をタップすると、QRコード読み取り接続のQRコードを表示できます。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ネットワーク名	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
Wi-Fiテザリングのパスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
Wi-Fiテザリングを自動的にOFFにする	他の機器から接続が無い状態が続くとWi-Fi®テザリングをOFFにするかどうかを設定します。

◎ 「セキュリティ」を「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USB テザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

・あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [USB テザリング]

テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

◎ Windows 10/Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してパソコンなどをインターネットに接続することができます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Bluetooth テザリング]

テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

イーサネット テザリング機能を利用する

USB Type-C対応の有線LANアダプタ(市販品)を接続した本製品と、パソコンなどのEthernetポート搭載機器をEthernetケーブル(市販品)で接続して、インターネットに接続することができます。

・あらかじめパソコンなどと本製品を接続しておいてください。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [イーサネット テザリング]

テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

端末設定


端末設定	64
設定メニューを表示する	64
すべての設定メニューを表示する	64
ネットワークとインターネットに関する設定をする	65
接続に関する設定をする	65
アプリの設定をする	66
通知の設定をする	66
バッテリーに関する設定をする	66
音とバイブレーションの設定をする	67
ディスプレイの設定をする	67
便利機能に関する設定をする	67
ユーザー補助の設定をする	68
セキュリティとプライバシーに関する設定をする	68
位置情報の設定をする	69
安全性と緊急情報に関する設定をする	69
パスワードとアカウントに関する設定をする	69
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする	69
システムに関する設定をする	70
デバイス情報の設定をする	71

端末設定

設定メニューを表示する

基本的な設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]

2	音	▶P.67「音とバイブレーションの設定をする」
	壁紙と画面表示	▶P.67「ディスプレイの設定をする」
	マナーモード	▶P.28「マナーモードを設定する」
	機内モード	▶P.65「機内モードを設定する」
	迷惑電話の対策	▶P.36「迷惑電話対策機能の設定をする」
	ロック画面	画面ロックの種類 ▶P.68「セキュリティとプライバシーに関する設定をする」 顔認証 ▶P.25「顔を登録する」 指紋 ▶P.24「指紋を登録する」 歩数計表示 ロック画面に歩数計を表示するように設定します。 天気表示 ロック画面に天気情報を表示するように設定します。
	天気の詳細	▶P.26「天気の詳細の設定をする」
	簡易留守録	▶P.37「簡易留守録を利用する」
	位置情報	▶P.69「位置情報の設定をする」
	元気だよメール	▶P.64「元気だよメールを利用する」
	メールボタン	 を押したときに起動するアプリを設定します。
	お困りのときは	シャープのウェブサイトでご覧の質問を確認できます。
	ソフトウェア更新	▶P.84「ソフトウェアを更新する」
	すべてを見る	▶P.64「すべての設定メニューを表示する」

元気だよメールを利用する




1日の最初に本製品を使用したときや指定した時刻になったとき、電池の残量が20%になったときに、あらかじめ登録した相手に、自動的に歩数などをauメールでお知らせをすることができます。

- 登録する相手は、楽ともリンクや電話帳に登録しておく便利です。
- 送信されるメールの本文は「送信タイミング」の内容によって異なります。
- auをご契約かつ「通話の設定」でauを選択しているときに、auメール(▶P.40)でのみご利用いただけます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[元気だよメール]

2 「元気だよメール」にチェックを入れる

3	送信タイミング	送信するタイミングを設定します。
	送信相手①	送信相手を登録します。
	送信相手②	
	リセット時刻	1日の境目となる時刻を設定します。

◎ 送信するタイミングを「当日、初めて端末を操作した時」に設定した場合、1日の最初に、電源が入っている状態で画面ロックを解除するか、、、のいずれかのボタンを押すと自動的に送信相手へ定型文のメールが送信されます。

◎ 送信相手を楽ともリンクや電話帳から登録したとき、楽ともリンクや電話帳の情報を変更したり、削除したりしても、送信相手の登録内容には反映されません。このときは、送信相手の登録をやり直してください。

すべての設定メニューを表示する

すべての機能を設定、管理します。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]

項目	概要	参照先
電話番号	自分の電話番号が表示されます。	—
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.65
接続設定	Bluetooth®やNFCなど本製品と接続する機器について設定します。	P.65
音とバイブレーション	メディア再生時、着信時の音量や音などを変更できます。	P.67
通知	通知について設定します。	P.66
ディスプレイ	画面の明るさや文字フォントの切替などを行います。	P.67
壁紙	ホーム画面/ロック画面の背景を変更します。	P.26
ホーム切替	設定されているホームアプリを確認します。	—
便利機能	本製品に搭載されている便利な機能の設定を行います。	P.67
セキュリティとプライバシー	本製品のセキュリティとプライバシーについて設定します。	P.68
位置情報	位置情報の測位について設定します。	P.69
安全性と緊急情報	緊急情報サービスや緊急 SOS、緊急速報メールなどについて設定します。	P.69
パスワードとアカウント	利用するアカウントについて設定します。設定しているアカウントが「アカウントを追加」の上に表示されます。	P.69
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本製品の使用状況の確認や、使用制限を行います。	P.69
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。	—
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。	P.68
バッテリー	電池利用状況の確認や長エネスイッチの起動ができます。	P.66
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカード、USBメモリの容量を確認したり、microSDメモリカード/USBメモリの初期化などを行います。	P.57
アプリ	アプリの情報や利用した時間を確認したり、特別なアクセスをするアプリについて設定します。	P.66
デバイス情報	IMEIや電池の状態など、本製品の情報を確認できます。	P.71
システム	表示する言語や文字入力、日付と時刻について設定します。また、データのバックアップや本製品の初期化などを行います。	P.70

◎ 「検索」をタップすると、設定メニューの内容を検索できます。検索結果をタップすると、設定画面が表示されます。


ネットワークとインターネットに関する設定をする

ネットワークとインターネットの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]

SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、SIMの名称やステータスなどが表示されます。

- タップするとそれぞれのSIMのモバイル ネットワーク設定を行うことができます。

2	Wi-Fi とモバイルネットワーク	▶P.60「無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする」
	通話と SMS*1	音声通話の発信、SMSの送信に使用するSIMについて設定します。
	SIM	<p>SIM を使用 選択したSIMの有効/無効を切り替えます。</p> <p>通話の設定*1 音声通話の発信に使用するSIMについて設定します。</p> <p>SMSの設定*1 SMSの送信に使用するSIMについて設定します。</p> <p>モバイルデータ モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするかどうかを設定します。</p> <p>ローミング ▶P.80「データ通信を設定する」</p> <p>アプリのデータ使用量 データ使用量の確認やアプリごとのデータの使用量を確認できます。</p> <p>データ使用量の警告と制限 モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発生するデータ使用量を設定します。</p> <p>MMS メッセージ*2 「モバイルデータ」がOFFの場合にMMSを送受信するかどうかを設定します。</p> <p>モバイルデータに一時的に切り替え*3 モバイルデータ通信に使用しないSIMの方が接続が安定している場合に、一時的にSIMを切り替えるかどうかを設定します。</p> <p>優先ネットワークの種類 ▶P.80「海外でVoLTEを利用する」</p> <p>ネットワークを自動的に選択 利用するネットワークを自動的に選択するかどうかを設定します。</p> <p>5G SAを使用*4 5G SAを使用するかどうかを設定します。</p> <p>ネットワークを選択 利用するネットワークを選択します。</p> <p>アクセス ポイント名 利用するアクセスポイントについて設定します。</p> <p>SIM を消去*5 eSIMの情報を削除します。</p>
	機内モード	▶P.65「機内モードを設定する」
	テザリング	<p>Wi-Fiテザリング ▶P.62「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」</p> <p>USB テザリング ▶P.62「USB テザリング機能を利用する」</p> <p>Bluetooth テザリング ▶P.62「Bluetooth® テザリング機能を利用する」</p> <p>イーサネット テザリング ▶P.62「イーサネット テザリング機能を利用する」</p>
	データセーバー	<p>一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。</p> <p>• データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、「モバイルデータの無制限利用」から設定することができます。</p>
	VPN	<p>VPNの設定や管理を行います。</p> <p>• VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。</p> <p>• VPNを追加する場合は、[+]→必要な項目を設定/入力→[保存]と操作します。</p> <p>• VPNに接続する場合は、VPN名を選択→ユーザー名とパスワードを入力→[接続]と操作します。</p> <p>• VPNを編集/削除する場合は、「」をタップします。</p>
	プライベート DNS	プライベート DNSの設定をします。
	プロキシ設定	プロキシの設定をします。

*1 SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合に操作できます。

*2 「モバイルデータ」がOFFの場合に表示されます。


*3 SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、モバイルデータ通信に使用しないSIMの設定時に表示されます。

*4 表示される内容は、利用するSIMの種類などによって、異なる場合があります。また、5G SAサービスについて、詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/5gsa/>

*5 eSIMの設定時に表示されます。

SIMについて

- ◎ 「SIMの追加」をタップするとeSIMの追加設定を行うことができます。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。
- ◎ 「」をタップすると本製品に表示するSIMの名称や色を編集することができます。名称は初期設定では通信事業者名が登録されています。
- ◎ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能など)がOFFになります。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]

2 「機内モード」をタップしてONに切り替える

- ◎ 航空機内や病院などご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、電話やメールの送受信ができなくなります。また、無線LAN(Wi-Fi®)がOFFになります。「機内モード」を有効にしているときに無線LAN(Wi-Fi®)を利用したい場合は、無線LAN(Wi-Fi®)をONに設定し直してください。

接続に関する設定をする

接続の設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]

現在接続している機器やペア設定済みの機器がある場合は、名前が表示されます。表示された機器の設定について詳しくは、「ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する」(▶P.61)をご参照ください。

2	USB*	<p>本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続したときの動作を設定します。</p> <p>• 詳しくは、「パソコンなどと接続する」(▶P.56)をご参照ください。</p>
	新しいデバイスとペア設定	<p>使用可能なBluetooth®機器とペア設定を行います。</p> <p>• 詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.61)をご参照ください。</p>
	すべて表示	保存済みのデバイス名が表示されます。
	接続の詳細設定	▶P.65「接続の詳細設定をする」


* 本製品にパソコンやUSB機器(市販品)を接続している場合に表示されます。

接続の詳細設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]

2	Bluetooth	▶P.61「Bluetooth®を起動する」
	NFC/おサイフケータイ	▶P.50「NFC機能を設定する」
	キャスト	本製品の画面と音声をキャストする機器を選択します。
	印刷	▶P.66「印刷の設定をする」
	Chromebook	Chromebook™との接続用の項目が表示されます。
	クイック共有	Bluetooth®のスキャン機能を使用して付近のデバイスとファイルを共有する方法について設定します。
	Android Auto	カーナビなどと接続し、自動車の画面でアプリを使用するAndroid Auto™について設定します。

キャストについて

- ◎ キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン()が表示される場合があります。
- ◎ Miracast®機器との接続には対応していません。

印刷の設定をする

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応するアプリで印刷することができます。

- あらかじめ、利用するプリンタに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておく必要があります。

以下の操作で、印刷用アプリ(プラグイン)の設定が変更できます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[印刷]
- 2 印刷サービスを選択→プリンタを選択→画面に従って操作

- ◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、表示内容と実際の印刷内容が異なる場合があります。
- ◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、「PDF形式で保存」を選択すると、表示内容をPDFとして保存することができます。保存したPDFはFilesなどから確認できます。

アプリの設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[アプリ]
- 2

最近開いたアプリ	選択したアプリの詳細画面が表示され、アプリのアンインストールなどができます。表示される項目はアプリによって異なります。 <ul style="list-style-type: none">• Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。• アプリによっては削除できないものもあります。• 「XX 個のアプリをすべて表示」をタップすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます。
デフォルトのアプリ	デジタル アシスタント アプリ ホームボタンを長押しまたは、音声検索ボタンを押したときに起動するアプリについて設定します。 ブラウザアプリ Webページを閲覧する際に使用するアプリを設定します。 ホームアプリ 利用するホームアプリを確認することができます。 電話アプリ 電話を行う際に使用するアプリを設定します。 発信者番号/迷惑電話アプリ 発信者の番号や迷惑電話を使用するアプリを設定します。 SMS アプリ SMSを行う際に使用するアプリを設定します。 リンクを開く 他のアプリなどからの連携について設定します。
利用時間	アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
使用されていないアプリ	しばらく使用していないアプリを表示します。表示されたアプリは権限が削除され通知が停止されます。アプリの詳細画面で機能の設定ができます。
アプリのバッテリー使用量	アプリごとにバッテリーの使用方法を設定できます。
特別なアプリアクセス	デバイス管理アプリや、不明なアプリのインストールの設定など、特別なアクセスをするアプリについて設定します。

通知の設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[通知]
- 2

アプリの通知	通知を許可するアプリを設定します。
通知履歴	通知を表示したアプリの確認ができます。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示します。
バブル	利用中のアプリに重ねて会話を表示するバブル機能について設定します。
ロック画面の通知を整理	ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするかどうかを設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。
デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスについて設定できます。
ロック画面上の通知	ロック画面に表示する通知について設定します。
機密性の高い通知	• 利用するには「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」を「なし」/「スワイプ」以外に設定する必要があります。ロック画面に表示する通知について、詳細を表示するかどうかを設定します。
サイレント モード	特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 詳しくは、「サイレント モードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可する	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	通知がある場合に、アプリアイコンの上に通知ドットを表示するかどうかを設定します。
点滅	新着通知受信時、通知を確認するまで画面消灯中に充電ランプを点滅させるかどうかを設定します。
拡張通知	操作や返信の候補を利用するかどうかを設定します。

バブルについて

- ◎ バブル機能は対応したアプリのみ利用することができます。

バッテリーに関する設定をする

バッテリーの設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[バッテリー]
- 2

健康度	内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態(健康度)を確認できます。
バッテリー使用量	電池使用量の確認やアプリごとの電池の使用状況を確認できます。
長エネスイッチ	▶P.66「長エネスイッチを利用する」
バッテリー残量	電池残量のパーセント表示をステータスバーに表示するかどうかを設定します。

長エネスイッチを利用する

長エネスイッチをONに設定することで本製品の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[バッテリー]→[長エネスイッチ]

「長エネスイッチの使用」をタップすると、電池残量にかかわらず長エネスイッチのON/OFFを切り替えられます。

- 2
- | | |
|------------------|--|
| スケジュールの設定 | 設定した電池残量以下になった場合に、長エネスイッチを自動でONにするかどうかを設定します。 |
| 90% 充電されたらOFFにする | 充電中に電池残量が90%になった場合に、充電後も長エネスイッチを自動でOFFにするかどうかを設定します。 |
| 画面の明るさを最小にする | 長エネスイッチがONの場合に画面の明るさを最小にするかどうかを設定します。 |

- ◎ 充電中は長エネスイッチはOFFになります。

音とバイブレーションの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[音とバイブレーション]

2	動画・音楽の音量	メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
	通話の音量	通話時の音量を設定します。
	着信音の音量	着信音の音量を設定します。
	通知の音量	通知の音量を設定します。
	アラームの音量	アラームの音量を設定します。
	サイレントモード	特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 ・詳しくは、「サイレントモードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。
	着信音	電話の着信音を設定します。
	自動字幕起こし	動画など音声を検出して、字幕を表示する機能について設定します。
	メディア	音楽などを停止したときに、ステータスパネルに表示されるコントローラーの表示に関する設定をします。
	バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、タッチ操作時などのバイブレーションの動作について設定します。
	着信音ミュート用のショートカット	☎と🔇を同時に押して、マナーモードを「バイブレーション」または「ミュート」に切り替えることができるようにします。
	デフォルトの通知音	デフォルトの通知音を設定します。
	デフォルトのアラーム音	デフォルトのアラーム音を設定します。
	ダイヤルパッドの操作音	電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
	画面ロックの音	画面ロック時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	充電時の音とバイブレーション	充電開始時に音とバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
	タッチ操作音	メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。

ディスプレイの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ディスプレイ]

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調節するかどうかを設定します。
	ロック画面	プライバシー ロック画面に表示する通知について設定します。 ロック画面の通知を整理 ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするかどうかを設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。 ロック画面にテキストを追加 ロック画面に表示するテキストを設定します。 デバイスコントロールを使用 「デバイスのロック解除」(▶P.68)の「画面ロック」を「なし」/「スライド」以外に設定している場合に、ロックを解除しないでデバイスコントロールを表示できるようにするかどうかを設定します。 通知で画面を ON にする 通知を受信したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。
	画面消灯(スリープ)	画面が消灯するまでの時間を設定します。
	スタイル	モノクロアイコン アプリアイコンを単色で表示するかどうかを設定します。 ※単色で表示できるアイコンは限りがあります。 ショートカット ロック画面の左下/右下にショートカットボタンを表示するかどうかを設定します。
	表示サイズとテキスト	フォントサイズ 文字サイズを設定します。 表示サイズ すべてのサイズを設定します。 テキストを太字にする テキストを太字にするかどうかを設定します。 高コントラストテキスト テキストの色を黒または白に変更するかどうかを設定します。 設定をリセット ディスプレイのサイズとテキストの設定をスマートフォンの元の設定にリセットします。
	文字フォント切替	文字フォントを切り替えます。
	基本設定	画質モードを設定します。

リラックスビュー	目に優しい画質(リラックスビュー)に関する設定を行います。有効にした場合の黄味の強さや、自動で有効にする時間帯を設定します。
アウトドアビュー	明るい日差しの下で見やすい画質にするかどうかを設定します。
はっきりビュー	はっきり表示される画質に設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーに表示する内容や、起動するタイミングを設定します。

便利機能に関する設定をする

便利機能の設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]

2	リッチカラーテクノロジーモバイル	基本設定 画質モードを設定します。 アウトドアビュー 明るい日差しの下で見やすい画質にするかどうかを設定します。 リラックスビュー 目に優しい画質(リラックスビュー)に関する設定を行います。有効にした場合の黄味の強さや、自動で有効にする時間帯を設定します。 はっきりビュー はっきり表示される画質に設定します。
	ロック・ホームフォトシャッフル	▶P.67「ロック・ホームフォトシャッフルを設定する」
	指紋センサーと簡単お支払い	指紋登録 指紋の追加や登録名の変更、削除を行います。 ・詳しくは、「指紋を登録する」(▶P.24)をご参照ください。 簡単お支払い ▶P.68「簡単お支払いの設定をする」
	自動画面点灯	持つと画面点灯 画面消灯中、本製品を持ち上げて静止したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。 ・詳しくは、「持つと画面点灯について」(▶P.21)をご参照ください。 Bright Keep 本製品を手に持っている間、画面の点灯を維持するかどうかを設定します。
	音声検索ボタン	▶P.26「音声検索ボタンの機能を設定する」

自動画面点灯について

◎ お使いの状況によっては正しく動作しない場合があります。

ロック・ホームフォトシャッフルを設定する

ロック画面/ホーム画面の壁紙をランダムで切り替えます。お買い上げ時、「ロックフォトシャッフル」はONに設定されています。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]→[ロック・ホームフォトシャッフル]

2	ロックフォトシャッフル	ロック画面の壁紙をランダムに切り替えるかどうかを設定します。
	ホームフォトシャッフル	ホーム画面の壁紙をランダムに切り替えるかどうかを設定します。
	シャッフル間隔の設定	壁紙が切り替わる間隔を設定します。
	最近の写真からおすすめ	最近撮影した写真から魅力的な場面を自動的に選択して壁紙として使用するかどうかを設定します。 ・「最近の写真からおすすめ」をタップすると、おすすめ写真の確認やエクスポート、プライバシー設定などができます。
	選択した画像を確認	壁紙として表示される画像の一覧が表示され、壁紙に使用する画像を個別に設定できます。
	画像を選択	壁紙に使用できる画像が保存されたフォルダを表示します。各フォルダをタッチすると、フォルダごと/画像ごとに壁紙として使用する画像を選択できます。

最近の写真からおすすめについて

◎ 機能を有効にすると、「画像を選択」で選択した画像は壁紙には切り替わりません。

簡単お支払いの設定をする

ホーム画面表示中／アプリ一覧画面表示中に指紋センサーを長押しすることで設定したアプリを起動させるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]→[指紋センサーと簡単お支払い]
- 2 「簡単お支払い」をONに切り替える
「 ON」/「 OFF」をタップするたびに機能のON/OFFが切り替わります。

起動するアプリを設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[便利機能]→[指紋センサーと簡単お支払い]→[簡単お支払い]
- 2

はじめに起動するアプリ	簡単お支払いで起動するアプリを設定します。
あとから起動するアプリ	簡単お支払いでアプリを起動した後に切り替えるアプリを設定します。

ユーザー補助の設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ユーザー補助]
- 2
 - ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ダウンロードしたアプリ	ダウンロードしたアプリを表示します。
TalkBack	画面上の項目を読み上げるようかどうかを設定します。
選択して読み上げ	画面上でタップした項目を音声で聞くことができるようかどうかを設定します。
表示サイズとテキスト	表示サイズや色の設定など画面表示に関する設定を行います。
色と動き	色味やアニメーションに関する設定を行います。
さらに輝度を下げる	設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかどうかを設定します。 ・「さらに輝度を下げる」をタップすると、輝度やショートカットに関する設定ができます。
拡大	画面の拡大表示に関する設定を行います。
スイッチ アクセス	Bluetooth®や外部接続端子に接続した外部機器による本製品の操作について設定します。また、本設定項目へのショートカットについて設定します。
ユーザー補助機能メニュー	ユーザー補助機能へのショートカット機能について設定します。
タイミングの調節	ロングタッチを検出する間隔やメッセージの表示時間など操作のタイミングに関する設定を行います。
システム操作	画面の自動回転や \odot を押して通話を終了するかどうかなど、システムに関する設定を行います。
バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、タッチ操作時などのバイブレーションの動作について設定します。
自動字幕起こし	動画などの映像や音声を再生時の字幕表示機能について設定します。
字幕の設定	字幕について設定します。
音声による説明	対応するサービスを利用中に、画面の表示内容の説明を音声で読み上げるかどうかを設定します。
点滅による通知	新着通知受信時、モバイルライトまたは画面を点滅させるかどうかを設定します。
音声の調整	音声再生時のチャンネル統合や左右の音量のバランス調整など、音声に関する設定を行います。
ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能へアクセスするショートカットに関する設定を行います。
テキスト読み上げの設定	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定を行います。

セキュリティとプライバシーに関する設定をする

セキュリティとプライバシーの設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[セキュリティとプライバシー]
- 2
 - ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アプリのセキュリティ	Google Playのアプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションに不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
デバイスのロック解除	画面ロック ロック画面の解除方法を設定します。 ・「 \odot 」をタップすると、画面消灯した後に解除方法が必要になるまでの時間など、画面ロックに関する設定を行います。 指紋 ▶P.24「指紋を登録する」 顔認証 ▶P.25「顔を登録する」
アカウントのセキュリティ	本製品やGoogle アカウントのセキュリティ設定を診断して、推奨する対応を表示します。
デバイスを探す	Google アカウントによる遠隔操作で、本製品の位置情報を検出したり、画面のロックやデータの消去などを実行できるようにするかどうかを設定します。またデバイスを探す方法を確認できます。
システムとアップデート	セキュリティ アップデート ソフトウェア更新について確認します。 ・詳しくは、「ソフトウェアを更新する」(▶P.84)をご参照ください。 Google Play システム アップデート Googleのシステムアップデートを確認します。 バックアップ Google One™のバックアップについて確認したり、デバイスのバックアップをしたりすることができます。
プライバシー	権限マネージャー ▶P.29「機能ごとに利用するアプリを設定する」 プライバシー ダッシュボード 過去24時間で権限が必要な機能にアクセスしたアプリの確認や権限の設定を行います。 広告 Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。 ヘルスコネク 健康やフィットネスのデータを保存したり、健康に関するアプリを同期したりします。 位置情報を共有する方法の更新 位置情報を共有する方法が変更されたかどうか確認します。 カメラへのアクセス アプリにカメラの使用を許可するかどうかを設定します。 マイクへのアクセス アプリにマイクの使用を許可するかどうかを設定します。 クリップボードへのアクセスを通知 アプリがクリップボードのデータを読み込んだときに通知をするかどうかを設定します。 パスワードを表示 入力したパスワードを表示するかどうかを設定します。 位置情報へのアクセス アプリが位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。 アクティビティ管理 ウェブとアプリのアクティビティを保存するかを設定します。
その他のセキュリティとプライバシー	▶P.69「その他のセキュリティとプライバシーの設定をする」

画面ロックについて

- ◎ ロック画面を解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への電話はかけられます。
- ◎ 画面ロックを「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- ◎ 画面ロックの解除方法として設定した「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」をお忘れになった場合は、au Style / auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。ご利用可能にするためにはご購入時の状態に戻す(初期化する)必要があるため、メールや写真など、重要なデータについてはあらかじめデータをバックアップされることをおすすめします。

その他のセキュリティとプライバシーの設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[セキュリティとプライバシー]
- 2 [その他のセキュリティとプライバシー]
- 3

ロック画面上の通知	ロック画面にプライベートな内容の通知を表示するかを設定します。
ロック画面にメディアを表示	ロック画面にメディアプレーヤーを開いたままにするかどうかを設定します。
アプリのコンテンツ	Android システムにコンテンツを送信することを、アプリに許可するかどうかを設定します。
Android System Intelligence	交流したユーザー、操作したアプリやコンテンツに基づいて候補を表示します。
Google の自動入力サービス	Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかを設定します。
使用状況と診断情報	使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかを設定します。
ロック解除延長	特定の状況下でロックを解除したままにするかどうかを設定します。
デバイス管理アプリ	アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
SIM ロック	<ul style="list-style-type: none"> • SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、SIMの名称が表示されたタブで設定するSIMを選択します。 SIM をロックする 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 SIM PINの変更 PINコードを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • SIM PINを変更する場合は、「SIM をロックする」を有効に設定してください。 • 画面に従って設定されているPINコードを入力し、新しいPINコードを登録します。
暗号化と認証情報	スマートフォンの暗号化 本製品が暗号化されていることを確認できます。 信頼できる認証情報 信頼できるCA証明書を表示します。 ユーザー認証情報 認証情報の確認や変更ができます。 証明書のインストール 証明書をストレージからインストールします。 認証情報の消去 認証情報をすべて消去します。 証明書管理アプリ 証明書管理アプリについて設定します。
信頼エージェント	画面ロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
アプリ固定	表示中の画面を固定するように設定します。
SIM の削除時に本人を確認	eSIMを削除する前に本人確認を行うかどうかを設定します。

位置情報の設定をする

■ アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[位置情報]
 - 2 「位置情報を使用」をタップしてONに切り替える
- ### ■ 位置情報について設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[位置情報]
- 2

最近のアクセス	位置情報を取得したアプリを表示します。表示されたアプリをタップするとアプリ情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「すべて表示」をタップすると、最近、アクセスを許可したアプリの一覧が表示されます。
アプリへの位置情報の利用許可	位置情報にアクセスできるアプリを設定します。
位置情報サービス	Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能などについて設定します。Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定する場合は、Google アカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

GPS機能について

◎ 電波が良好な場所でご利用ください。

安全性と緊急情報に関する設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[安全性と緊急情報]
- 2

緊急情報サービスを開く	緊急事態の共有や安全確認などの機能を利用できません。
医療に関する情報	名前、血液型、アレルギーなど医療機関にかかるときに必要な情報を入力できます。
緊急連絡先	緊急連絡先などを設定します。
緊急SOS	緊急SOSに関する設定を行います。
災害情報アラート	周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受け取ります。
緊急位置情報サービス	緊急位置情報サービスの利用を設定します。
地震アラート	地震アラートの利用を設定します。
緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。

パスワードとアカウントに関する設定をする

■ アカウントを追加する

利用するアカウントを追加します。追加したアカウントで保存したパスワードを管理したり、Googleの自動入力サービスを使用することもできます。

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[パスワードとアカウント]→[アカウントを追加]
- 2 追加するアカウントの種類を選択
- 3 画面に従って操作

■ データを同期する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[パスワードとアカウント]→アカウントを選択
- 2 [アカウントの同期]
- 3 同期する項目をタップし、ONに切り替える

■ アカウントを削除する

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[パスワードとアカウント]→アカウントを選択
- 2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする

- 1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]
本製品の使用制限について設定する場合は、「保護者による使用制限を設定する」をタップし、画面に従って操作してください。
- 2

ダッシュボード	本製品の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
おやすみ時間モード	設定した時間帯に画面をモノクロにしたり、サイレントモードをONに設定します。
フォーカスモード	アプリを一時停止できます。
通知を管理	通知を表示するアプリが表示されます。アプリごとに通知を許可するかどうかを設定します。
サイレントモード	サイレントモードを設定します。 ・詳しくは、「サイレントモードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。
前方注意	歩きながらのスマートフォンの使用をやめるよう促す通知を許可するかどうかを設定します。
アプリの一覧にアイコンを表示	Digital Wellbeingをアプリとしてアプリ一覧画面に表示するかどうかを設定します。
保護者による使用制限	保護者向けファミリーリンクアプリでリモートで本製品を管理したり、利用時間を管理したりすることができます。

システムに関する設定をする

システムの設定をする

1	ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]																				
2	<table border="1"> <tr> <td>言語</td> <td>▶P.70「使用する言語の設定をする」</td> </tr> <tr> <td>キーボード</td> <td>▶P.70「使用するキーボードの設定をする」</td> </tr> <tr> <td>ジェスチャー</td> <td> カメラをすばやく起動 (Ⓞ)を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 電源ボタンを長押し (Ⓞ)を長押ししたときに電源メニューを表示するか、Google アシスタントを起動するかを設定します。 着信音をミュート (Ⓞ)と(ⓐ)を同時に押して、マナーモードを「バイブレーション」または「ミュート」に切り替えることができるようにします。 </td> </tr> <tr> <td>日付と時刻</td> <td>▶P.70「日付と時刻の設定をする」</td> </tr> <tr> <td>バックアップ</td> <td>Google アカウントを利用して、アプリのデータや通話履歴などを自動的にバックアップするかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>システムアップデート</td> <td>▶P.84「ソフトウェアを更新する」</td> </tr> <tr> <td>データ引継</td> <td>▶P.22「データを引き継ぐ」</td> </tr> <tr> <td>リセットオプション</td> <td> モバイル ネットワークの設定をリセットする モバイル ネットワークに関する設定をすべてリセットします。 Bluetooth® と Wi-Fi® のリセット Bluetooth® と Wi-Fi® に関する設定をすべてリセットします。 アプリの設定をリセット アプリケーションの各種設定をすべてリセットします。 eSIM を消去 eSIM の情報を消去します。 すべてのデータを消去(初期設定にリセット) ▶P.71「本製品を初期化する」 </td> </tr> <tr> <td>セルフチェック</td> <td> 端末が正常に動作しているか診断できます。 ・「メニュー」をタップすると、メモリの使用状況や端末温度への対処方法、アプリケーション情報を確認できます。また、履歴の削除やセーフモードで再起動することがあります。 </td> </tr> <tr> <td>ハードウェアに関するフィードバック</td> <td>ハードウェアに関するフィードバックを行うかどうかを設定します。</td> </tr> </table>	言語	▶P.70「使用する言語の設定をする」	キーボード	▶P.70「使用するキーボードの設定をする」	ジェスチャー	カメラをすばやく起動 (Ⓞ)を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 電源ボタンを長押し (Ⓞ)を長押ししたときに電源メニューを表示するか、Google アシスタントを起動するかを設定します。 着信音をミュート (Ⓞ)と(ⓐ)を同時に押して、マナーモードを「バイブレーション」または「ミュート」に切り替えることができるようにします。	日付と時刻	▶P.70「日付と時刻の設定をする」	バックアップ	Google アカウントを利用して、アプリのデータや通話履歴などを自動的にバックアップするかどうかを設定します。	システムアップデート	▶P.84「ソフトウェアを更新する」	データ引継	▶P.22「データを引き継ぐ」	リセットオプション	モバイル ネットワークの設定をリセットする モバイル ネットワークに関する設定をすべてリセットします。 Bluetooth® と Wi-Fi® のリセット Bluetooth® と Wi-Fi® に関する設定をすべてリセットします。 アプリの設定をリセット アプリケーションの各種設定をすべてリセットします。 eSIM を消去 eSIM の情報を消去します。 すべてのデータを消去(初期設定にリセット) ▶P.71「本製品を初期化する」	セルフチェック	端末が正常に動作しているか診断できます。 ・「メニュー」をタップすると、メモリの使用状況や端末温度への対処方法、アプリケーション情報を確認できます。また、履歴の削除やセーフモードで再起動することがあります。	ハードウェアに関するフィードバック	ハードウェアに関するフィードバックを行うかどうかを設定します。
言語	▶P.70「使用する言語の設定をする」																				
キーボード	▶P.70「使用するキーボードの設定をする」																				
ジェスチャー	カメラをすばやく起動 (Ⓞ)を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 電源ボタンを長押し (Ⓞ)を長押ししたときに電源メニューを表示するか、Google アシスタントを起動するかを設定します。 着信音をミュート (Ⓞ)と(ⓐ)を同時に押して、マナーモードを「バイブレーション」または「ミュート」に切り替えることができるようにします。																				
日付と時刻	▶P.70「日付と時刻の設定をする」																				
バックアップ	Google アカウントを利用して、アプリのデータや通話履歴などを自動的にバックアップするかどうかを設定します。																				
システムアップデート	▶P.84「ソフトウェアを更新する」																				
データ引継	▶P.22「データを引き継ぐ」																				
リセットオプション	モバイル ネットワークの設定をリセットする モバイル ネットワークに関する設定をすべてリセットします。 Bluetooth® と Wi-Fi® のリセット Bluetooth® と Wi-Fi® に関する設定をすべてリセットします。 アプリの設定をリセット アプリケーションの各種設定をすべてリセットします。 eSIM を消去 eSIM の情報を消去します。 すべてのデータを消去(初期設定にリセット) ▶P.71「本製品を初期化する」																				
セルフチェック	端末が正常に動作しているか診断できます。 ・「メニュー」をタップすると、メモリの使用状況や端末温度への対処方法、アプリケーション情報を確認できます。また、履歴の削除やセーフモードで再起動することがあります。																				
ハードウェアに関するフィードバック	ハードウェアに関するフィードバックを行うかどうかを設定します。																				

使用する言語の設定をする

1	ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[言語]												
2	<table border="1"> <tr> <td>システムの言語</td> <td> 言語の表示を切り替えます。 ・言語を追加する場合は、「言語を追加」をタップし、言語を選択します。 表示する言語の優先順位は、「≡」をドラッグして設定できます。 ・利用しない言語を削除する場合は、「メニュー」→[削除]→削除する言語を選択→[Ⓞ]→[削除]と操作します。 </td> </tr> <tr> <td>アプリの言語</td> <td>アプリごとに表示する言語を設定します。</td> </tr> <tr> <td>地域別の設定</td> <td>地域別に温度の単位や週の最初の曜日を設定します。地域はシステムとアプリの言語によって設定されます。</td> </tr> <tr> <td>音声入力</td> <td>Ⓞを押して、音声入力に使用する言語の追加や言語の自動更新に関する設定をします。</td> </tr> <tr> <td>デバイスによる認識</td> <td>デバイスで認識する言語の追加や言語の自動更新に関する設定をします。</td> </tr> <tr> <td>テキスト読み上げの設定</td> <td>使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。</td> </tr> </table>	システムの言語	言語の表示を切り替えます。 ・言語を追加する場合は、「言語を追加」をタップし、言語を選択します。 表示する言語の優先順位は、「≡」をドラッグして設定できます。 ・利用しない言語を削除する場合は、「メニュー」→[削除]→削除する言語を選択→[Ⓞ]→[削除]と操作します。	アプリの言語	アプリごとに表示する言語を設定します。	地域別の設定	地域別に温度の単位や週の最初の曜日を設定します。地域はシステムとアプリの言語によって設定されます。	音声入力	Ⓞを押して、音声入力に使用する言語の追加や言語の自動更新に関する設定をします。	デバイスによる認識	デバイスで認識する言語の追加や言語の自動更新に関する設定をします。	テキスト読み上げの設定	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。
システムの言語	言語の表示を切り替えます。 ・言語を追加する場合は、「言語を追加」をタップし、言語を選択します。 表示する言語の優先順位は、「≡」をドラッグして設定できます。 ・利用しない言語を削除する場合は、「メニュー」→[削除]→削除する言語を選択→[Ⓞ]→[削除]と操作します。												
アプリの言語	アプリごとに表示する言語を設定します。												
地域別の設定	地域別に温度の単位や週の最初の曜日を設定します。地域はシステムとアプリの言語によって設定されます。												
音声入力	Ⓞを押して、音声入力に使用する言語の追加や言語の自動更新に関する設定をします。												
デバイスによる認識	デバイスで認識する言語の追加や言語の自動更新に関する設定をします。												
テキスト読み上げの設定	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。												

言語について

◎ アプリや機能によっては、設定した言語では表示されない場合があります。

使用するキーボードの設定をする

1	ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[キーボード]								
2	<table border="1"> <tr> <td>画面キーボード</td> <td> Gboard ▶P.70「Gboardの設定をする」 Google 音声入力 Google音声入力が入力する言語などについて設定します。 S-Shoin ▶P.31「S-Shoinの設定を行う」 </td> </tr> <tr> <td>スペルチェック</td> <td>Gboard™利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>単語リスト</td> <td> 単語リストを表示します。 ・[メニュー]→[追加]と操作して単語などを入力すると、単語を登録できます。 ・登録した単語をタップすると編集できます。[メニュー]→[削除]と操作すると削除できます。 </td> </tr> <tr> <td>ポインタの速度</td> <td>ポインタの速度を調整できます。</td> </tr> </table>	画面キーボード	Gboard ▶P.70「Gboardの設定をする」 Google 音声入力 Google音声入力が入力する言語などについて設定します。 S-Shoin ▶P.31「S-Shoinの設定を行う」	スペルチェック	Gboard™利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。	単語リスト	単語リストを表示します。 ・[メニュー]→[追加]と操作して単語などを入力すると、単語を登録できます。 ・登録した単語をタップすると編集できます。[メニュー]→[削除]と操作すると削除できます。	ポインタの速度	ポインタの速度を調整できます。
画面キーボード	Gboard ▶P.70「Gboardの設定をする」 Google 音声入力 Google音声入力が入力する言語などについて設定します。 S-Shoin ▶P.31「S-Shoinの設定を行う」								
スペルチェック	Gboard™利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。								
単語リスト	単語リストを表示します。 ・[メニュー]→[追加]と操作して単語などを入力すると、単語を登録できます。 ・登録した単語をタップすると編集できます。[メニュー]→[削除]と操作すると削除できます。								
ポインタの速度	ポインタの速度を調整できます。								

Gboardの設定をする

1	ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[キーボード]→[画面キーボード]→[Gboard]																												
2	<table border="1"> <tr> <td>言語</td> <td>入力言語を設定します。</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>Gboardの文字入力について詳細設定を行います。</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td>キーボードのテーマを変更できます。</td> </tr> <tr> <td>テキストの修正</td> <td>テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>ガイド入力</td> <td>文字間をスライドして単語を入力するガイド入力について設定します。</td> </tr> <tr> <td>音声入力</td> <td>Gboard利用時の音声入力について設定します。</td> </tr> <tr> <td>クリップボード</td> <td>コピーした履歴をツールバーに表示するかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>単語リスト</td> <td>Gboard利用時に使用する単語リストについて設定します。</td> </tr> <tr> <td>絵文字、ステッカー、GIF</td> <td>絵文字、ステッカー、GIFについて設定します。</td> </tr> <tr> <td>Gboard を共有</td> <td>Bluetooth®やメール添付などでGboardを共有します。</td> </tr> <tr> <td>プライバシー</td> <td>使用統計情報の共有やGboardと音声入力の改善についての設定、学習データの削除などを行います。</td> </tr> <tr> <td>評価のお願い</td> <td>Gboardのフィードバックを行います。</td> </tr> <tr> <td>アプリについて</td> <td>利用規約やプライバシー ポリシーを確認します。</td> </tr> <tr> <td>ヘルプとフィードバック</td> <td>ヘルプを確認したり、フィードバックを送信したりできます。</td> </tr> </table>	言語	入力言語を設定します。	設定	Gboardの文字入力について詳細設定を行います。	テーマ	キーボードのテーマを変更できます。	テキストの修正	テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。	ガイド入力	文字間をスライドして単語を入力するガイド入力について設定します。	音声入力	Gboard利用時の音声入力について設定します。	クリップボード	コピーした履歴をツールバーに表示するかどうかを設定します。	単語リスト	Gboard利用時に使用する単語リストについて設定します。	絵文字、ステッカー、GIF	絵文字、ステッカー、GIFについて設定します。	Gboard を共有	Bluetooth®やメール添付などでGboardを共有します。	プライバシー	使用統計情報の共有やGboardと音声入力の改善についての設定、学習データの削除などを行います。	評価のお願い	Gboardのフィードバックを行います。	アプリについて	利用規約やプライバシー ポリシーを確認します。	ヘルプとフィードバック	ヘルプを確認したり、フィードバックを送信したりできます。
言語	入力言語を設定します。																												
設定	Gboardの文字入力について詳細設定を行います。																												
テーマ	キーボードのテーマを変更できます。																												
テキストの修正	テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。																												
ガイド入力	文字間をスライドして単語を入力するガイド入力について設定します。																												
音声入力	Gboard利用時の音声入力について設定します。																												
クリップボード	コピーした履歴をツールバーに表示するかどうかを設定します。																												
単語リスト	Gboard利用時に使用する単語リストについて設定します。																												
絵文字、ステッカー、GIF	絵文字、ステッカー、GIFについて設定します。																												
Gboard を共有	Bluetooth®やメール添付などでGboardを共有します。																												
プライバシー	使用統計情報の共有やGboardと音声入力の改善についての設定、学習データの削除などを行います。																												
評価のお願い	Gboardのフィードバックを行います。																												
アプリについて	利用規約やプライバシー ポリシーを確認します。																												
ヘルプとフィードバック	ヘルプを確認したり、フィードバックを送信したりできます。																												

◎ 機能によっては日本語キーボードでは使用できないものがあります。

日付と時刻の設定をする

1	ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[日付と時刻]																
2	<table border="1"> <tr> <td>日時を自動的に設定</td> <td>ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>日付</td> <td>日付を設定します。</td> </tr> <tr> <td>時刻</td> <td>時刻を設定します。</td> </tr> <tr> <td>自動設定</td> <td>ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>位置情報を使用する</td> <td>位置情報に基づいてタイムゾーンを自動で補正するかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>タイムゾーン</td> <td>タイムゾーンを設定します。</td> </tr> <tr> <td>言語/地域で一般的な形式を使用する</td> <td>時刻の表示方法を、ユーザーの言語/地域の標準に合わせて自動的に切り替えるかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>24時間表示</td> <td>時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。</td> </tr> </table>	日時を自動的に設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。	日付	日付を設定します。	時刻	時刻を設定します。	自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。	位置情報を使用する	位置情報に基づいてタイムゾーンを自動で補正するかどうかを設定します。	タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。	言語/地域で一般的な形式を使用する	時刻の表示方法を、ユーザーの言語/地域の標準に合わせて自動的に切り替えるかどうかを設定します。	24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日時を自動的に設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。																
日付	日付を設定します。																
時刻	時刻を設定します。																
自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。																
位置情報を使用する	位置情報に基づいてタイムゾーンを自動で補正するかどうかを設定します。																
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。																
言語/地域で一般的な形式を使用する	時刻の表示方法を、ユーザーの言語/地域の標準に合わせて自動的に切り替えるかどうかを設定します。																
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。																

本製品を初期化する

本体メモリをお買い上げ時の状態に戻します(出荷時リセット)。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[システム]→[リセット オプション]→[すべてのデータを消去(初期設定にリセット)]

2 [すべてのデータを消去]

「SDカード内データを消去」をタップするとmicroSDメモ리카ード内のデータも消去できます。

「eSIM を消去」をタップするとeSIMの情報も消去できます。

3 [すべてのデータを消去]

- 出荷時リセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 著作権保護されたデータによっては出荷時リセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
- 「SIMカードロック」の設定は、出荷時リセットを実行してもリセットされません。
- 電池残量が少ないときは出荷時リセットできません。
- 次のデータは消去される例です。
 - ・ 撮影した写真
 - ・ 画像、動画、音楽など
 - ・ システム、アプリのデータ、設定値
 - ・ ダウンロードしたアプリ
 - ・ プリインされているアプリの一部
 - ・ Google アカウント

デバイス情報の設定をする

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]

2 ・ 下記以外に「IP アドレス」や「Wi-Fi MAC アドレス」、「デバイスの Wi-Fi MAC アドレス」、「Bluetooth アドレス」、「稼働時間」、「ビルド番号」が確認できます。

デバイス名	本製品のデバイス名を変更できます。
電話番号 (SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	自分の電話番号が表示されます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
規制ラベル	本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号を含む)を表示します。
電池の状態	電池の状態を確認できます。
SIM ステータス (SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	SIMの情報を確認できます。
モデル	モデル名やシリアル番号を確認できます。
EID	EIDを確認できます。
IMEI (SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	IMEI情報を確認できます。
Android バージョン	ソフトウェアのバージョンやAndroidセキュリティパッチの配信日、ビルド番号などが確認できます。

auネットワークサービス

auネットワークサービス	74
auのネットワークサービスについて	74
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	74
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	74
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	74
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	75
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	75
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	76
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	77
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	77
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	77

auネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	+メッセージ(SMS)(▶P.41) 着信お知らせサービス(▶P.74) 着信転送サービス(▶P.74) 発信番号表示サービス(▶P.74) 番号通知リクエストサービス(▶P.75)
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX(▶P.75) 三者通話サービス(▶P.76) 割込通話サービス(▶P.77) 迷惑電話撃退サービス(▶P.77) 通話明細分計サービス(▶P.77)

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、au Style/auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)をご確認ください。

◎ au以外の通信事業者のSIMから発信した場合は、auのネットワークサービスが利用できないことがあります。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波が届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの無応答・話中転送を設定してください。(▶P.75)
※ 有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が19桁以上の場合はお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大100件です。
- ◎ 着信があってから約168時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービス総合案内(▶P.75)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合はお留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないとされる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客さまのご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないとき、電話を転送するための設定をします。

- 1 ☎→「1422」を入力→【発信】
- 2 ガイダンスに従って転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従って操作

◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ☎→「1424」を入力→【発信】
- 2 ガイダンスに従って転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従って操作

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを停止する

- 1 ☎→「1420」を入力→【発信】

◎ 着信転送サービスを停止すると、お留守番サービスも停止します。お留守番サービスを再度ご利用する方法は「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」(▶P.75)をご参照ください。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客さまの電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客さまの端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客さまの電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客さまの電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

- ◎ 発信者番号(お客さまの電話番号)はお客さまの大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けてください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客さまの電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

- 1 ☎→【メニュー】→【設定】
- 2 【通話アカウント】→通話アカウントを選択→【その他の設定】
- 3 【発信者番号】→【番号を通知】

- ◎ 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号」を「番号を通知」に設定していても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号」を「番号を非通知」に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。


番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。


- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.75)、着信転送サービス(▶P.74)、割込通話サービス(▶P.77)、三者通話サービス(▶P.76)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.77)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

- 1 →「1481」を入力→[発信]
- 2 ガイダンスを確認する→[通話終了]

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客さまの電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

- 1 →「1480」を入力→[発信]
- 2 ガイダンスを確認する→[通話終了]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.65)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

● お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

● お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	100件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.75)の合計です。101件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

● ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ・ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

お留守番サービスEXに加入中の場合、総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

- 1 →「141」を入力→[発信]

- 2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 →「1411」を入力→[発信]

- ◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 →「1412」を入力→[発信]

- ◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

お留守番サービスを停止する

- 1 →「1420」を入力→[発信]

- ◎ お留守番サービスを停止すると、着信転送サービスも停止します。着信転送サービスを再度ご利用する方法は「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」(▶P.74)をご参照ください。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- 1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客さまが設定された応答メッセージで応答します(▶P.76「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。

- 2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

- 3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「*」:録音した伝言を消去して、録音し直す

- 4 電話を切る

- ◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau/UQ mobile電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 →「1612」+相手の方のau/UQ mobile電話番号を入力→[発信]

- 2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は100件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 []→[1]をロングタッチ

[]→[メニュー]→[設定]→[通話アカウント]→通話アカウントを選択→[留守伝言再生]→[はい]もしくは、[]→[1417]を入力→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
※SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、発信に使用するSIMを選択してください。

2 ガイドンスに従ってキー操作

画面に数字キーが表示されていない場合は、「番号入力」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「7」:再生済みの伝言をすべて消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「*」:前の伝言を聞く

3 [通話終了]

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.75)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認/変更などの設定を行うことができます。

1 []→[1414]を入力→[発信]

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 「1」を入力→「1」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「番号入力」をタップして表示します。

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 「1」を入力→「2」を入力→10秒以内で名前を録音→「#」を入力→「#」を入力→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「番号入力」をタップして表示します。

■ 設定/保存されている応答メッセージを確認する場合

2 「3」を入力→応答メッセージを確認→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「番号入力」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

2 「1」を入力→「3」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「番号入力」をタップして表示します。

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイドンスに従って「2」→「1」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイドンスに従って「2」→「4」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは、「応答メッセージの録音/確認/変更をする」(▶P.76)をご参照ください。

1 []→[1610]を入力→[発信]

2 ガイドンスを確認→[通話終了]

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 []→[1611]を入力→[発信]

2 ガイドンスを確認→[通話終了]

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の製品以外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.15)をご参照ください。

4 ガイドンスに従って操作

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイドンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 []→[14191]を入力→[発信]

英語ガイドンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [通話終了]

- ご契約時は、日本語ガイドンスに設定されています。

日本語ガイドンスへ切り替える

1 []→[14190]を入力→[発信]

日本語ガイドンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [通話終了]

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例: Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[メニュー]→[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「通話終了」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「通話終了」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

4 [メニュー]→[グループ通話]

3人で通話できます。
「通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau/UCQ mobile電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかりません)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

割込通話サービスについて


通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはSIMカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について


月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかりません)

割込通話サービスを開始する

- 1 →「1451」を入力→【発信】
- 2 【通話終了】

- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.75)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.77)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

- 1 →「1450」を入力→【発信】
- 2 【通話終了】

割込通話を受ける

例: Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる
- 2 【応答】

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「通話終了」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、「解除」をタップすると、保留中の相手の方と通話できます。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて


迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料


撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- 1 →「1442」を入力→【発信】
- 2 【通話終了】

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客さまの希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

登録した電話番号を全件削除する

- 1 →「1449」を入力→【発信】
- 2 【通話終了】

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 →「131」+相手先電話番号を入力→【発信】
- 2 【通話終了】

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	80
au世界サービスについて	80
海外利用に関する設定を行う	80
渡航先で電話をかける	80
渡航先で電話を受ける	80
お問い合わせ方法	81
海外でのご利用上のご注意	81

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTE/5Gネットワークでご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額料の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
 - ※新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
- ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま ※渡航前に必ずご確認ください
https://www.au.com/information/notice_mobile/global/


- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- データ通信を行う場合は「ローミング」(▶P.80)を有効に設定します。

データ通信を設定する


1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]→[]
SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

2 [ローミング]
※タップするたびにON/OFFが切り替わります。

- ◎ 5G NETまたは5G NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
 - au海外放題(au/povo1.0対象)
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/kaigai-hodai/>
 - 世界データ定額(UQ mobile対象)
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/global/sekai-data/>
 - 海外ダブル定額
<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]→[]
SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

2 [優先ネットワークの種類]→[5G(推奨)]/[4G]のどちらかを選択
※お買い上げ時は「5G(推奨)」に設定されています。

- ◎ 5G NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
- ◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
- ◎ 海外で通話やデータ通信の品質が悪い場合は、「優先ネットワークの種類」を「3G」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では「優先ネットワークの種類」を「5G(推奨)」で利用してください。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/>

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手先の国番号を入力

4 地域番号(市外局番)を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号を入力→[発信]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+81(国番号)3(市外局番)1234XXXX(相手の方の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+1(国番号)123(市外局番)456XXXX(相手の方の電話番号)

- ◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎ 渡航先では、一部特番などがかけられない電話番号があります。
- ◎ 国番号についてはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/call/country-code/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

- ◎ 渡航先に電話がかかってくる場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間 24時間

1 

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[発信]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

◎ 渡航先でご利用いただけない場合、本製品の電源をオフ/オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはSIMカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは、「海外からのお問い合わせ」(▶P.81)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客さまの負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているSIMカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIM ロック」(▶P.69)をご参照ください。

■ auネットワークサービス(▶P.74)に関するご注意

- 以下のサービスは、au世界サービス[VoLTE]利用中以外にご利用いただけません。[VoLTE]利用中であっても、渡航先の通信事情によりご利用いただけない場合があります。
 - 着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送
 - お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - 三者通話サービス(オプションサービス)*
 - 割込通話サービス(オプションサービス)
 - 通話明細分計サービス(オプションサービス)
 - 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では発信者番号通知の機能は無効になります。
 - 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
 - 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
 - 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス[VoLTE]利用中以外に受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。
- * au世界サービス[VoLTE]利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

付録・索引


付録.....	84
ソフトウェアを更新する.....	84
故障とお考えになる前に.....	84
アフターサービスについて.....	85
遠隔操作サポートを利用する.....	86
位置検索サポートを利用する.....	86
SIMロック解除について.....	86
周辺機器.....	86
主な仕様.....	86
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	87
Regulatory information.....	87
FCC Notice.....	88
輸出管理規制.....	88
知的財産権について.....	89
索引.....	90

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を入手できます。

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[ソフトウェア更新]→[アップデートをチェック]

ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。
以降は画面に従って操作してください。

- ステータスバーにが表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。
- ソフトウェア更新中も他の機能をご使用いただけます。
ただし、ソフトウェア更新の通知後10日間は、ソフトウェア更新中に他の機能を使用していると、インストールが一時的に停止されます。「再開」をタップすると、インストールが再開され、他の機能も使用可能になります。

■ご利用上のご注意

- OSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生しますので、ご自宅等のWi-Fi®環境がご利用可能な場合はWi-Fi®回線へ接続した上で、ソフトウェア更新することをおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客さまにご案内させていただきます。詳細内容につきましては、au Style/auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なお客さまに、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を完了するには本製品の再起動が必要です。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

故障とお考えになる前に


故障とお考えになる前に、「使い方サポート」アプリのかんたん診断をお試しください。

■かんたん診断は「使い方サポート」アプリから無料でご利用可能です。

- 診断結果に応じた解決方法もご確認いただけます。
- 「使い方サポート」アプリのダウンロードはこちらから。
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.kddi.newsupport&hl=ja>



※「使い方サポート」アプリの[診断]→[かんたん診断]と操作してください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	<ul style="list-style-type: none">  (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか? (▶P.27) 内蔵電池が寿命になっていませんか? 電池の状態を確認してください。(▶P.20) 十分に充電されていますか? (▶P.20) 使用していない機能を停止してください。(▶P.27) モバイルライトを頻繁に点灯する操作や音を出す機能/操作、外部機器との通信などを頻繁に行ったり、ディスプレイを明るくしたり、点灯時間を長く設定したりすると、本製品の使用可能時間は短くなります。無駄な電池の消費が気になるときは、長エネスイッチを利用してください。(▶P.66)
電話がかかけられない	<ul style="list-style-type: none"> 正しいSIMカードが挿入されていますか? (▶P.19) eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。 電話番号が間違っていないですか? (市外局番から入力していますか?) (▶P.34) 「機内モード」が設定されていないですか? (▶P.65) 「優先ネットワークの種類」が間違っていないですか? (▶P.80) 電源は入っていますか? (▶P.21) 電話番号入力後、「発信」をタップしていますか? (▶P.34)
電話がかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> 「SIM を使用」が無効になっていませんか。「SIM を使用」が有効となっていることを確認してください。(▶P.65) 電波は十分に届いていますか? (▶P.27) サービスエリア外にいませんか? (▶P.27) 「機内モード」が設定されていないですか? (▶P.65) 「優先ネットワークの種類」が間違っていないですか? (▶P.80) 着信転送サービスが設定されていないですか? (▶P.74) 電源は入っていますか? (▶P.21) 正しいSIMカードが挿入されていますか? (▶P.19) eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。 着信拒否が設定されていないですか? (▶P.37) 電源を入れ直してください。 「モバイルデータ」が無効になっていませんか。「モバイルデータ」が有効となっていることを確認してください。(▶P.65) 無効なアクセスポイントが設定されていないか。初期設定に戻してください。(▶P.65)
Wi-Fi®が繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか? (▶P.27) Wi-Fi®の設定をしましたか? (▶P.60)
ディスプレイの照明が暗い	<ul style="list-style-type: none"> 「明るさのレベル」が暗く設定されていないですか? (▶P.67) 本製品の温度が高くなると、自動的に画面の明るさが暗くなります。本製品の温度が下がると、元の明るさに戻ります。
相手の方の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 通話音量が最小に設定されていないですか? (▶P.34) 受話口を耳でふさいでいませんか? 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
カメラが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの利用についてご確認ください。(▶P.47)
microSDメモ리카ードを認識しない/目的のデータが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> microSDメモ리카ードは正しく取り付けられていますか? (▶P.56) microSDメモ리카ードのマウントが解除されていないですか? (▶P.57) 本体メモリにデータを保存していませんか? microSDメモ리카ード以外に本体メモリにもデータを保存できます。(▶P.57)

こんなときは	ご確認ください
ボタン/タッチパネルの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 「画面ロック」が設定されていませんか？ (▶P.68) 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 電源は入っていますか？ (▶P.21)
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> 指定の充電用機器(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ (▶P.20) 指定品以外のACアダプタ(別売)などを使っていませんか。必ず指定のACアダプタ(別売)を使用してください。指定品以外のものを利用すると、充電できないばかりか、内蔵電池を劣化させる原因となります。 ACアダプタ(別売)のUSB Type-Cプラグ、本製品の外部接続端子が汚れていませんか。端子部を乾いたきれいな柔らかい布などで清掃してから、充電し直してください。 お知らせランプが赤色に点滅していませんか。このときは、充電ができていません。指定の充電用機器を使用して充電してください。 本製品の温度が高くなると、自動的に充電が停止します。本製品の温度が下がると、充電を再開します。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵電池は充電されていますか？ (▶P.20) 電源ボタンを長押ししていますか？ (▶P.21) 本製品の温度が高い状態で使用し続けて、電源が切れた直後は電源が入りません。本製品の温度が下がったあと、電源を入れてください。
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> 電源ボタンを8秒以上長押しし、画面が消灯した後、指を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.21) 「インターネット」の画面(タブ)をたくさん開いていませんか。次の操作で、不要なインターネットの画面を閉じてください。(▶P.44)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 手袋などをしたままで操作していませんか？ 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.24) 再起動してください。(▶P.21) 本製品側面の電源ボタンを押して画面を消灯させたあと、再度電源ボタンを押して画面を点灯させてから操作してください。
画面をタップしたとき/ボタンを押したときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
SIMカードエラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> 正しいSIMカードが挿入されていますか？ (▶P.19) eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。 「SIMを使用」が無効になっていませんか。「SIMを使用」が有効になっていることを確認してください。(▶P.65)
おサイフケータイ®が使えない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか？ (▶P.20) おサイフケータイ®をロックしていませんか？ (▶P.50) 本製品のFeliCaマークがある位置を読み機にかざしていますか？ (▶P.50)
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか？ (▶P.20) 本製品の内部温度が高い状態のまま使用し続けると、自動的に電源が切れます。本製品の温度が下がったあと、電源を入れてください。
電源起動時の口表示中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れていませんか？ (▶P.20)
圏外が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？ (▶P.27) サービスエリア外にいませんか？ (▶P.27) 5G/4G/UMTSのアンテナ付近を手でおおっていませんか？ (▶P.18) 正しいSIMカードが挿入されていますか？ (▶P.19) 「優先ネットワークの種類」が間違っていないですか？ (▶P.80)
ディスプレイは点灯するが着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> マナーモードに設定されていませんか？ (▶P.28)
充電していただいなどと表示された	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がほとんどありません。(▶P.20)
電話が勝手に応答する	<ul style="list-style-type: none"> 簡易留守録が設定されていませんか？ (▶P.37) マナーモードが設定されていませんか？ (▶P.28) 迷惑電話の対策の「電話に出る前確認」が設定されていませんか？ (▶P.36)
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？ (▶P.27) サービスエリア外にいませんか？ (▶P.27) 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。
ディスプレイの照明がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> 「画面消灯(スリープ)」が短く設定されていませんか？ (▶P.67)
イヤホンマイクのマイクが使えない	<ul style="list-style-type: none"> イヤホンプラグが正しく挿入されていますか？ 奥までしっかり挿入してください。

こんなときは	ご確認ください
電話帳の個別の設定が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？ (▶P.38)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.56)
パソコンからmicroSDメモリーカードを認識できない	<ul style="list-style-type: none"> microSDメモリーカードを使用する場合は「ファイル転送」で接続してください。(▶P.56)
アプリが起動しない	<ul style="list-style-type: none"> アプリの初回起動時、アクセス権限などの許可を設定しましたか。許可するように設定していないと、アプリを起動できません。設定を変更してください。(▶P.66)
新たにアプリを追加した後、動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> 新たに追加したアプリが原因の可能性があり、セーフモードでアプリを削除してください。セーフモードで電源を入れることができます。(▶P.21)
アイコンをロングタッチしたら、吹き出しが出てきた	<ul style="list-style-type: none"> アプリによっては、ロングタッチするとメニューが表示されます。表示される内容は、アプリごとに異なります。 メニューを使わないときは、メニュー以外の場所をタップすると、元に戻ります。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- ◎ 本製品の本体以外の付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
 - 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
- 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
- 製品の機器が故障したことにより、発生した損害および損失利益に関しては負担いたしません。
- 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
- 出張による修理対応はお受けできません。
- 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポート ワイド with Cloudについて

au/UQ mobileの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート ワイド with Cloud」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、au/UQ mobileホームページをご確認ください。

- auをご契約のお客さま
<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu-wide-cloud/>
 - UQ mobileをご契約のお客さま
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/repair-wide-cloud/>
- ※ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカード(SIMカード)について

au ICカード(SIMカード)は、auからお客さまにお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au Style/auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客さまのスマートフォンの画面を共有し、お客さまの操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ ご利用にあたっては使い方サポートまたは、auスマートサポート、auスマートパスプレミアム、auスマートパス、故障紛失サポート/故障紛失サポート with Cloud/故障紛失サポート ワイド with Cloudなどのいずれかにご加入いただくことでご利用いただけます。

詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/support-enkaku/>

1 お客さまセンター、使い方サポートセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパスプレミアム・auスマートパス会員は局番なしの157番 (au/UQ mobile電話から/通話料無料)、☎0077-7-111(一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。

使い方サポート会員は、専用アプリからご予約、または☎0120-984-955(一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。

auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポートを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索することができます。

※ 本製品を遠隔操作で位置検索する場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポート/故障紛失サポート with Cloud/故障紛失サポート ワイド with Cloud、使い方サポート、安心サポートバックなどのいずれかへの加入が必要です。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した位置情報に起因する損害および逸失利益に関して、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

また、サービスエリア内でも地下街などの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除について

本製品にはSIMロックはされていません。

他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能が制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

■ auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)

■ TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA)(別売)

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。

<https://onlineshop.au.com/>

主な仕様

■ 本体(SHG12)

ディスプレイ	約5.7インチ、約1,677万色、TFT液晶、1,520×720(HD+)
重量	約174g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約71mm×158mm×9.4mm(最厚部:約10.4mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約4GB Internal Storage:約64GB
連続通話時間(国内)	約3,000分
連続待受時間(国内)	約640時間
Wi-Fi®デザリング最大接続数	10台
充電時間	TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時:約140分
撮影素子	アウトカメラ、インカメラ CMOSイメージセンサー
有効画素数	アウトカメラ 約5,030万画素 インカメラ 約800万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.5.1 出力:Bluetooth®標準規格 BR/EDR; Power Class 1, LE; Power Class 1.5 通信距離*1:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル*2:HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP*3、HID、PAN(PAN-NAP)、PAN(PANU)、HOGP*4 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	2.4GHz:IEEE802.11 b/g/n*5準拠 5GHz:IEEE802.11 a/n/ac*5*6準拠
インターフェース	USB Type-C端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

*1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

*2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごとで、Bluetooth®標準規格で定められています。

*3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

*4 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

*5 MIMOは未対応です。

*6 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。

(対応商品については各社ホームページをご覧ください。)

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHG12】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.764 W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.643W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリーをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- シャープのホームページ:
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>
- auのホームページ:
<https://www.au.com/mobile/product/sar-list/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

In some countries/regions including Europe^{※1}, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only. Please check the local laws and regulations beforehand.

※1 Belgium [BE], Bulgaria [BG], Czech Republic [CZ], Denmark [DK], Germany [DE], Estonia [EE], Ireland [IE], Greece [EL], Spain [ES], France [FR], Croatia [HR], Italy [IT], Cyprus [CY], Latvia [LV], Lithuania [LT], Luxembourg [LU], Hungary [HU], Malta [MT], Netherlands [NL], Austria [AT], Poland [PL], Portugal [PT], Romania [RO], Slovenia [SI], Slovakia [SK], Finland [FI], Sweden [SE] and United Kingdom (Northern Ireland) [UK (NI)], Switzerland [CH], Liechtenstein [LI], Iceland [IS], Norway [NO].

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHG12 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

Headset, Handsfree	To receive FM broadcasting, connect the headset cable to the φ3.5 audio jack
--------------------	--

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW:40 MHz)
WLAN 5GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW:80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW:80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW:80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+12.6 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+15 dBm
WLAN 5GHz	+15 dBm
NFC	0 dBμA/m at 10 m

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

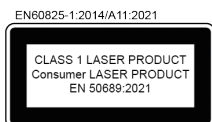
Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Laser (proximity sensor)

Do not stare into proximity sensor.

May temporarily affect eyesight, leading to accidents.



Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.31 W/kg^{※2} and when worn on the body is 0.93 W/kg^{※2}.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※2 The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed from Home Screen as follows: [Apps] → [Simple Settings] → [All settings menu] → [About phone] → [Regulatory labels].

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHG12
FCC ID	APYHRO00329
At the Ear	0.52 W/kg
On the Body	0.63 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Access® (WPA)、Wi-Fi Direct®, Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- +メッセージは、株式会社ドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社の登録商標です。
- Microsoft® Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- Facebook、Facebookロゴ、Messenger、Messengerロゴ、InstagramおよびInstagramロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- 「BASIO」は、KDDI株式会社の商標または登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play™、Google Play ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、GBOARD™、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook™、Google 音声検索™、YouTube™、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ™、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens™、Google Lens ロゴ、Google フォト™、Google フォト ロゴ、Google アシスタント™、Google アシスタント ロゴ、Google TV ロゴ、Google ニュース™、Google ニュース ロゴ、Google Podcast™、Google Podcast ロゴ、Google Home™、Google Home ロゴ、Google Meet™、Google Meet ロゴ、Google Pay™、Google Pay ロゴ、Google One™、Google One ロゴ、Android Auto™、Google ウォレット™、FitbitおよびFiles ロゴは、Google LLCの商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよび関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- menuロゴはmenu株式会社の登録商標です。
- NETFLIXおよびNETFLIXロゴは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- Apple、Appleロゴ、Apple Music®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2024 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2024 All Rights Reserved.
- ラジコ/radikoおよびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。
- ㊦は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ®」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- 「AQUOS/アクオス」「AQUOS」ロゴ「My AQUOS」「Bright Keep」「エス ショイン/S-Shoin」「AIライブシャッター」「ロックフォトシャッフル」「リッチカラーテクノロジー/リッチモバイル/Rich color technology Mobile」「はつきりビュー」「リラックスビュー/Relax View」「アウトドアビュー」「からだメイト」「楽ともリンク」「元気だよメール」「トリプルくっきりトーク/Triple Kukkir Talk」「スロートーク/Slow Talk」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 本製品には株式会社モリサワの書体、UD新ゴ R、UD新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[すべてを見る]→[デバイス情報]→[法的情報]→[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

■ License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)

この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

■ Windowsの表記について

- 本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。
• Windows 11は、Microsoft® Windows® 11 (Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
• Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはけません。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客さまが個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客さまにより符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されており、その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。

索引

数字／アルファベット

24時間表示	70
5G／4G／UMTSアンテナ	18
5G／GPSアンテナ	18
5Gアンテナ	18
90% 充電されたら OFF にする	66
AIライブシャッター	49
Android バージョン	71
au国際電話サービス	35
au世界サービス	80
auメール	40
Bluetooth®	61
Bluetooth® テザリング	62
Chrome	44
Chromebook	65
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	69
eSIM	19
FCC Notice	88
FeliCa®	50
Files	57
Gboard	
Gboard設定	70
Gboard を共有	70
Gmail	42
IMEI	71
microSDメモ리카ード	56
MIDI	56
My au	51
My UQ mobile	51
NFC／おサイフケータイ®	50
PC 版サイト	44
PINコード	15
Play ストア	52
PTP	56
QRコードで追加	41
QRコード認識	49
radiko+FM	50
SIMカード	19
SIMカード／microSDメモ리카ードトレイ	18
SIM ステータス(SIM スロット1)／(SIM スロット 2)	71
SIM ロック	69
SIMロック解除	86
S-Shoin	31
TalkBack	68
USB	65
USB テザリング	
USB テザリング機能	62
パソコン接続	56
USBホスト機能	57
VPN	65
Wi-Fi®	60
Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ	18
Wi-Fi® 設定	60
Wi-Fi®テザリング	62
Wi-Fi®テザリングのパスワード	62
Wi-Fi®テザリングを自動的に OFF にする	62
Wi-Fi® を自動的に ON にする	60
Wi-Fi Direct®	60
Wi-Fi とモバイルネットワーク	65

あ

アイコン	27
アウトカメラ	18
アウトドビュー	67
アカウントの同期	69
アカウントを削除	69
アカウントを追加	69
明るさセンサー	18
明るさの自動調節	67
明るさのレベル	67
空き容量確認	37
新しいグループメッセージ	41
新しいシークレット タブ	44
新しいタブ	44
新しいデバイスとペア設定	
Bluetooth®機器接続	61
保存済みデバイスの設定	65
新しいメッセージ	41
新しい連絡先	41
あとから起動するアプリ	68

アプリ	
アプリ設定	66
アプリアイコン上の通知ドット	66
アプリ固定	69
アプリ使用履歴	28
アプリの一覧にアイコンを表示	69
アプリの設定	66
アプリへの位置情報の利用許可	69
アラーム	53
アラームとその他の割り込み	28
アラームの音量	
アラーム	53
音の設定	67
アルバム	49
暗号化と認証情報	69
暗証番号	15
あんしんフィルター for au	51
安全性と緊急情報	69
イーサネット テザリング	62
位置検索サポート	86
位置情報	69
位置情報サービス	69
位置情報付加	49
イヤホンマイク端子	18
インカメラ	18
印刷	66
ウィジェット	26
英語ガイド	76
絵文字、ステッカー、GIF	70
遠隔操作サービス	76
遠隔操作サポート	86
応答	35
応答時間設定	37
オートHDR	49
お気に入り登録／お気に入り解除	38
お気に入り表示	38
お困りのときは	64
おサイフケータイ®	50
お知らせパネル	27
お知らせランプ	27
オススメ設定をする	
auメール	40
オススメの設定はこちら	
auメール	40
音	67
音とバイブレーション	37
おやすみ時間モード	69
お留守番サービスEX	75
お留守番サービス総合案内	75
音声検索ボタン	
各部の名称と機能	18
設定	26
音声入力	70
音声の調整	68
音量DOWNボタン	18
音量UPボタン	18
音量・音質	34

か

ガイド線	49
外部接続端子	18
会話	66
顔認証	25
拡大	68
拡張通知	66
風切り音低減	49
画質とデータ量	49
壁紙	26
壁紙と画面表示	64
カメラ	47
画面キーボード	70
画面消灯(スリープ)	67
画面の明るさを最小にする	66
画面の自動回転	67
画面ロック	68
画面ロック中はロック	50
画面ロックの音	67
からだメイト	54
カレンダー	53
簡易留守録	
簡易留守録	37
簡易留守録／通話音声メモ再生	37
簡単お支払い	68
キー操作	31
キーボードタイプ	31
規制ラベル	71

機内モード	65
基本設定	67
キャスト	65
強制的に電源を切る	21
今日へ移動	53
共有	44
拒否	35
緊急SOS	69
緊急位置情報サービス	69
緊急速報メール	69
緊急プザ	28
近接センサー	18
クイック共有	65
クイック設定の持続時間	28
クイック返信	
着信を拒否してメッセージ(SMS)送信	35
通話設定	37
グライド入力	70
クリップボード	70
グループ追加・編集	38
元気だよメール	64
言語	
Gboard設定	70
使用する言語	70
健康度(health level)	66
言語/地域で一般的な形式を使用する	70
高校生	51
高校生プラス	51
公式アカウント	41
更新	53
故障かな?と思ったら	21

さ	
再起動	21
最近使ったタブ	44
最近のアクセス	69
最近開いたアプリ	66
サイレントモード	
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定	69
音の設定	67
サイレントモード設定	28
通知設定	66
マナーモード	28
削除	
アクセスポイント接続設定削除	60
電話帳一覧画面のメニュー	38
電話帳詳細画面のメニュー	38
ユーザー辞書単語一覧	31
サブマイク	18
さらに輝度を下げる	68
三者通話サービス	76
ジェスチャー	70
時刻	70
辞書	31
システム	70
システムアップデート	70
システム操作	68
自動画面点灯	67
自動接続	60
自分の番号	38
字幕の設定	68
指紋	24
指紋センサー	18
指紋センサーと簡単お支払い	67
指紋を追加する	24
写真	49
写真サイズ	49
写真や動画	41
充電	56
充電時の音とバイブレーション	67
従来の携帯電話	22
受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする	40
出荷時リセット	71
受話口	18
消音	
マナーモード	28
小学生	51
使用されていないアプリ	66
証明書をインストール	60
人物	28
信頼エージェント	69
スイッチ アクセス	68
スクリーンショット	52
スクリーンセーバー	67
スケジュール	
カレンダー画面のメニュー	53
サイレントモードを設定	28

スケジュールの設定	66
ステータスパネル	27
ストレージ	
ストレージ確認	57
スピーカー	
各部の名称と機能	18
通話中画面の操作	34
すべて削除	31
全ての設定を一括解除する	
auメール	40
すべてのデータを消去(初期設定にリセット)	71
すべてを見る	64
スペルチェック	70
スマートフォン	22
スライド	24
スワイプ	24
セーフモード	21
セキュリティ	
Wi-Fi®テザリング機能の設定	62
セキュリティとプライバシーの設定	68
セキュリティ アップデート	68
接続	60
接続の設定	65
設定	
Chrome画面のメニュー	44
Gboard設定	70
カレンダー画面のメニュー	53
設定メニュー表示	64
通話設定	37
通話履歴一覧画面のメニュー	35
電話帳設定	38
+メッセージ設定	41
設定・管理	38
設定リセット	49
セルフタイマー	49
セルフチェック	70
選択して読み上げ	68
前方注意	69
送信	
電話帳一覧画面のメニュー	38
電話帳詳細画面のメニュー	38
送信相手①	64
送信相手②	64
送信タイミング	64
送話口	18
その他	
+メッセージ設定	41
文字入力設定	31
その他の詳細設定をする	
auメール	40
ソフトウェア更新	84

た	
タイミングの調節	68
タイムゾーン	
位置情報を使用	70
自動設定	70
ダイヤルパッドの操作音	67
ダウンロード	44
ダウンロードしたアプリ	68
ダッシュボード	69
タッチ操作音	67
タッチパネル	18
タップ	24
ダブルタップ	24
単語リスト	
Gboard設定	70
使用キーボード設定	70
着信お知らせサービス	74
着信音	67
着信音の音量	67
着信音ミュート用のショートカット	67
着信拒否	35
着信転送サービス	74
中学生	51
長エネスイッチ	66
ちらつき防止	49
通知	
通知設定	66
+メッセージ設定	41
通知ドット	26
通知ドットに件数表示	26
通知のスヌーズを許可する	66
通知の表示オプション	28
通知履歴	66
通知を管理	69

通話	37
通話音声メモ	37
通話の音量	67
通話明細分計サービス	77
通話履歴	35
通話を追加	34
ディスプレイ	
各部の名称と機能	18
ディスプレイ設定	67
データセーバー	65
データ引継	22
データリセット	54
テーマ	70
テーマカラー・背景	41
テキストの修正	70
テキスト読み上げの設定	
使用言語設定	70
ユーザー補助設定	68
テザリング	
テザリング	62
ネットワークとインターネット設定	65
デバイス管理アプリ	69
デバイス情報	71
デバイスとアプリの通知	66
デバイス名	71
デバイスを探す	68
デフォルトのアプリ	66
デフォルトのアラーム音	67
デフォルトの通知音	67
天気の地域	64
天気地域の設定	26
電源ボタン	18
電源を入れる	21
電源を切る	21
伝言お知らせ	75
電卓	54
電池の状態	71
点滅	66
電話	
電話をかける	34
電話アプリについて	37
電話帳	38
電話番号	71
動画	49
動画・音楽の音量	67
動画サイズ	49
統合	38
登録	31
特別なアプリアクセス	66
トピックスクリリーン	25
ドラッグ	24

な

日時を自動的に設定	70
日本語ガイド	76
ネットワークとインターネット	65
ネットワーク名	62
ネットワークを追加	60

は

ハードウェアに関するフィードバック	70
パイプ	28
パイプレーションとハブティクス	68
はじめに起動するアプリ	68
パスワードとアカウント	69
はっきりビュー	67
バックアップ	70
バックアップ・リストア	31
発信者番号	74
発信番号表示サービス	74
発信前に番号を編集	38
バッテリー	66
バッテリー残量	66
バッテリー使用量	66
バブル	66
番号通知リクエストサービス	75
番号入力	34
番号を追加	37
日付	70
日付と時刻	70
評価のお願い	70
表示切替	53
表示サイズとテキスト	
ディスプレイ設定	67
ユーザー補助設定	68

表示するカレンダー	53
表示方法切替	38
ピンチ	24
ファイル転送	56
フォーカス モード	69
フォーマット	57
不在通知	76
ブックマーク	44
不明な電話	37
プライバシー	41
プライベート DNS	65
フリック	24
フル転送	
お留守番サービスEX	75
着信転送サービス	74
ブロック設定	65
ブロックした番号	38
ブロック中の電話番号	37
ブロックリスト	42
分割画面	28
ページ内検索	44
ヘルプ	
auメール	40
カメラを設定	49
ヘルプとフィードバック	
Chrome画面のメニュー	44
編集	31
便利機能	67
ボイスメール	75
ポインタの速度	70
法的情報	71
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	26
ホーム画面に追加	
Chrome画面のメニュー	44
ホーム画面の回転を許可	26
ホームの設定	26
保存先設定	49
保留	34
翻訳	44

ま

マイク	18
マイクOFF	34
マイク設定	49
無応答・話中転送	
お留守番サービスEX	75
着信転送サービス	74
迷惑電話撃退サービス	77
迷惑電話対策機能	35
迷惑メールフィルターの設定/確認へ	
auメール	40
メールボタン	64
+メッセージ	41
メッセージ	41
メディア	67
文字種変更	31
文字フォント切替	67
持つと画面点灯	21
モデル	71
モバイルライト	18

や

ユーザー辞書登録	31
ユーザー情報	54
ユーザー補助	68
ユーザー補助機能のショートカット	68
ユーザー補助機能メニュー	68
優先ネットワークの種類	80
用語の説明	54
予定を作成	53

ら

ライト	52
リセット オプション	70
リセット時刻	64
リッチカラーテクノロジーモバイル	67
利用可能なパブリック ネットワークを通知する	60
利用時間	66
リラククスビュー	67
履歴	
ブックマーク/履歴を利用	44
履歴利用電話	35
留守伝言再生	76

レンズ部	
アウトカメラ	18
インカメラ	18
ローミング	80
ロック画面	
設定メニュー	64
ディスプレイの設定	67
ロック画面上の通知	66
ロック画面の通知を整理	66
ロックフォトシャッフル	67
ロングタッチ	24

わ

割込通話	
割込通話開始	77
割込通話停止	77
割込通話サービス	77

<au をご契約のお客さま>

auサポート

アプリ・Web サイト

■ My auアプリ

毎月のご請求額や、データ通信量（ギガ）、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。



ダウンロードは
コチラ



URL <http://kddi-l.jp/mFH>

■ auサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/JyO>



メッセージ

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！
AIが24時間素早く回答、コミュニケーターが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/QJo>



<UQ mobile をご契約のお客さま>

UQ mobileサポート

アプリ・Web サイト

■ My UQ mobile (アプリ)

毎月のご請求額や、データ通信量（ギガ）、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。



ダウンロードは
コチラ



URL <http://kddi-l.jp/FJ7>

■ UQ mobileサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/DHC>



チャット

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！
AIが24時間素早く回答、コミュニケーターが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/NZJ>



故障したときは・・・

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）

故障相談受付
（受付 9:00～20:00）

 0120-925-919



やめましょう、
歩きスマホ。



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発熱・発火等の原因となり大変危険です。